

横浜市民の医療に関する意識調査

報 告 書

令和5年2月

横浜市医療局

目 次

調査概要	3
1 調査の目的	3
2 調査の概要	3
3 集計・分析結果を読む際の注意点	3
I. 回答者の属性(基礎項目)	4
II. 調査結果	9
1. 病院又は診療所の定期的な受診やかかりつけ医について	9
(1)慢性疾患等のための定期的な受診状況	9
(2)自身の慢性的な病気	10
(3)かかりつけ医の有無	11
(4)かかりつけ医がない理由	13
(5)医療機関の役割分担の認知状況	15
(6)病院の役割分担の認知状況	19
2. 発熱やのどの痛みなどの比較的軽い症状の時の考え方や行動について	22
(1)発熱等で最初にとる行動	22
(2)診療機関の選択にあたり探す方法・手段	24
(3)診療機関の選択にあたり重視する点	26
3. 大きな手術や長期の治療が必要な時の行動や考え方について	28
(1)大きな手術や入院治療などを受ける医療機関を選ぶために知りたいこと	28
(2)大きな手術や入院治療などを受ける医療機関を選ぶための情報の入手方法	30
(3)死が避けられない状態となったとき望む医療・ケアを考えたことがあるか	32
(4)死が避けられない状態となったとき望む医療・ケアを話し合ったことがあるか	34
(5)人生の最期を迎えたい場所	36
(6)「人生会議」についての認知度	38
(7)余命6か月と診断され自宅で療養する時、在宅医療の希望とその実現の可能性	39
(8)余命6か月と診断され自宅で療養する時の心配ごと	40
(9)知りたい在宅医療の情報を集める方法・手段	42
(10)自分の病気や治療について知り、受ける医療を自身で選択・決定するために必要なこと	44
4. 急病時の対応について	46
(1)受診が必要か救急車を呼ぶべきか迷った時に情報を得る方法	46
(2)診療可能な医療機関を探したい時の探す方法	46

5. がん対策について	48
(1)がんの治療法や病院に関する情報の入手先	48
(2)日常生活とがんの治療の両立について	50
(3)日常生活とがんの治療の両立できる条件	52
(4)緩和ケアを受ける場所として希望する場所	54
6. 健康や感染症の予防について	56
(1)食中毒や感染症を予防で日頃の生活で気をつけていること	56
(2)知っている感染症の名前	58
7. こころの病気について	60
(1)こころの病気にかかったときの行動	60
(2)精神疾患かもしれないと指摘されたときに欲しい情報	62
8. 歯と歯科診療について	64
(1)歯や口の状態について気になるところの有無	64
(2)歯や口の状態について気になる症状	66
(3)かかりつけの歯科医院(診療所)の有無	68
(4)かかりつけの歯科医院について	70
(5)かかりつけ歯科医がない理由	72
(6)この1年間の歯科診療の受診状況	74
(7)この1年間に受けた歯科診療の内容	76
9. 薬と薬局について	78
(1)「後発医薬品(ジェネリック医薬品)」の選択意向	78
(2)かかりつけ薬局の有無と「おくすり手帳」の活用状況	80
(3)かかりつけ薬局を決めていない理由	82
10. 医療への満足度と医療情報の提供について	84
(1)医療について知りたい情報	84
(2)医療について知りたい情報の入手方法・手段	87
(3)横浜市の医療等の満足度	89
(4)今後、充実を希望する医療	94
調査票	97

横浜市民の医療に関する意識調査

調査概要

1 調査の目的

市民が、自分や家族が医療機関を受診する際に、どのように情報を得て、何を基準に医療機関を選択しているのか、医療に関してどのようなことを知りたいのか、どのような医療の充実を望んでいるのかなどを把握し、横浜市の医療施策に役立てるために行ったものである。

2 調査の概要

調査対象	18歳以上の横浜市民 3,000人(外国籍を含む)
調査期間	令和4年11月22日から令和4年12月21日
調査方法	郵送調査・インターネット回答方式併用 (調査票を郵送、回答は郵送又はインターネット)
回収数	1,489票(回収率 49.6%)…白紙回答、ネット重複回答各1件を含む
有効回答数	1,487票(有効回答率 49.6%)(外国籍18票含む)

3 集計・分析結果を読む際の注意点

- ① 図(グラフ)の中で使用されているアルファベットの意味は次の通り。
n:その設問に対する回答者数
- ② 回答の比率(すべて百分率(%)で表示)は、その設問の回答者数を基数(件数)として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。

※クロス集計表の見方

橙色の塗りつぶし:選択肢の中で第1位の項目については橙色で塗りつぶしている。

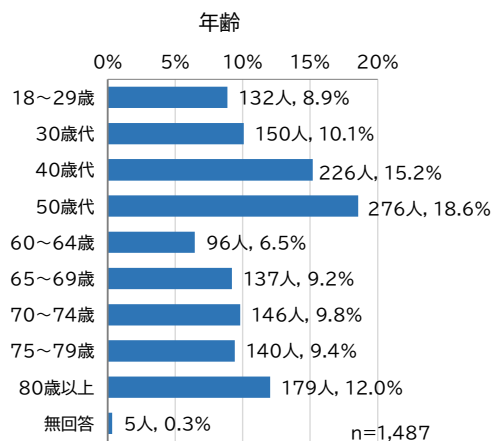
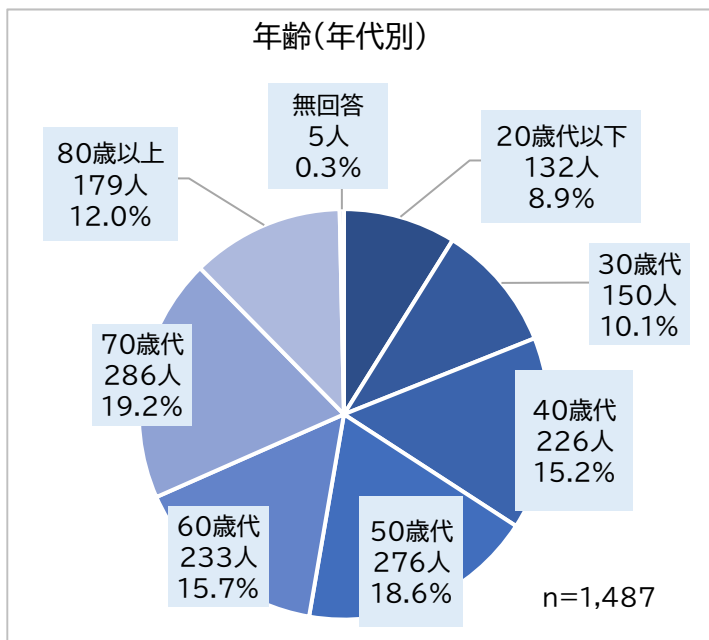
強調数字:属性別にみて、市全体の数値と比べてかなり高い(概ね10ポイント以上)数値の項目については数値を強調して表示し、特記している。

※本文中の2007年調査・20012年調査・2016年調査とは、それぞれ平成19年4月・平成24年8月・平成28年12月に行った医療に関する市民意識調査を示す。

I. 回答者の属性(基礎項目)

問1 年齢

・70歳代の19.2%が最も多く、20歳代以下の8.9%が最も少ない。



<年代別>

・横浜市の人口(住民基本台帳に記載された人口令和4年9月末現在、18歳未満を除く)における年齢別の構成と比較すると、50歳代以上では横浜市の人口構成比よりも大きく、40歳代以下では人口構成比よりも少ない。

年代別構成(横浜市人口との比較)

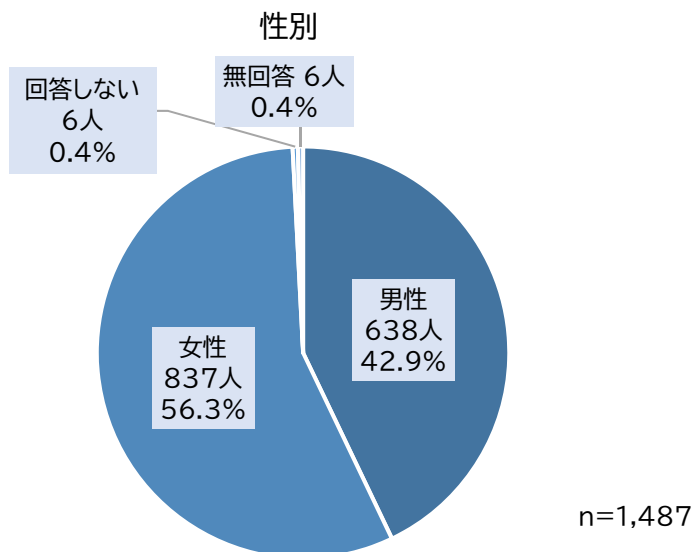
年代	アンケート回答数 *1	横浜市人口 (18歳以上) R4年9月末 *2	アンケート回答数 構成比	横浜市人口 (18歳以上) 構成比
18~29歳	132人	486,843人	8.9%	15.1%
30歳代	150人	434,514人	10.1%	13.5%
40歳代	226人	554,997人	15.2%	17.2%
50歳代	276人	596,137人	18.6%	18.5%
60歳代	233人	405,408人	15.7%	12.6%
70歳代	286人	425,848人	19.3%	13.2%
80歳以上	179人	317,363人	12.1%	9.9%
全体	1,482人	3,221,110人	100.0%	100.0%

*1無回答を除く

*2横浜市ポータルサイト(住民基本台帳データ)

問2 性別

・男性が42.9%、女性が56.3%で、女性の方が多い。



<性別>

・横浜市の人口(住民基本台帳に記載された人口令和4年9月末現在、18歳未満を除く)における性別の構成と比較すると、女性では横浜市の人口構成比よりも大きく、男性では人口構成比よりも少ない。

性別構成(横浜市人口との比較)

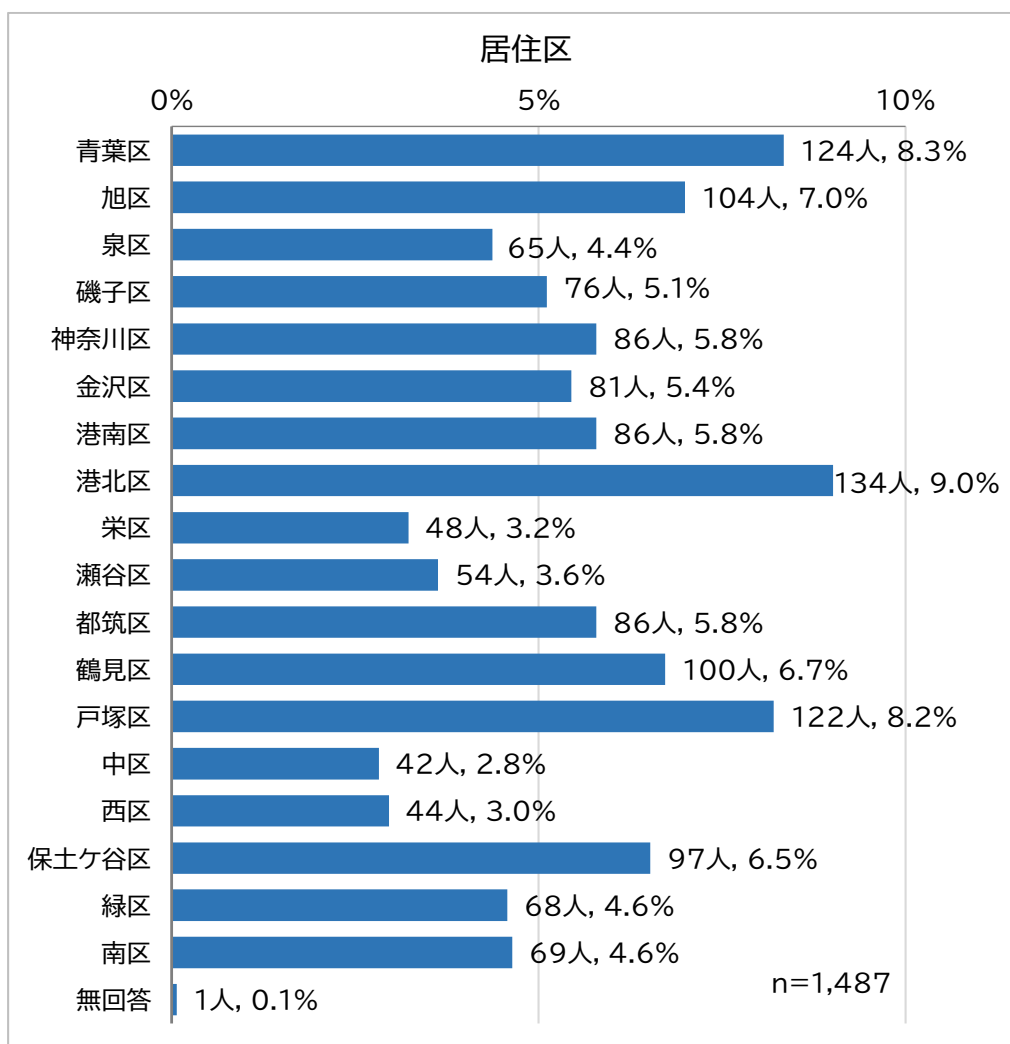
性別	アンケート回答数 *1	横浜市人口 (18歳以上) R4年9月末 *2	アンケート回答数 構成比	横浜市人口 (18歳以上) 構成比
男	638人	1,586,318人	43.3%	49.2%
女	837人	1,634,792人	56.7%	50.8%
計	1,475人	3,221,110人	100.0%	100.0%

*1回答しない、無回答を除く

*2横浜市ポータルサイト(住民基本台帳データ)

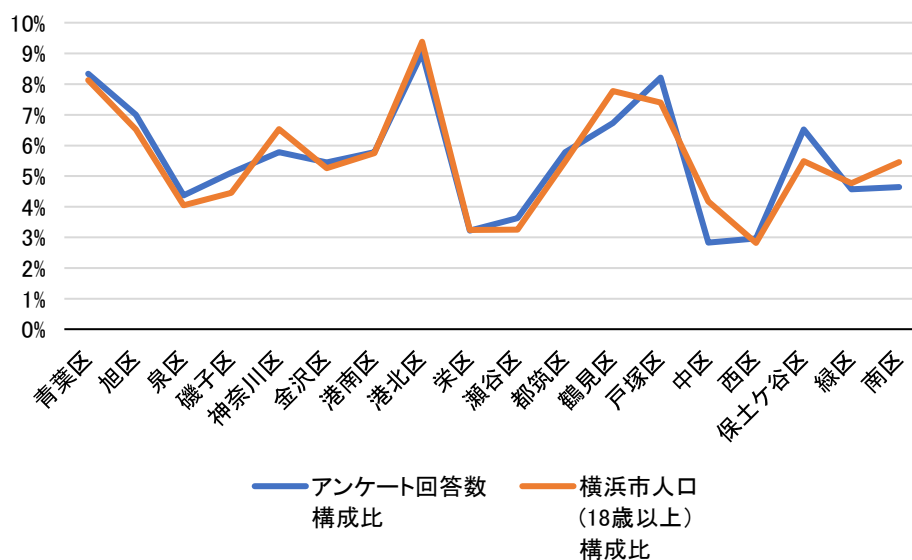
問3 居住区

・「港北区」が 9.0%で最も多く、次いで「青葉区」(8.3%)、「戸塚区」(8.2%)、「旭区」(7.0%)、「鶴見区」(6.7%)の順である。最も少ないのは「中区」(2.8%)である。



<居住区別>

・横浜市の人口(住民基本台帳に記載された人口令和4年9月末現在、18歳未満を除く)における区別の構成と比較すると、概ね区別人口構成比と同様になっている。



居住区別構成(横浜市人口との比較)

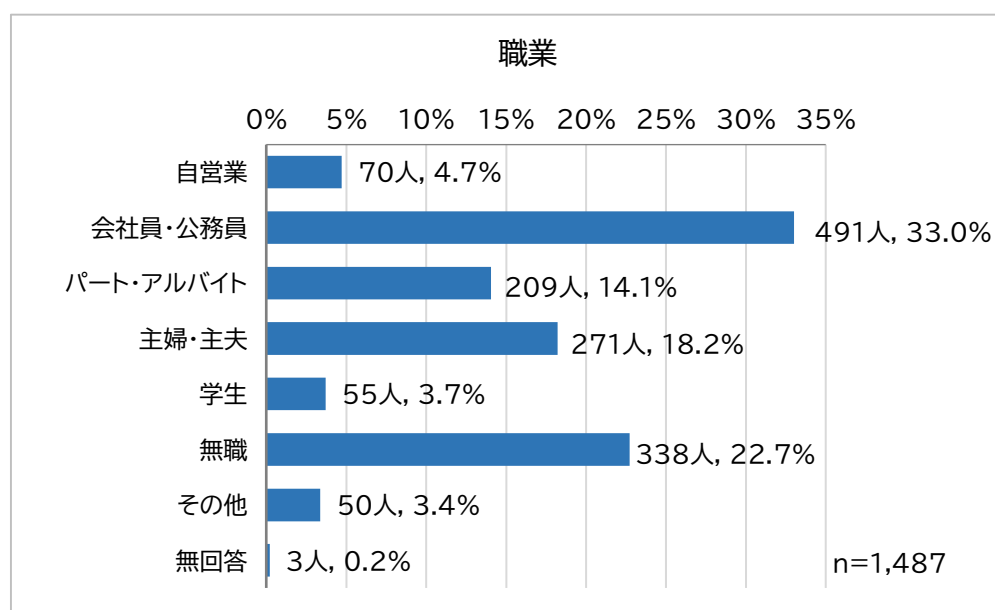
区	アンケート回答数 *1	横浜市人口 (18歳以上) R4年9月末 *2	アンケート回答数 構成比	横浜市人口 (18歳以上) 構成比
青葉区	124人	261,811人	8.3%	8.1%
旭区	104人	210,266人	7.0%	6.5%
泉区	65人	130,501人	4.4%	4.1%
磯子区	76人	143,626人	5.1%	4.5%
神奈川区	86人	210,591人	5.8%	6.5%
金沢区	81人	169,612人	5.5%	5.3%
港南区	86人	185,378人	5.8%	5.8%
港北区	134人	302,390人	9.0%	9.4%
栄区	48人	104,571人	3.2%	3.2%
瀬谷区	54人	104,915人	3.6%	3.3%
都筑区	86人	176,529人	5.8%	5.5%
鶴見区	100人	250,502人	6.7%	7.8%
戸塚区	122人	238,507人	8.2%	7.4%
中区	42人	134,359人	2.8%	4.2%
西区	44人	90,919人	3.0%	2.8%
保土ヶ谷区	97人	176,964人	6.5%	5.5%
緑区	68人	153,769人	4.6%	4.8%
南区	69人	175,900人	4.6%	5.5%
全体	1,486人	3,221,110人	100.0%	100.0%

*1無回答を除く

*2横浜市ポータルサイト(住民基本台帳データ)

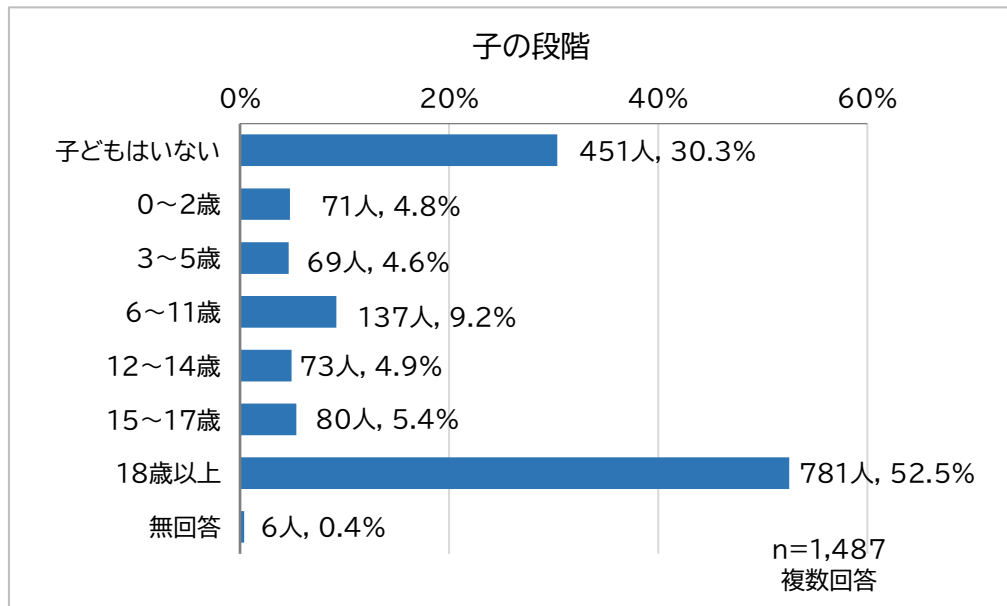
問4 職業

・「会社員・公務員」が 33.0%で最も多く、次いで「無職」(22.7%)、「主婦・主夫」(18.2%)、「パート・アルバイト」(14.1%)、「自営業」(4.7%)、「学生」(3.7%)、「その他」(3.4%)の順である。



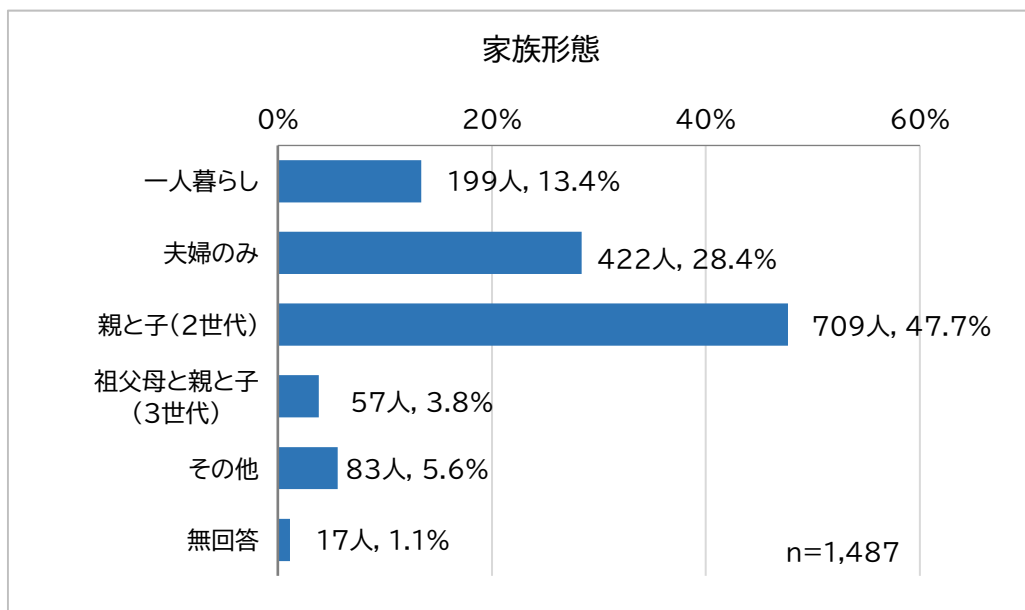
問5 子どもの段階(複数回答)

- ・「18 歳以上」(52.5%)が半数以上と最も多く、次いで「6～11 歳」が 9.2%、それ以外の子どもの段階は 5%前後で拮抗している。一方、「子どもはいない」は 30.3%である。



問6 家族形態

- ・「親と子(2世代)」が 47.7%で最も多く、次いで「夫婦のみ」(28.4%)、「一人暮らし」(13.4%)、「祖父母と親と子(3世代)」(3.8%)の順である。



II. 調査結果

1. 病院又は診療所の定期的な受診やかかりつけ医について

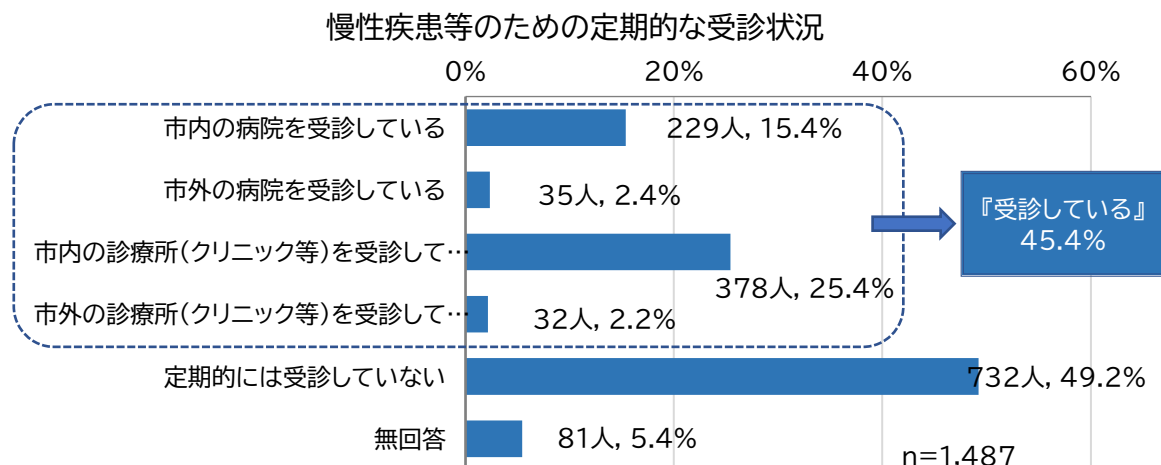
(1) 慢性疾患等のための定期的な受診状況

定期的に“受診している※”(45.4%)と「定期的には受診していない」(49.2%)がほぼ拮抗している

※「市内の病院を受診している」、「市外の病院を受診している」、「市内の診療所(クリニック等)を受診している」、「市外の診療所(クリニック等)を受診している」を合わせて“受診している”とした

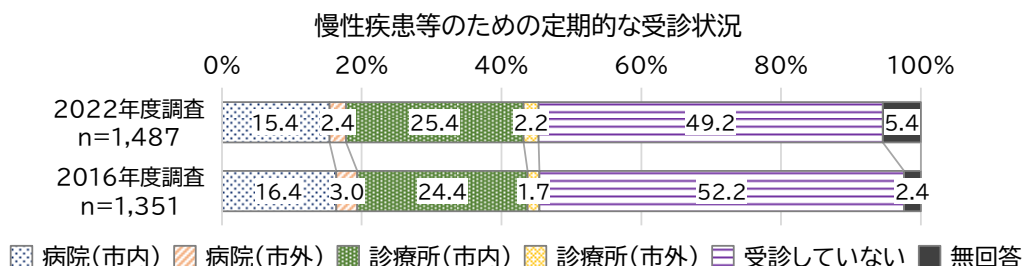
問7 慢性的な病気の治療や薬の処方を受けるため、病院又は診療所の定期的な受診

・現在の受診状況を聞いたところ、「受診していない」が49.2%で最も多く、次いで「市内の診療所(クリニック等)を受診している」が25.4%、「市内の病院を受診している」が15.4%である。「市内の病院を受診している」、「市外の病院を受診している」、「市内の診療所(クリニック等)を受診している」、「市外の診療所(クリニック等)を受診している」を合わせた“受診している”は45.4%である。



【過去調査との比較】

・現在の受診状況を2016年調査と比較してみると、病院(市内・市外)を受診する割合が微減、診療所(市内・市外)を受診する割合が微増、また「受診していない」割合も微減傾向にある。



～用語解説～

○ 診療所(クリニック等)

入院用のベッドを持たない又は20床未満のベッドを有し、主に日常の健康管理や比較的軽症の医療、必要時の専門医療機関への紹介等を行うための医療機関のこと

○ 病院

20床以上の入院用のベッドを有し、主に入院治療や手術を行うための医療機関のこと

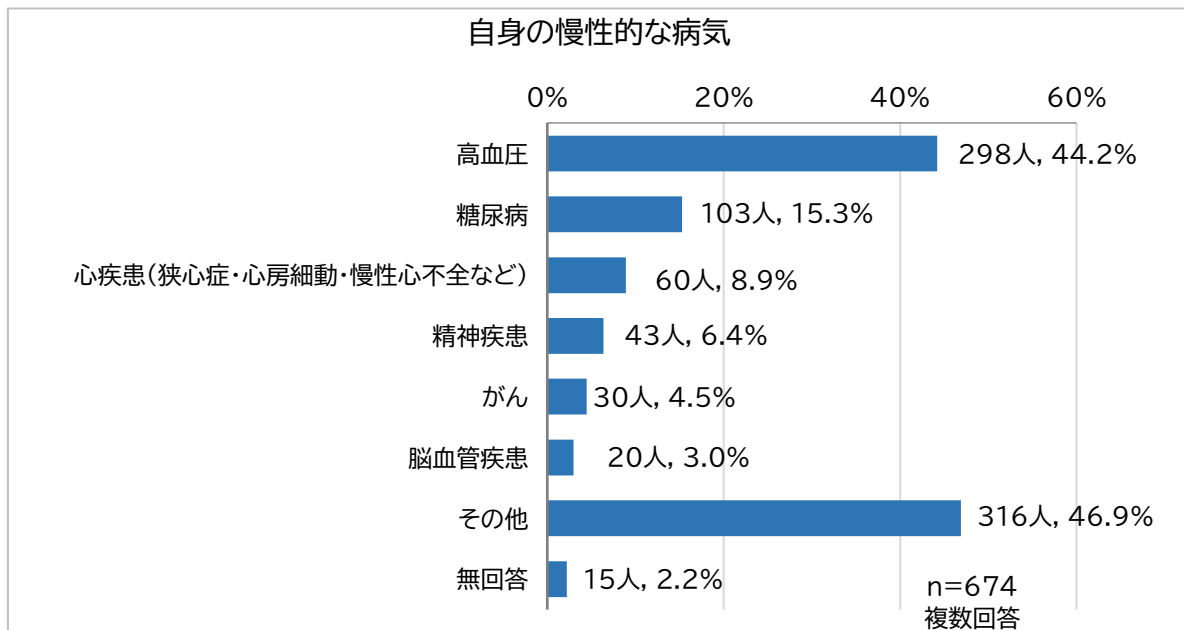
(2)自身の慢性的な病気

「高血圧」が44.2%と最も多い

問7で「市内の病院を受診している」「市外の病院を受診している」「市内の診療所(クリニック等)を受診している」「市外の診療所(クリニック等)を受診している」に○をつけた方

問7-1 自身の慢性的な病気(複数回答)

- ・定期的な受診をしていると答えた方に、自身の慢性的な病気を聞いたところ、「高血圧」が44.2%で最も多く、次いで「糖尿病」(15.3%)、「心疾患(狭心症・心房細動・慢性心不全など)」(8.9%)、「精神疾患」(6.4%)、「がん」(4.5%)、「脳血管疾患」(3.0%)の順である。
- ・その他の記述では、「コレステロール」、「高脂血症」、「喘息」、「皮膚科」、「腎臓病」、「骨粗鬆症」等々多様な病気が挙げられている。



自身の慢性的な病気(その他記述)

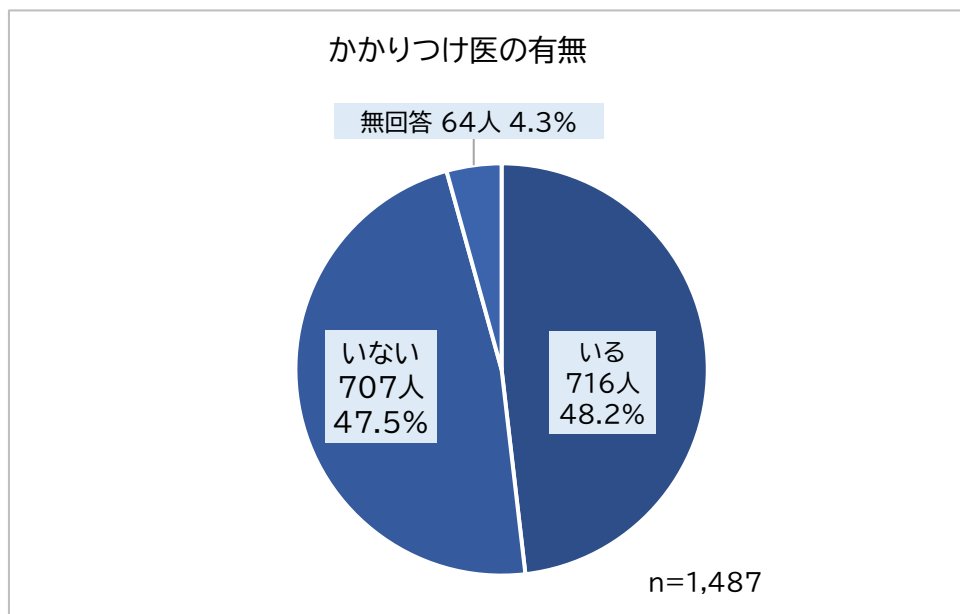
慢性疾患	件数	慢性疾患	件数	慢性疾患	件数	慢性疾患	件数
コレステロール	26	脳	4	蕁麻疹	2	強直性脊椎炎	1
高脂血症	24	花粉症	4	眼疾患	2	免疫系疾患	1
喘息	17	眼科	4	間質性肺炎	2	非結核性抗酸菌症	1
皮膚科	15	パーキンソン病	4	肝機能	2	白内障	1
腎臓病	15	膀胱炎	4	不整脈	2	ワクチン副反応	1
骨粗鬆症	15	怪我	4	睡眠障害	2	天疱瘡	1
緑内障	14	血小板減少	4	不妊治療	2	躁鬱病	1
アレルギー	12	腰痛	4	膠原病	2	耳鼻科	1
脂質異常	11	潰瘍性大腸炎	4	坐骨神経痛	1	くも膜下出血	1
アトピー性皮膚炎	10	尿酸値	4	腸・便秘改善など総合	1	脊柱管狭窄症	1
関節リウマチ	10	胃炎	3	癌治療	1	ミトコンドリア病	1
便秘	9	B型肝炎	3	頸椎症	1	ベーチェット病	1
睡眠時無呼吸症候群	8	内分泌	3	更年期障害	1	泌尿器科	1
痛風	7	整形外科	3	胆嚢ジスキネジー	1	神経痛	1
婦人科系	7	てんかん	3	起立性低血圧症	1	過敏性腸症候群	1
甲状腺疾患	6	めまい	3	パニック障害	1	呼吸器疾患	1
貧血	6	白内障	3	腰椎狭窄症	1	舌下免疫療法	1
逆流性食道炎	6	バセドウ病	2	指定難病	1	関節炎	1
前立腺肥大	6	心臓疾患	2	消化不良	1	メニエール病	1
高尿酸値症	6	耳なり	2	脂肪肝	1	頸椎・腰椎ヘルニア	1
認知症	5	肺疾患	2	不眠	1	妊婦健診	1
気管支喘息	5	副鼻腔炎	2	歯科	1		

(3) かかりつけ医の有無

かかりつけ医が「いる」(48.2%)と「いない」(47.5%)が拮抗している
年代別にみると、高齢になるにつれかかりつけ医が「いる」割合が高くなっている

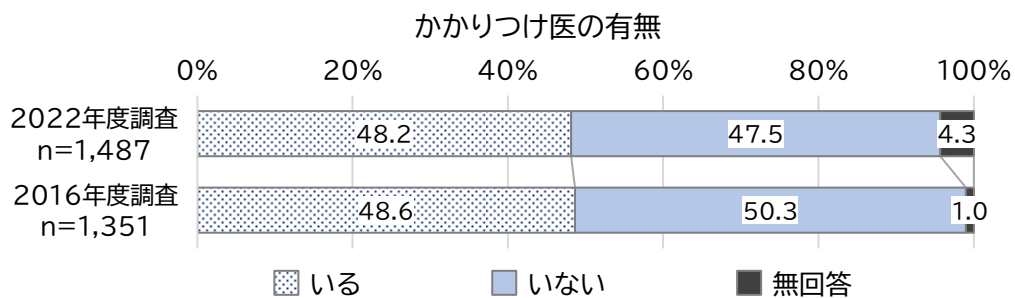
問8 あなたには、あなたの心身の状態をわかっていて、治療だけでなく日常の健康管理や相談ができる医師(かかりつけ医)がいますか。

・かかりつけ医の有無を聞いたところ、「いる」が48.2%、「いない」が47.5%で拮抗している。



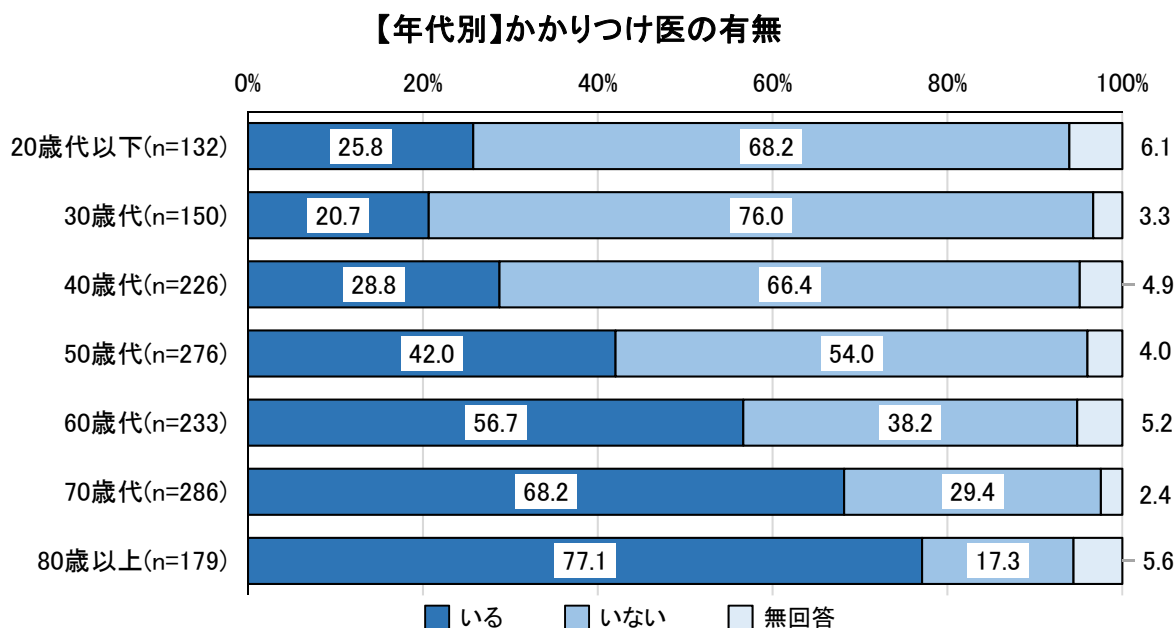
【過去調査との比較】

・かかりつけ医の有無を2016年調査と比較してみると、「いない」の割合に微減傾向がみられる。



<年代別>

・かかりつけ医の有無を年代別に比較すると、かかりつけ医がいると回答した人は、20 歳代以下(25.8%)、30 歳代(20.7%)では割合が低く、70 歳代(68.2%)、80 歳以上(77.1%)と高齢になるにつれ割合が高くなっている。



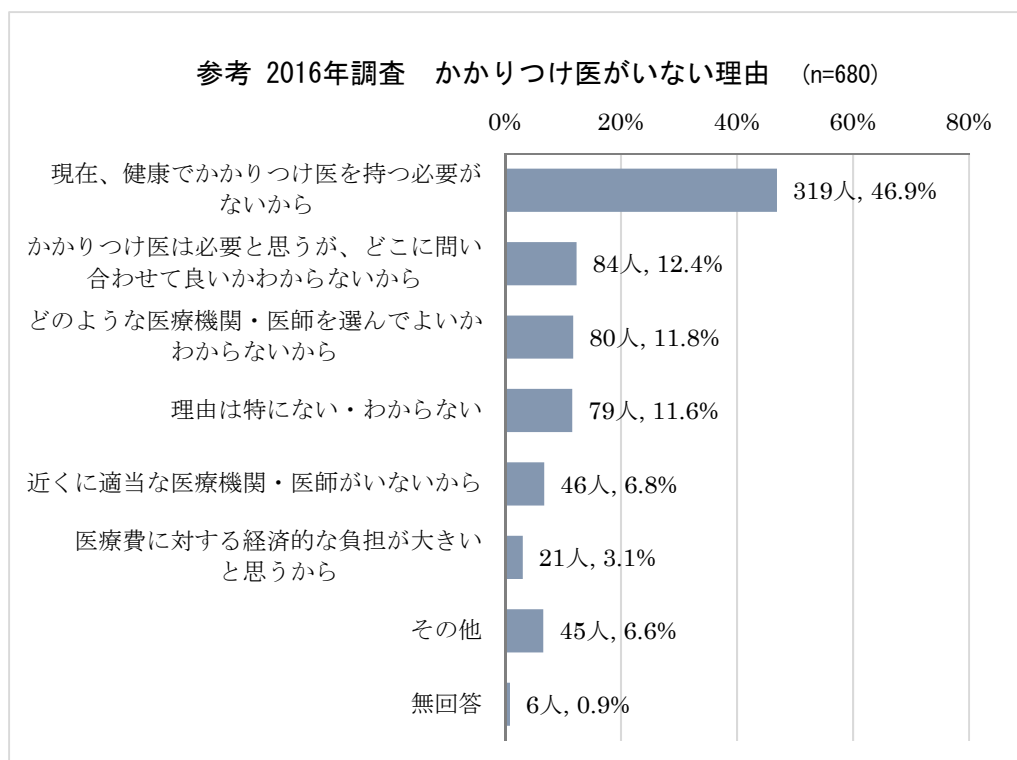
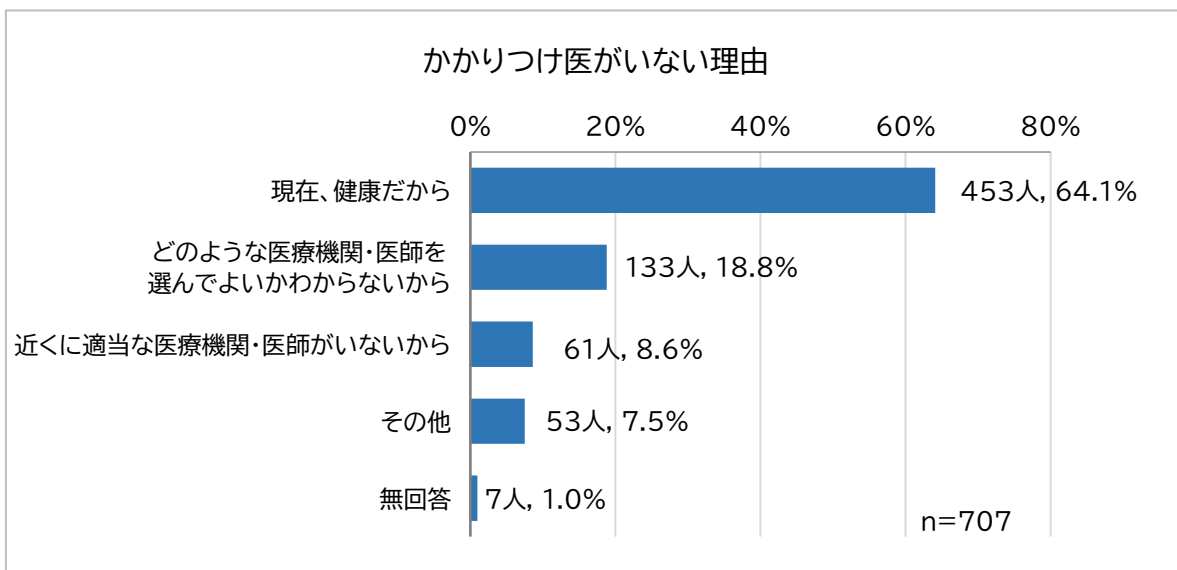
(4) かかりつけ医がない理由

「現在、健康でかかりつけ医を持つ必要がないから」が64.1%で最も多い

問8で「いない」に○をつけた方

問8-1 かかりつけ医がない理由は何ですか。

- ・かかりつけ医が「いない」と答えた方に、かかりつけ医がない理由を聞いたところ、「現在、健康でかかりつけ医を持つ必要がないから」が64.1%で最も多く、次いで「どのような医療機関・医師を選んでよいかわからないから」が18.8%、「近くに適切な医療機関・医師がないから」が8.6%の順である。
- ・その他の記述では「普段通院している医療機関はあるが相談しにくい」、「転勤・引っ越し」、「必要を感じていない」、「症状によって選択している」などが挙げられている。



<慢性疾患等の定期的通院先別>

- ・“受診している”と答えた人のうち、6割以上が「かかりつけ医がいる」と答えている。一方、「定期的には受診していない」と答えた人は、7割以上がかかりつけ医がいない。

		合計	問8 日常の健康管理や相談ができる医師(かかりつけ医)の有無		
			いる	いない	無回答
全体		1,487	48	48	4
慢性的な病気の ために最も日常 的に受診している 病院又は診療所	市内の病院を受診している	229	70.7	26.6	2.6
	市外の病院を受診している	35	62.9	31.4	5.7
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	378	81.7	17.5	0.8
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	32	71.9	28.1	0.0
	定期的には受診していない	732	21.7	73.6	4.6

- ・慢性疾患等の定期的通院先別でみると、「市内の病院を受診している」、「市内の診療所(クリニック等)を受診している」では、「どのような医療機関・医師を選んでよいかわからない」が最も多くなっている。「定期的には受診していない」では「現在、健康だから」が最も多い。

(注) サンプル数が少ない項目については参考とし、コメントはしていない

【慢性疾患等の定期的通院先別】かかりつけ医がいない理由

		合計	問8-1 かかりつけ医がいない理由				
			現在、健康だから	どのような医療機関・医師を選んでよいかわからないから	近くに適切な医療機関・医師がいないから	その他	無回答
全体		707	64	19	9	7	1
慢性的な病気の ために最も日常 的に受診している 病院又は診療所	市内の病院を受診している	61	19.7	37.7	19.7	18.0	4.9
	市外の病院を受診している	11	27.3	36.4	0.0	36.4	0.0
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	66	31.8	33.3	15.2	18.2	1.5
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	9	33.3	22.2	33.3	11.1	0.0
	定期的には受診していない	539	74.6	14.3	6.3	4.3	0.6

(5)医療機関の役割分担の認知状況

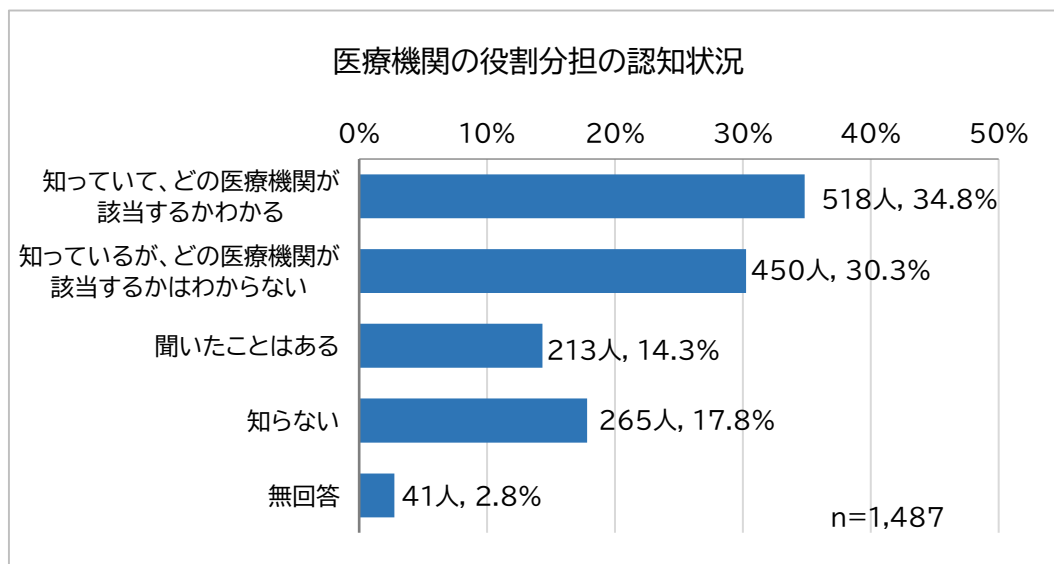
「知っている、どの医療機関が該当するかわかる」が34.8%で最も多く、「知らない」は17.8%である
過去との比較では、「知っている、どの医療機関が該当するかわかる」が大きく増加し、「知らない」が大きく減少している

問9 医療機関には、

- 軽いけがや風邪等の入院や手術を伴わない軽症に対応する医療機関(一次)
- 入院や手術を伴う重症に対応する医療機関(二次)
- 交通事故による多発外傷など生命の危機に係わる症状に対応する医療機関(三次)

とそれぞれ役割があり、役割に応じた医療機関を受診することが望ましいということを知っていますか。

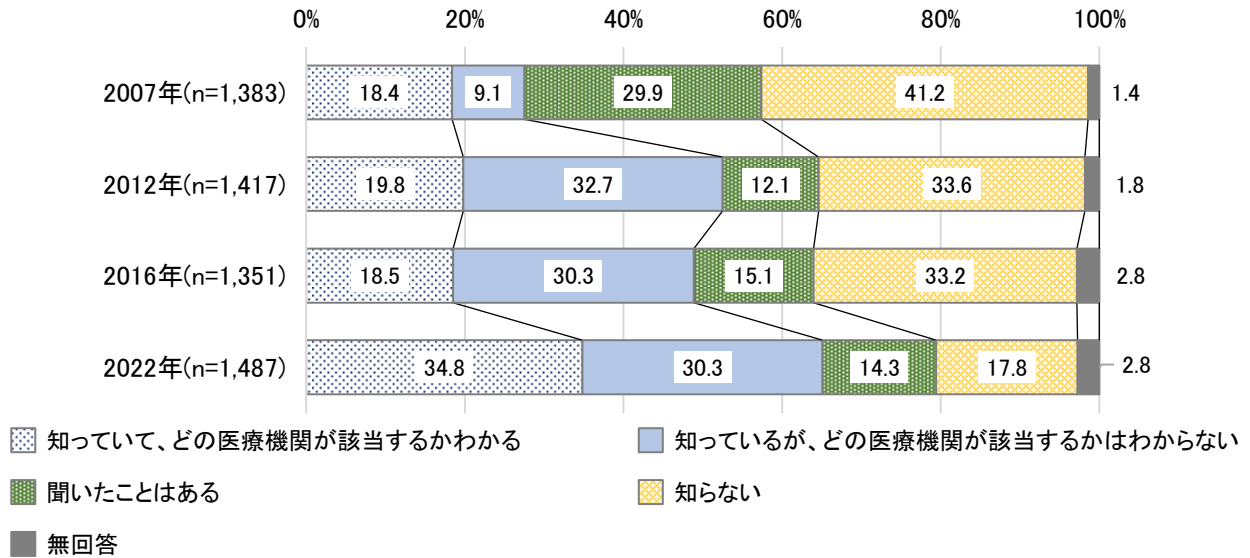
・医療機関の役割分担(一次・二次・三次医療機関の役割分担)の認知状況を聞いたところ、「知っている、どの医療機関が該当するかわかる」が34.8%で最も多く、次いで「知っているが、どの医療機関が該当するかわからない」が30.3%、「聞いたことはある」が14.3%の順である。一方、「知らない」は17.8%である。



【過去調査との比較】

- ・医療機関の役割分担(一次・二次・三次医療機関の役割分担)の認知状況を 2007 年調査、2012 年調査、2016 年調査と比較をしてみると、「知っているどの医療機関が該当するかわかる」の割合が大きく増加している。
- ・「知っているが、どの医療機関が該当するかわからない」と「聞いたことがある」の割合は、2007 年から 2012 年に逆転し、その後概ね同じ割合で推移している。
- ・「知らない」の割合は、2007 年調査以降徐々に減少し、今回調査で大きく減少している。

【経年変化】医療機関の役割分担の認知状況



<年代別>

・医療機関の役割分担の認知状況を年代別にみると、20歳代以下の若い年代では「知らない」が最も多く、30歳代、40歳代、60歳代では「知っているが、どの医療機関が該当するかはわからない」が、50歳代、70歳代、80歳代以上では「知っていて、どの医療機関が該当するかわかる」が最も多くなっている。

<職業別>

・職業別にみると、「パート・アルバイト」、「学生」は「知っているが、どの医療機関が該当するかはわからない」が、その他の職業では「知っていて、どの医療機関が該当するかわかる」が最も多くなっている。

<慢性疾患等の定期的通院先別>

・慢性疾患等の定期的通院先別でみると、「定期的には受診していない」では「知っているが、どの医療機関が該当するかはわからない」のが最も多いが、病院や診療所等を受診している人は「知っていて、どの医療機関が該当するかわかる」の割合が最も多くなっている。

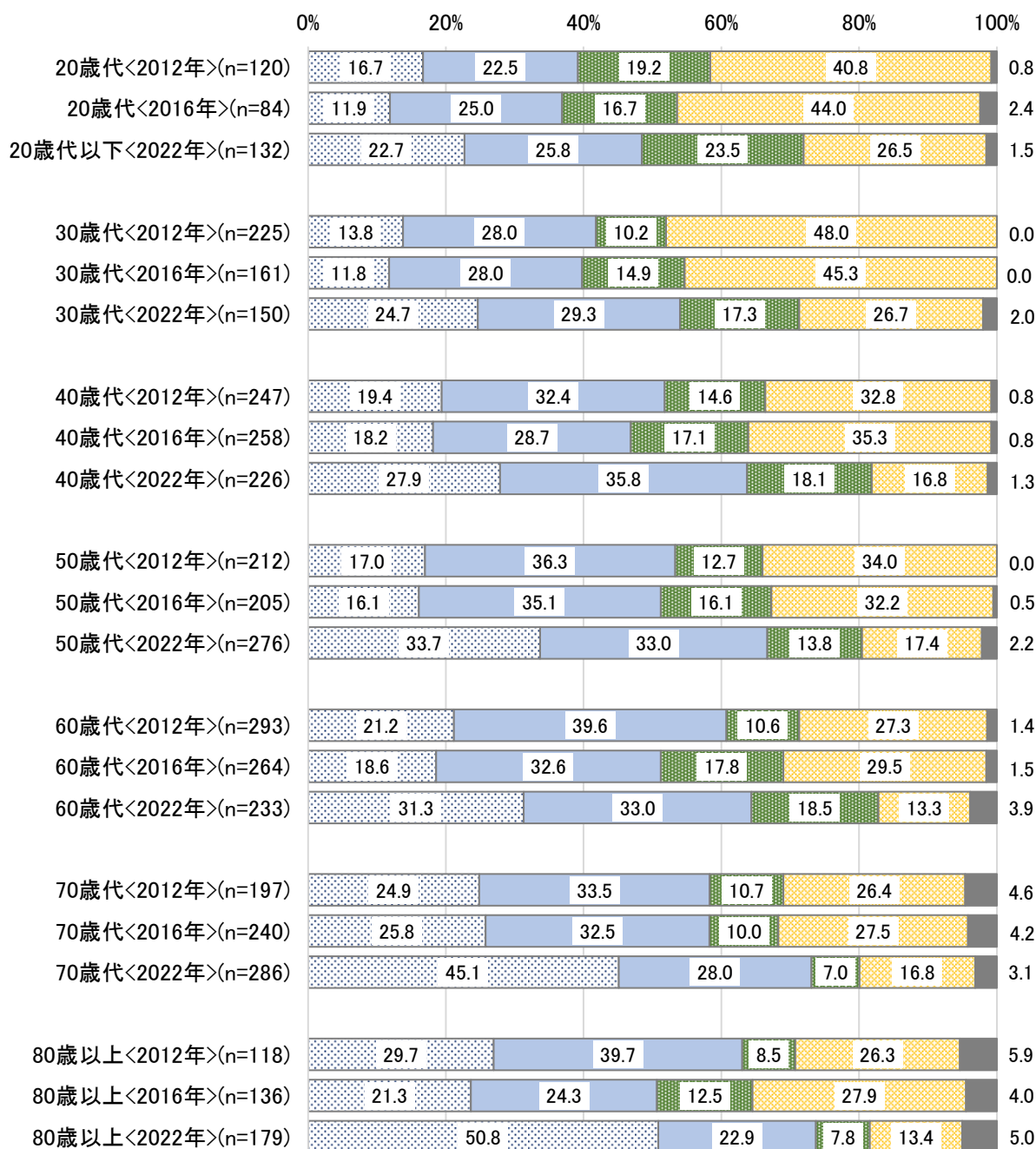
【年代・職業・慢性疾患等の定期的通院先別】医療機関の役割分担の認知状況

		合計	問9 医療機関にはそれぞれ役割があり、役割に応じた医療機関を受診することが望ましいことの認知度				
			知っていて、どの医療機関が該当するかわかる	知っているが、どの医療機関が該当するかはわからない	聞いたことはある	知らない	無回答
全体		1,487	34.8	30.3	14.3	17.8	2.8
年代	20歳代以下	132	22.7	25.8	23.5	26.5	1.5
	30歳代	150	24.7	29.3	17.3	26.7	2.0
	40歳代	226	27.9	35.8	18.1	16.8	1.3
	50歳代	276	33.7	33.0	13.8	17.4	2.2
	60歳代	233	31.3	33.0	18.5	13.3	3.9
	70歳代	286	45.1	28.0	7.0	16.8	3.1
	80歳以上	179	50.8	22.9	7.8	13.4	5.0
職業	自営業	70	37.1	25.7	21.4	15.7	0.0
	会社員・公務員	491	30.8	30.3	16.1	21.2	1.6
	パート・アルバイト	209	33.5	33.5	15.3	15.3	2.4
	主婦・主夫	271	40.6	32.8	11.1	11.4	4.1
	学生	55	20.0	32.7	23.6	21.8	1.8
	無職	338	38.5	28.1	10.7	18.9	3.8
	その他	50	40.0	22.0	12.0	22.0	4.0
慢性的な病気のために最も日常的に受診している病院又は診療所	市内の病院を受診している	229	44.1	30.6	9.2	14.4	1.7
	市外の病院を受診している	35	37.1	31.4	8.6	14.3	8.6
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	378	44.2	27.2	13.2	13.2	2.1
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	32	46.9	25.0	12.5	15.6	0.0
	定期的には受診していない	732	27.0	32.9	17.3	21.6	1.1

・医療機関の役割分担(一次・二次・三次医療機関の役割分担)の認知状況を年代別に過去の調査と比較してみると、いずれの年代も「知っていてどの医療機関が該当するかわかる」が大きく増加し、と「知らない」の割合が大きく減少している。

注)2012年 2016年調査は20歳以上、2022年調査は18歳以上を対象としている

【年代別】医療機関の役割分担の認知状況



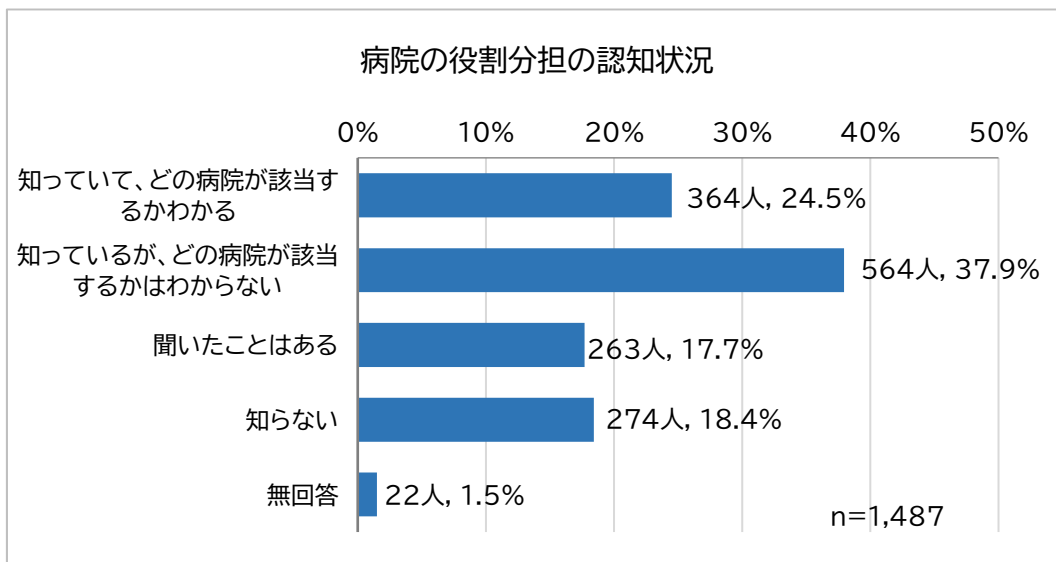
- 知っていて、どの医療機関が該当するかわかる
- 知っているが、どの医療機関が該当するかはわからない
- 聞いたことはある
- 知らない
- 無回答

(6) 病院の役割分担の認知状況

「知っているが、どの医療機関が該当するかはわからない」が 37.9%で最も多い
 「80 歳以上」、「市内の病院を受診している」では「知っていてどの病院が該当するかわかる」の割合が高い

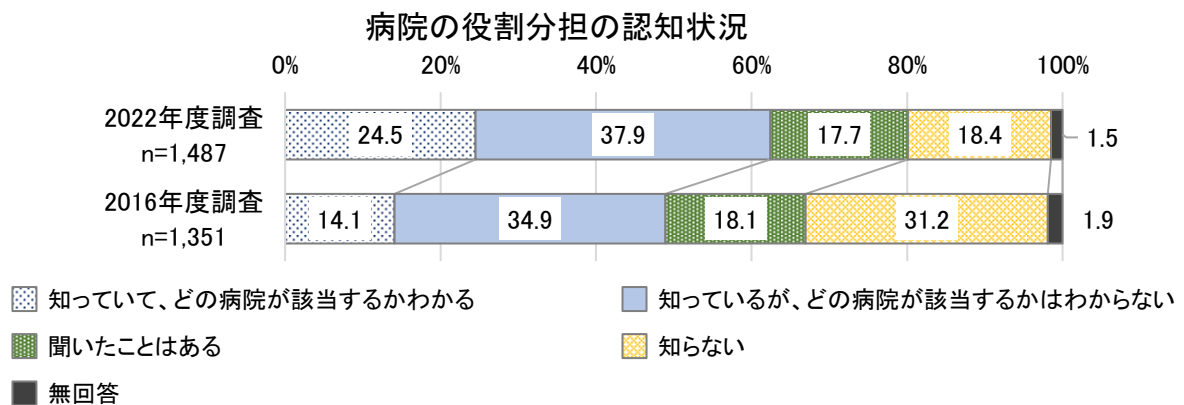
問 10 病院には、急性期病院、回復期リハビリテーション病院、療養を担う病院などがあり、それぞれの病院ごとに役割が違うことを知っていますか。

・病院の役割分担の認知状況を聞いたところ、「知っているが、どの医療機関が該当するかはわからない」が最も多く 37.9%、次いで「知っていて、どの医療機関が該当するかわかる」が 24.5%、「聞いたことはある」が 17.7%の順である。一方、「知らない」は 18.4%である。



【過去調査との比較】

・医療機関の役割分担の認知状況を 2016 年調査と比較をしてみると、「知っていて、どの医療機関が該当するかわかる」の割合が大きく増加し、「知らない」が大きく減少した。



～用語解説～

○ 急性期病院

けがや病気の発症直後や手術の前後など、患者の症状が不安定な状態の時期(急性期)の医療に対応する病院。

○ 回復期リハビリテーション病院

脳卒中や大腿骨骨折などにより急性期の治療を行った後に、日常的生活能力の向上による寝たきりの防止と在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行う病院。

○ 療養を担う病院

急性期の治療などにより症状は安定しているものの、引き続き、医療的な対応が長期間必要な患者の入院に対応する病院。

<年代別>

・病院の役割分担の認知状況(病床(急性・回りハ・療養)認知度)を年代別にみると、80歳以上で「知っているが、どの病院が該当するかわかる」が最も多く、その割合が特に高い。30～70歳代では「知っているが、どの医療機関が該当するかわからない」が最も多い。20歳代以下では「知らない」が最も多く、その割合も高い。

<職業別>

・「学生」は「知らない」が最も多く、その割合も高い。それ以外の職業では「知っているが、どの医療機関が該当するかわからない」が最も多く、「主婦・主夫」でその割合が特に高い。

<慢性疾患等の定期的通院先別>

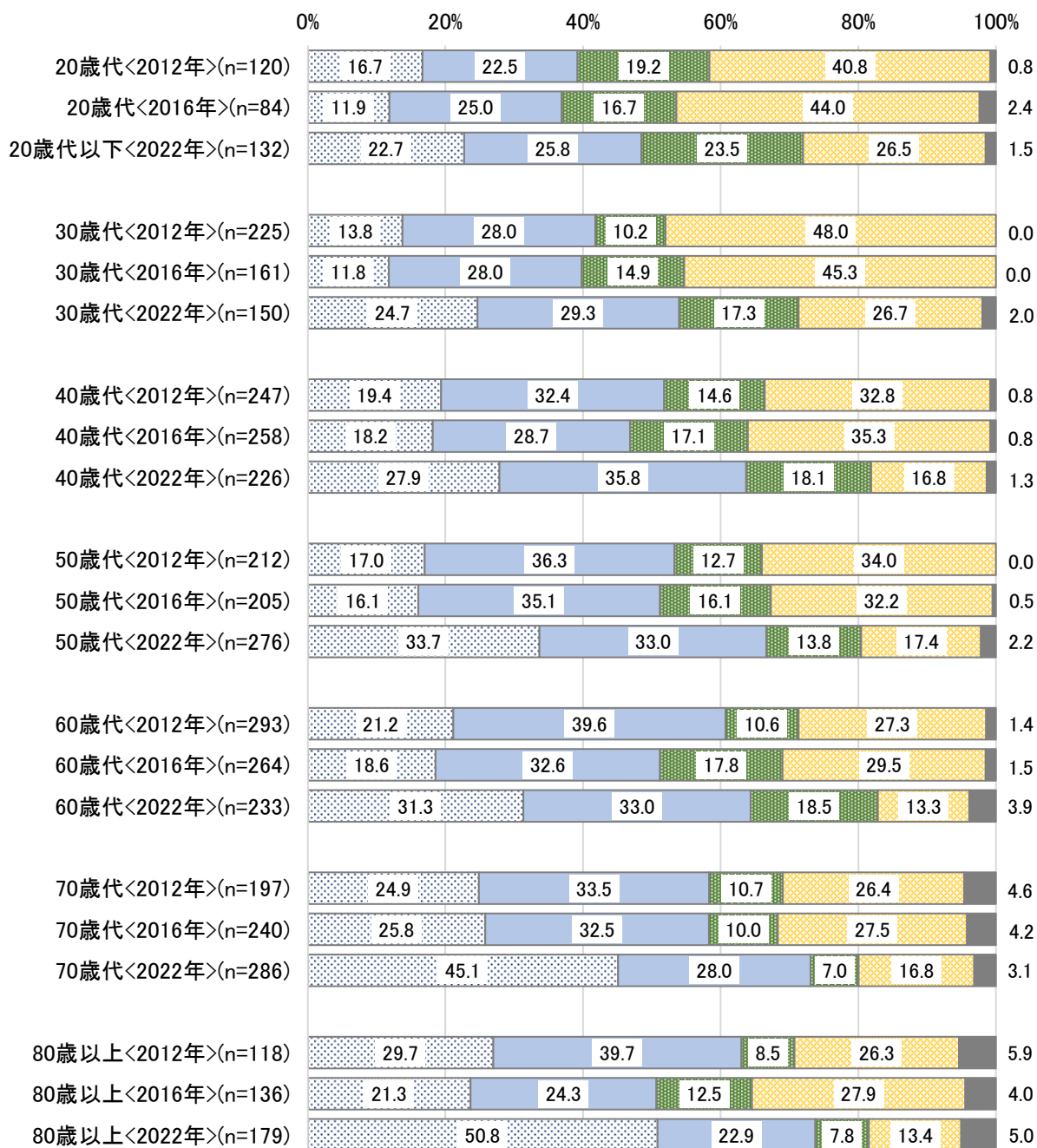
・慢性疾患等の定期的通院先別でみると、「市内の病院を受診している」では「知っているが、どの病院が該当するかわかる」が最も多く、その割合も高い。それ以外は「知っているが、どの医療機関が該当するかわからない」が最も多くなっている。

【年代・職業・慢性疾患等の定期的通院先別】病院の役割分担の認知状況

		合計	問10 病院には、それぞれの病院ごとに役割が違うことの認知度				
			知っているが、どの病院が該当するかわかる	知っているが、どの病院が該当するかわからない	聞いたことはある	知らない	無回答
全体		1,487	24.5	37.9	17.7	18.4	1.5
年代	20歳代以下	132	20.5	23.5	24.2	30.3	1.5
	30歳代	150	18.7	31.3	25.3	22.7	2.0
	40歳代	226	14.6	40.3	21.2	23.5	0.4
	50歳代	276	24.6	38.4	17.0	18.8	1.1
	60歳代	233	23.2	44.6	19.7	10.7	1.7
	70歳代	286	28.7	42.3	11.9	15.4	1.7
	80歳以上	179	39.7	33.5	10.1	14.5	2.2
職業	自営業	70	30.0	35.7	18.6	15.7	0.0
	会社員・公務員	491	20.2	35.0	20.4	23.8	0.6
	パート・アルバイト	209	24.9	39.2	16.7	17.7	1.4
	主婦・主夫	271	24.4	49.1	15.5	9.2	1.8
	学生	55	18.2	20.0	27.3	32.7	1.8
	無職	338	29.0	37.6	14.2	16.9	2.4
	その他	50	36.0	28.0	16.0	18.0	2.0
	慢性的な病気のために最も日常的に受診している病院又は診療所	市内の病院を受診している	229	37.1	36.7	11.4	14.4
市外の病院を受診している		35	28.6	40.0	8.6	17.1	5.7
市内の診療所(クリニック等)を受診している		378	29.4	39.7	18.5	11.9	0.5
市外の診療所(クリニック等)を受診している		32	21.9	43.8	9.4	21.9	3.1
定期的には受診していない		732	18.7	37.8	20.1	23.1	0.3

・病院の役割分担の認知状況(病床(急性・回リハ・療養)認知度)を年齢別に 2012 年調査,2016 年調査と比較をしてみると、いずれの年代でも「知っているがどの医療機関が該当するかわかる」の割合が大きく増加し、「知らない」の割合が大きく減少している。

【年代別】病院の役割分担の認知状況



-
-

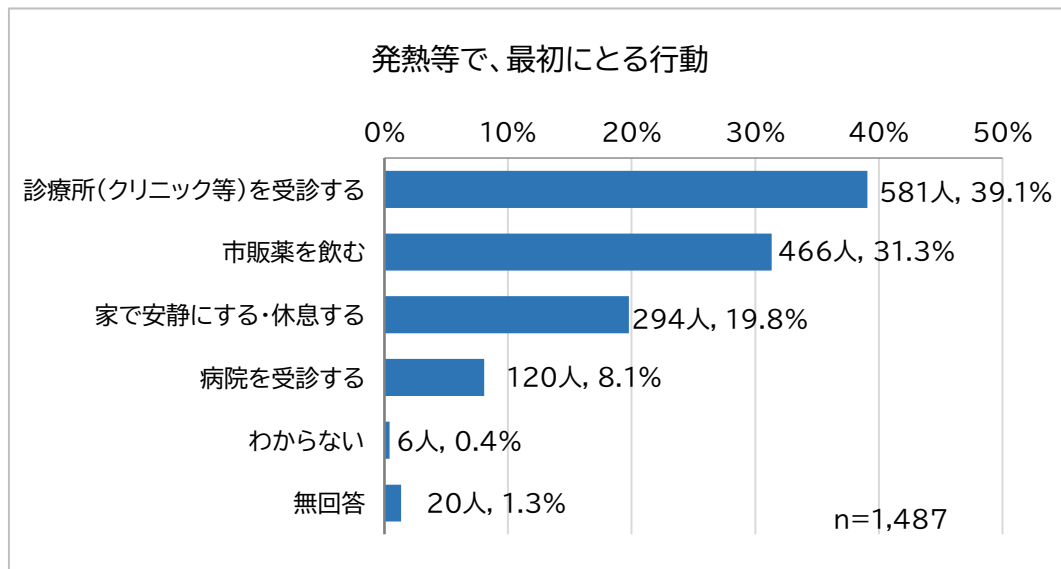
2. 発熱やのどの痛みなどの比較的軽い症状の時の考え方や行動について

(1) 発熱等で最初にとる行動

「診療所(クリニック等)を受診する」が39.1%で最も多く、次いで「市販薬を飲む」が31.3%である
70歳以上の高齢世代で診療所や病院を受診する割合が高い

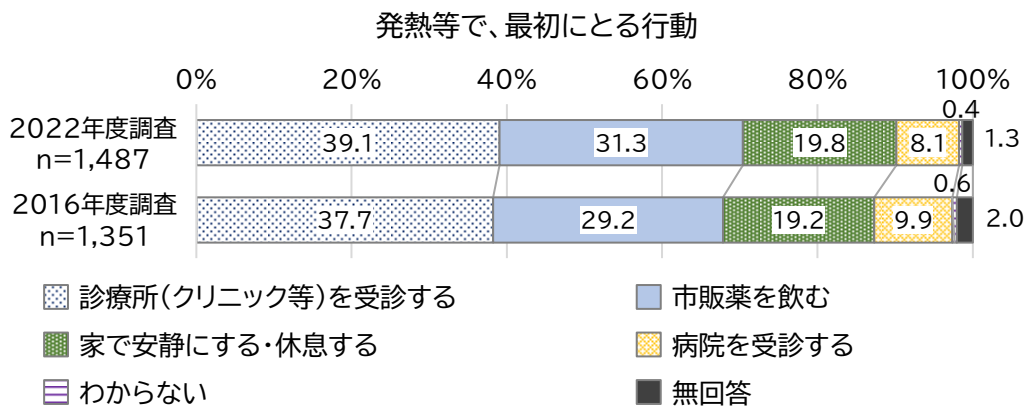
問 11 あなたは、発熱(38度前後)やのどの痛みなどで心身の具合が悪いとき、最初にどのような行動をとることが多いですか。

- ・比較的軽い症状の時に最初にとる行動を聞いたところ、「診療所(クリニック等)を受診する」が39.1%で最も多く、次いで「市販薬を飲む」(31.3%)、「家で安静にする・休息する」(19.8%)、「病院を受診する」(8.1%)の順である。



【過去調査との比較】

- ・発熱等で最初にとる行動を2016年調査と比較してみると、「診療所(クリニック等)を受診する」、「市販薬を飲む」、「家で安静にする・休息する」の割合が微増し、「病院を受診する」が微減する傾向がみられる。

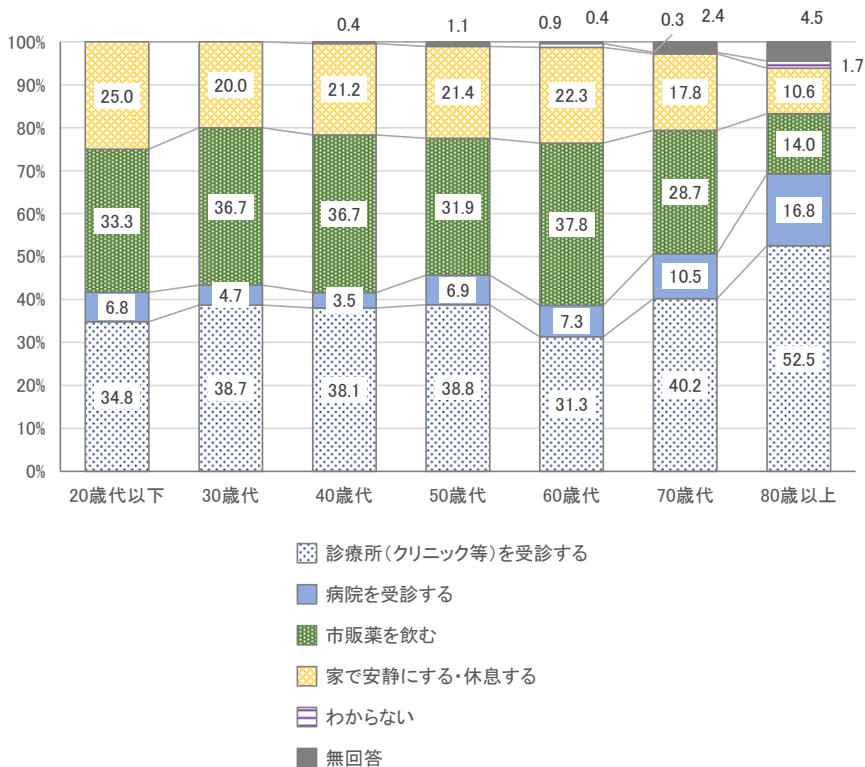


【年代別】

・発熱等で最初にとる行動を年代別にみると、60歳代までは「市販薬を飲む」と「家で安静にする・休息する」の合計が半数以上を占めるが、70歳以上になると「診療所(クリニック等)を受診する」、「病院を受診する」の割合が増加し半数以上を占める。

【年代別】発熱等で最初にとる行動

		合計	問11 発熱やのどの痛みなどで心身の具合が悪いとき、最初にとる行動					
			診療所(クリニック等)を受診する	病院を受診する	市販薬を飲む	家で安静にする・休息する	わからない	無回答
全体		1487	39.1	8.1	31.3	19.8	0.4	1.3
年代	20歳代以下	132	34.8	6.8	33.3	25.0	0.0	0.0
	30歳代	150	38.7	4.7	36.7	20.0	0.0	0.0
	40歳代	226	38.1	3.5	36.7	21.2	0.0	0.4
	50歳代	276	38.8	6.9	31.9	21.4	0.0	1.1
	60歳代	233	31.3	7.3	37.8	22.3	0.9	0.4
	70歳代	286	40.2	10.5	28.7	17.8	0.3	2.4
	80歳以上	179	52.5	16.8	14.0	10.6	1.7	4.5



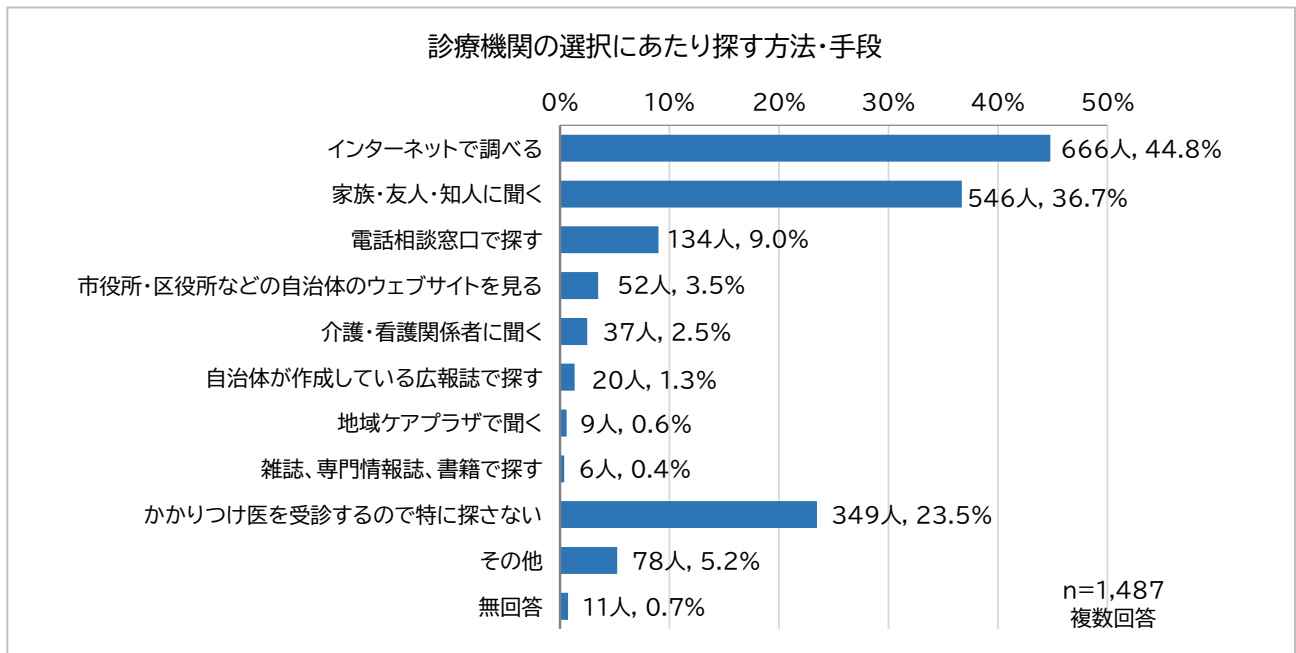
(2) 診療機関の選択にあたり探す方法・手段

「インターネットで調べる」の割合が44.8%で最も多い

50歳代までは「インターネットで調べる」が最も多いが、60歳代以上になると「家族・友人・知人に聞く」、「かかりつけ医を受診するので特に探さない」の割合が高い

問12 あなたは、発熱(38度前後)やのどの痛みなどで心身の具合が悪く、医療機関を受診したいとき、どのような方法・手段で探していますか。(複数回答(2つまで)可)

- ・診療機関の選択にあたり探す方法・手段を聞いたところ、「インターネットで調べる」が最も多く44.8%、次いで「家族・友人・知人に聞く」(36.7%)、「電話相談窓口で探す」(9.0%)の順である。一方、「かかりつけ医を受診するので特に探さない」は23.5%である。
- ・その他記述では「近くの病院に行く」、「かかりつけ医に相談する」、「以前かかったことのある病院に行く」等が挙げられている。



<年代別>

・医療機関を探す方法・手段を年代別にみると、50歳代までは「インターネットで調べる」が最も多いが、60歳代以上になると「家族・友人・知人に聞く」、「かかりつけ医を受診するので特に探さない」の割合が高くなっている。

<職業別>

・職業別にみると「会社員・公務員」など働いている人では「インターネットで調べる」が最も多いが、「主婦・主夫」、「学生」など働いていない人では「家族・友人・知人に聞く」が最も多くなっている。

<慢性疾患等の定期的通院先別>

・慢性疾患等の定期的通院先別でみると、「病院を受診している」では「家族・友人・知人に聞く」が最も多く、「市内の診療所(クリニック等)を受診している」では「かかりつけ医を受診するので特に探さない」が高く、「市外の診療所(クリニック等)を受診している」、「定期的には受診していない」では「インターネットで調べる」が最も多くなっている。

【年代・職業・慢性疾患等の定期的通院先別】診療機関の選択にあたり探す方法・手段

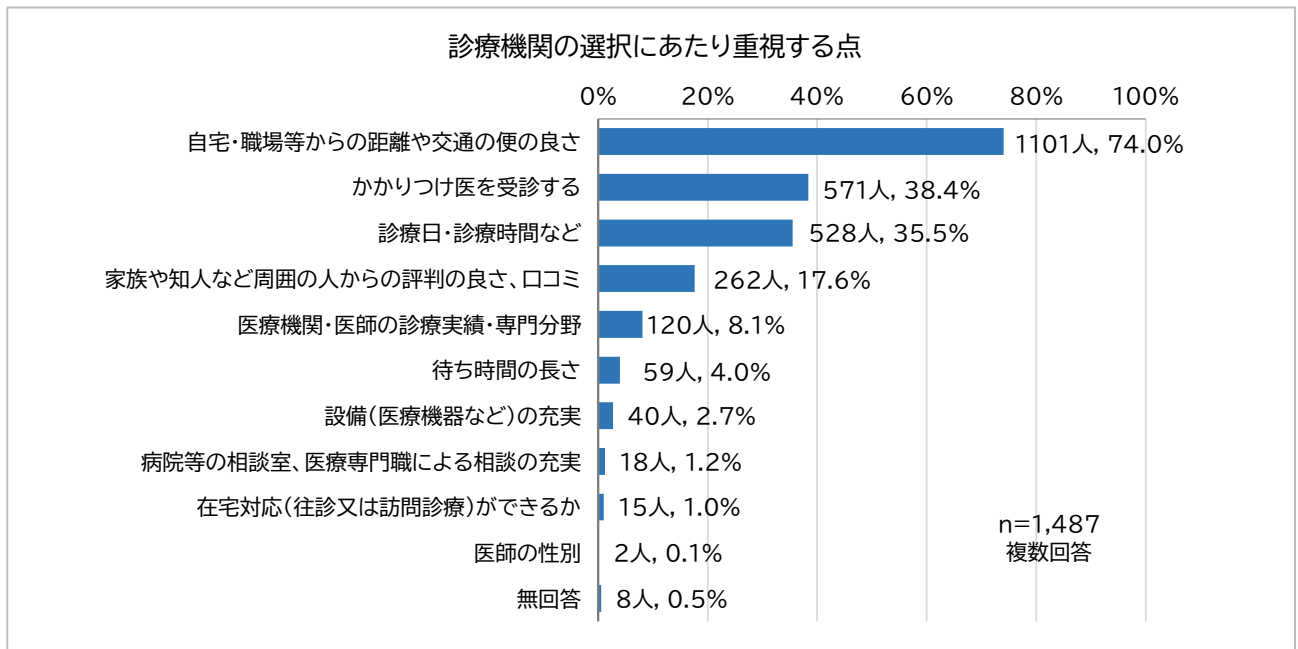
		合計	問12 発熱やのどの痛みなどで心身の具合が悪い時、受診したい医療機関を探す方法・手段										
			家族・友人・知人に聞く	介護・看護関係者に聞く	地域ケアプラザで聞く	電話相談窓口で探す	雑誌、専門情報誌、書籍で探す	自治体で作成している広報誌で探す	市役所・区役所などの自治体のウェブサイトを見る	インターネットで調べる	かかりつけ医を受診するので特に探さない	その他	無回答
全体		1,487	37	2	1	9	0	1	3	45	23	5	1
年代	20歳代以下	132	58	2	0	7	1	0	3	69	7	1	0
	30歳代	150	32	0	0	5	0	0	3	79	10	4	0
	40歳代	226	31	0	0	8	0	0	4	75	11	4	0
	50歳代	276	29	1	0	7	0	0	7	55	22	7	1
	60歳代	233	40	1	0	10	0	2	3	35	32	6	0
	70歳代	286	35	2	0	14	0	3	2	16	36	8	2
	80歳以上	179	44	13	3	9	2	3	1	3	35	3	2
職業	自営業	70	30	0	0	7	0	1	0	44	27	4	1
	会社員・公務員	491	32	0	0	6	0	0	5	70	15	3	0
	パート・アルバイト	209	40	0	0	7	0	1	3	50	22	8	0
	主婦・主夫	271	39	2	1	12	1	1	3	29	28	8	0
	学生	55	73	0	0	5	0	0	2	60	5	2	0
	無職	338	36	8	1	13	1	3	3	16	35	5	2
	その他	50	34	4	2	10	0	2	2	42	26	4	2
慢性的な病気のために最も日常的に受診している病院又は診療所	市内の病院を受診している	229	36.7	5.2	1.3	10.0	0.0	0.9	0.9	25.3	32.3	4.8	0.9
	市外の病院を受診している	35	45.7	2.9	0.0	8.6	2.9	0.0	0.0	40.0	17.1	5.7	2.9
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	378	26.5	2.6	0.8	9.8	0.3	1.1	1.6	27.5	38.4	3.4	1.1
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	32	34.4	3.1	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	37.5	28.1	6.3	6.3
	定期的には受診していない	732	42.5	0.8	0.0	8.2	0.4	1.5	5.2	62.4	12.4	6.0	0.1

(3) 診療機関の選択にあたり重視する点

「自宅・職場等からの距離や交通の便の良さ」の割合が 74.0%と最も多い
80 歳以上では「かかりつけ医を受診する」が最も多い

問 13 あなたは、発熱(38 度前後)やのどの痛みなどで心身の具合が悪く、受診する医療機関を選択するとき、診療科の他にどのような点を重視しますか。(複数回答(2つまで)可)

・医療機関の選択にあたり重視する点を聞いたところ、「自宅・職場等からの距離や交通の便の良さ」が最も多く 74.0%、次いで「かかりつけ医を受診する」(38.4%)と「診療日・診療時間など」(35.5%)を3割以上が挙げている。



<年代別>

・医療機関を選択するときに重視する点を年代別にみると、70歳代までは「自宅・職場等からの距離や交通の便の良さ」が最も多く、特に40歳代以下の若い年齢層でこの割合が高い。また40歳代以下では「診療日・診療時間など」の割合も高くなっている。80歳以上では「かかりつけ医を受診する」が最も多くなっている。

<職業別>

・職業別にみると、いずれの職業でも「自宅・職場等からの距離や交通の便の良さ」が最も多い。「会社員・公務員」、「学生」では「診療日・診療時間など」の割合も高く、「主婦・主夫」、「無職」では「かかりつけ医を受診する」の割合も高い。

<慢性疾患等の定期的通院先別>

・慢性疾患等の定期的通院先別でみると、「市内の診療所(クリニックなど)を受診している」では「かかりつけ医を受診する」が最も多く、そのほかは「自宅・職場等からの距離や交通の便の良さ」が最も多い。「市外の病院を受診している」では「診療日・診療時間など」の割合が高く、「市内で受診している」人では「かかりつけ医を受診する」の割合が高くなっている。「定期的には受診していない」では、「自宅・職場等からの距離や交通の便の良さ」が最も多く、「診療日・診療時間など」の割合も高くなっている。

【年代・職業・慢性疾患等の定期的通院先別】医療機関を選択するときに重視する点

		合計	問13 受診する医療機関を選択するときに重視する点										
			自宅・職場等からの距離や交通の便の良さ	診療日・診療時間など	家族や知人など周囲の人からの評判の良さ、口コミ	設備(医療機器など)の充実	医療機関・医師の診療実績・専門分野	医師の性別	在宅対応(往診又は訪問診療)ができるか	待ち時間の長さ	病院等の相談室、医療専門職による相談の充実	かかりつけ医を受診する	無回答
全体		1,487	74	36	18	3	8	0	1	4	1	38	1
年代	20歳代以下	132	85	62	18	0	5	0	0	2	1	18	0
	30歳代	150	88	59	23	0	5	0	0	5	1	13	0
	40歳代	226	86	51	23	3	6	0	0	5	0	16	0
	50歳代	276	77	42	18	3	8	0	1	4	1	28	1
	60歳代	233	71	27	17	3	12	0	0	6	0	46	0
	70歳代	286	63	17	15	5	10	0	1	2	3	58	1
	80歳以上	179	56	8	11	4	8	1	6	4	2	74	1
職業	自営業	70	63	34	14	1	7	0	0	7	3	37	1
	会社員・公務員	491	84	56	18	3	8	0	0	2	1	19	0
	パート・アルバイト	209	76	35	22	2	8	0	0	4	1	33	0
	主婦・主夫	271	66	22	17	2	8	0	0	5	1	56	1
	学生	55	84	58	20	0	7	0	0	4	2	22	0
	無職	338	65	14	14	4	9	0	3	4	2	60	1
	その他	50	72	32	22	2	10	0	2	8	2	34	0
慢性的な病気のために最も日常的に受診している病院又は診療所	市内の病院を受診している	229	66.4	23.1	13.1	4.4	10.0	0.0	1.7	3.1	2.2	52.4	0.4
	市外の病院を受診している	35	51.4	37.1	28.6	2.9	14.3	2.9	0.0	5.7	0.0	37.1	2.9
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	378	61.1	22.8	11.6	2.6	6.9	0.3	1.9	1.9	1.6	64.3	0.5
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	32	65.6	28.1	12.5	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	6.3
	定期的には受診していない	732	85.4	47.5	22.8	2.0	7.5	0.0	0.1	4.9	0.7	19.0	0.1

3. 大きな手術や長期の治療が必要な時の行動や考え方について

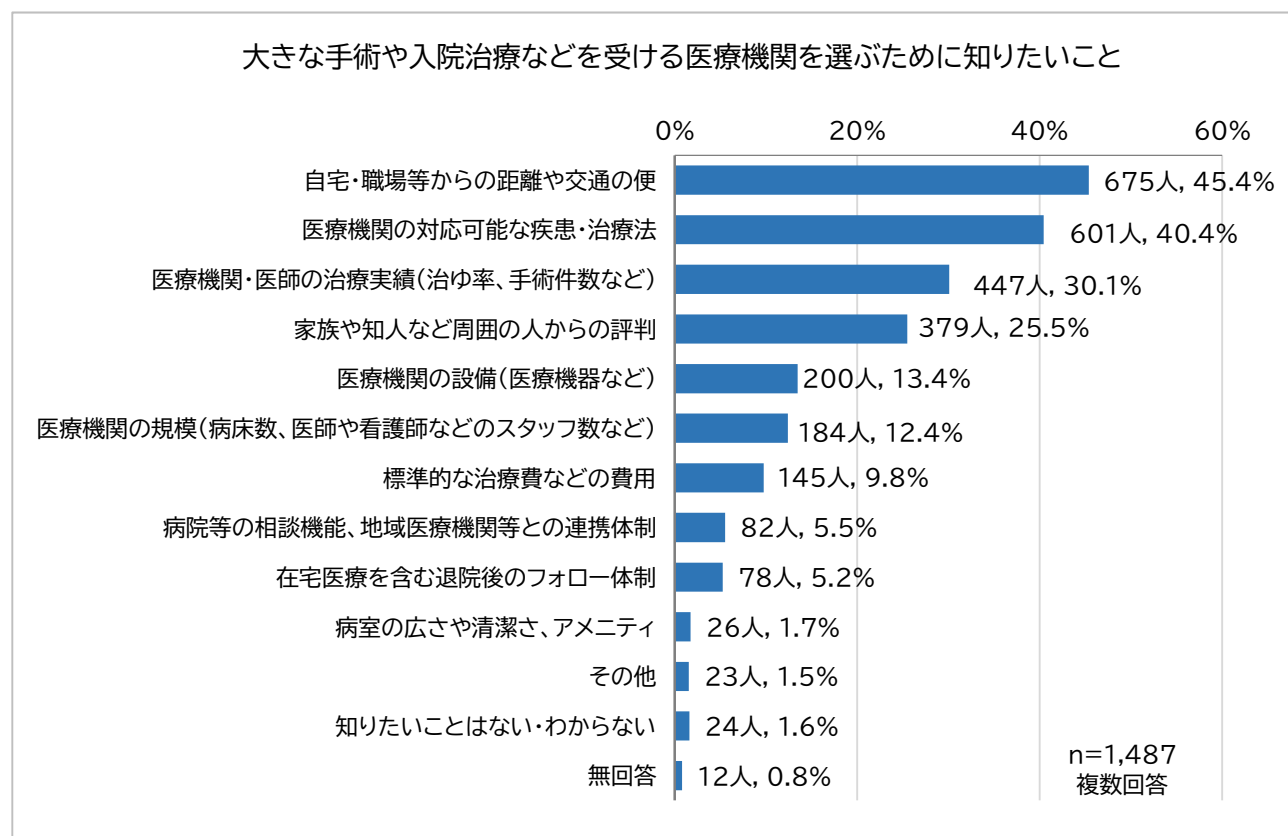
(1) 大きな手術や入院治療などを受ける医療機関を選ぶために知りたいこと

「自宅・職場等からの距離や交通の便」の割合が45.4%と最も多い

男性では「自宅・職場等からの距離や交通の便」が最も多いのに対して、女性では「医療機関の対応可能な疾患・治療法」が最も多い。

問 14 あなたやご家族が大きな手術や入院治療などを受ける医療機関を選ぶために、どのようなことを知りたいと考えますか。(複数回答(2つまで)可)

- ・大きな手術や入院治療などを受ける医療機関を選ぶために知りたいことを聞いたところ、「自宅・職場等からの距離や交通の便」が最も多く45.4%、次いで「医療機関の対応可能な疾患・治療法」(40.4%)、「医療機関・医師の治療実績(治ゆ率、手術件数など)」(30.1%)、「家族や知人など周囲の人からの評判」(25.5%)の順である。
- ・その他記述では「かかりつけ医から紹介してもらう、かかりつけ医に相談して決める」、「インターネットでの口コミ」等が挙げられている。



<年代別>

・大きな手術や入院治療などを受ける医療機関を選ぶために知りたいことを年代別にみると、30歳代、50歳代で「医療機関の対応可能な疾患・治療法」が最も多く、それ以外の年代では「自宅・職場等からの距離や交通の便」が最も多い。

<性別>

・性別にみると、男性では「自宅・職場等からの距離や交通の便」が最も多いのに対して、女性では「医療機関の対応可能な疾患・治療法」が最も多い。

<職業別>

・職業別にみると、「自営業」「その他」で「医療機関の対応可能な疾患・治療法」が最も多く、それ以外の職業では「自宅・職場等からの距離や交通の便」が最も多い。

<慢性疾患等の定期的通院先別>

・慢性疾患等の定期的通院先別でみると、「市外の診療所(クリニックなど)を受診している」で「医療機関の対応可能な疾患・治療法」が最も多い以外は、「自宅・職場等からの距離や交通の便」が最も多い。「市外の病院を受診している」では「医療機関・医師の治療実績(治癒率、手術件数など)」の割合が高い。

【年代・性・職業・慢性疾患等の定期的通院先別】

大きな手術や入院治療などを受ける医療機関を選ぶために知りたいこと

		問14 大きな手術や入院治療などを受ける医療機関を選ぶために知りたいこと													
		合計	自宅・職場等からの距離や交通の便	家族や知人など周囲の人からの評判	医療機関の規模(病床数、医師や看護師などのスタッフ数など)	医療機関の設備(医療機器など)	医療機関・医師の治療実績(治癒率、手術件数など)	医療機関の対応可能な疾患・治療法	標準的な治療費などの費用	病室の広さや清潔さ、アメニティ	病院等の相談機能、地域医療機関等との連携体制	在宅医療を含む退院後のフォロー体制	その他	知りたいことはない・わからない	無回答
全体		1,487	45	25	12	13	30	40	10	2	6	5	2	2	1
年代	20歳代以下	132	44	30	13	23	27	33	17	5	5	3	1	1	0
	30歳代	150	40	28	11	18	37	43	16	3	1	0	1	2	0
	40歳代	226	48	33	10	14	36	42	11	2	2	2	0	0	0
	50歳代	276	42	27	11	12	37	45	9	1	5	3	2	2	1
	60歳代	233	49	23	11	12	33	44	4	2	4	6	2	0	1
	70歳代	286	44	21	16	13	23	41	7	1	10	8	2	1	2
	80歳以上	179	50	20	15	8	15	28	9	2	11	14	3	7	2
性	男性	638	46	24	18	16	32	34	11	2	4	5	2	2	1
	女性	837	45	27	8	12	29	46	9	1	7	6	1	1	1
	回答しない	6	50	0	0	17	33	33	17	0	0	17	0	17	0
職業	自営業	70	37	33	10	19	36	41	10	0	0	1	1	0	1
	会社員・公務員	491	43	26	15	17	39	40	11	2	3	2	1	1	0
	パート・アルバイト	209	49	28	6	8	28	45	10	0	7	4	1	3	0
	主婦・主夫	271	48	24	9	11	28	46	7	1	7	7	1	1	1
	学生	55	42	33	13	22	35	33	15	2	4	2	2	2	0
	無職	338	48	21	17	13	20	33	9	2	9	9	3	2	2
	その他	50	42	30	6	2	24	56	12	0	6	10	4	2	0
慢性的な病気の ために最も日常 的に受診してい る病院又は診療 所	市内の病院を受診している	229	45.4	21.8	15.7	16.6	19.2	37.1	8.7	1.7	7.9	7.9	1.7	2.2	1.3
	市外の病院を受診している	35	42.9	25.7	5.7	14.3	42.9	37.1	2.9	5.7	8.6	2.9	0.0	0.0	2.9
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	378	46.8	23.5	12.2	10.6	29.1	42.1	7.4	1.1	7.9	6.1	1.3	1.9	0.5
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	32	28.1	28.1	18.8	12.5	12.5	53.1	9.4	0.0	6.3	6.3	6.3	0.0	6.3
	定期的には受診していない	732	46.0	27.5	11.7	14.6	33.5	41.1	11.6	1.8	3.4	3.1	1.4	1.2	0.3

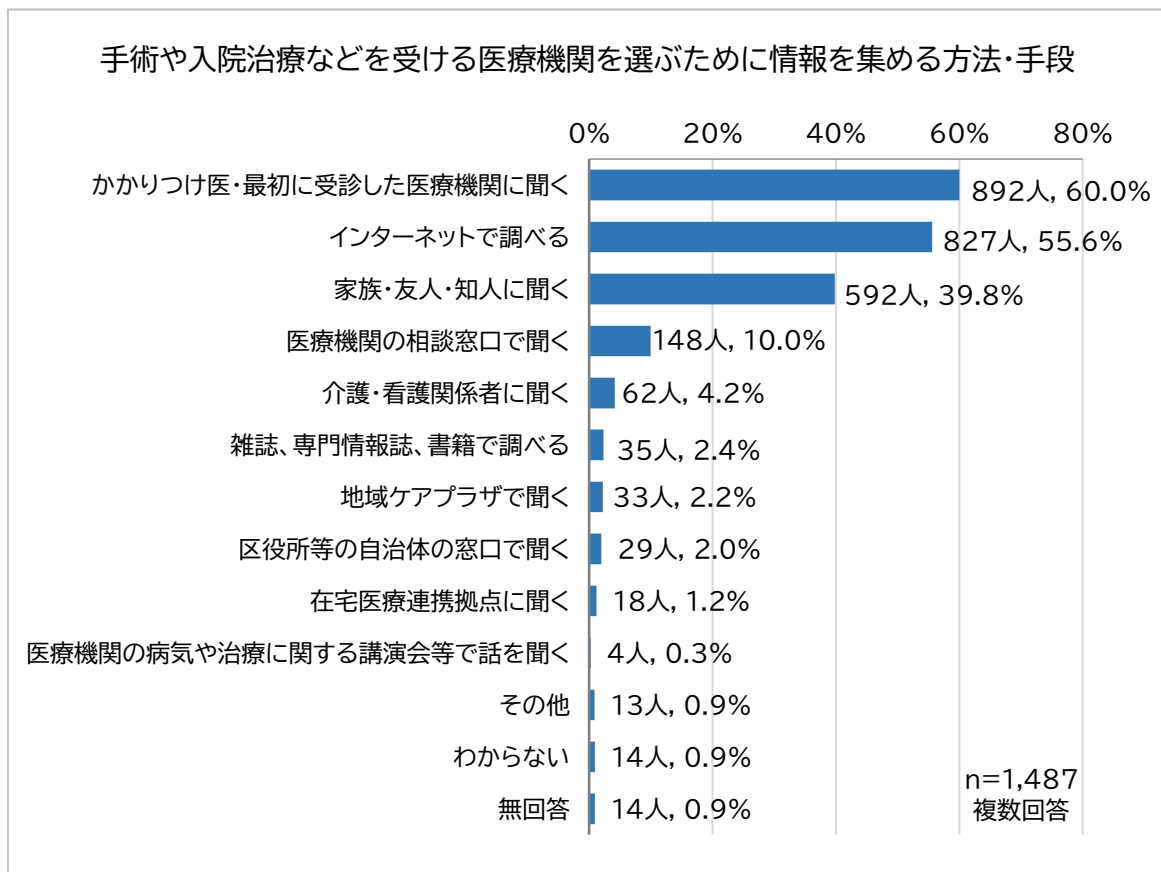
(2)大きな手術や入院治療などを受ける医療機関を選ぶための情報の入手方法

「かかりつけ医・最初に受診した医療機関に聞く」(60.0%)と、「インターネットで調べる」(55.6%)が多く拮抗している

50歳代以下では「インターネットで調べる」が最も多く、60歳以上では「かかりつけ医・最初に受診した医療機関に聞く」が最も多い。

問 15 問 14 で○をつけた情報について、あなたはどのような方法・手段で情報を集めますか。(複数回答(2つまで)可)

- ・大きな手術や入院治療などを受ける医療機関を選ぶための情報の入手方法を聞いたところ、「かかりつけ医・最初に受診した医療機関に聞く」が最も多く 60.0%、次いで「インターネットで調べる」(55.6%)、「家族・友人・知人に聞く」(39.8%)の順である。
- ・その他記述では「産業医に聞く」、「以前かかった病院」等が挙げられている。



<年代別>

・大きな手術や入院治療などを受ける医療機関を選ぶための情報を集める方法・手段を年代別にみると、50歳代以下では「インターネットで調べる」が最も多く、60歳代以上では「かかりつけ医・最初に受診した医療機関に聞く」が最も多い。

<職業別>

・職業別にみると、「自営業」、「会社員・公務員」、「学生」では「インターネットで調べる」が最も多く、「パート・アルバイト」、「主婦・主夫」、「無職」では「かかりつけ医・最初に受診した医療機関に聞く」が最も多い。

<慢性疾患等の定期的通院先別>

・慢性疾患等の定期的通院先別でみると、「定期的には受診していない」では「インターネットで調べる」が最も多く、“受診している”人では「かかりつけ医・最初に受診した医療機関に聞く」が最も多い。

【年代・職業・慢性疾患等の定期的通院先別】

大きな手術や入院治療などを受ける医療機関を選ぶための情報を集める方法・手段

		合計	問15 大きな手術や入院治療などを受ける医療機関を選ぶための情報を集める方法・手段													
			家族・友人・知人に聞く	かかりつけ医・最初に受診した医療機関に聞く	医療機関の相談窓口で聞く	介護・看護関係者に聞く	地域ケアアブラザで聞く	区役所等の自治体の窓口で聞く	雑誌、専門情報誌、書籍で調べる	インターネットで調べる	医療機関の病気や治療に関する講演会等で話を聞く	在宅医療連携拠点に聞く	その他	わからない	無回答	
全体		1,487	40	60	10	4	2	2	2	2	56	0	1	1	1	1
年代	20歳代以下	132	47	42	14	2	0	1	2	73	0	0	0	2	0	0
	30歳代	150	43	44	8	1	1	1	1	80	1	0	0	1	1	1
	40歳代	226	43	46	8	2	1	1	4	78	0	0	0	1	0	0
	50歳代	276	35	56	11	3	1	1	1	70	0	0	1	1	1	1
	60歳代	233	41	67	8	4	1	1	3	55	0	0	2	0	1	1
	70歳代	286	38	77	12	3	3	5	3	29	0	3	1	0	2	2
	80歳以上	179	37	74	9	15	8	2	2	15	1	5	1	3	1	1
職業	自営業	70	50	49	7	1	1	1	6	59	1	0	1	0	1	1
	会社員・公務員	491	39	47	10	2	1	1	2	78	0	0	1	1	1	1
	パート・アルバイト	209	39	64	11	2	0	2	0	57	0	1	0	1	1	1
	主婦・主夫	271	40	70	10	4	4	2	3	45	0	2	1	0	1	1
	学生	55	49	44	11	0	0	2	2	76	0	0	0	0	0	0
	無職	338	38	75	10	9	5	3	2	27	1	3	1	2	1	1
	その他	50	42	50	6	8	2	2	4	56	0	2	6	2	0	0
慢性的な病気の ために最も日常 的に受診してい る病院又は診療 所	市内の病院を受診している	229	40.6	66.8	11.8	7.0	4.4	3.1	2.6	36.7	0.0	1.3	0.9	0.9	0.4	0.4
	市外の病院を受診している	35	37.1	68.6	2.9	8.6	0.0	0.0	2.9	54.3	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	378	34.4	77.2	8.7	4.8	3.2	2.4	2.4	40.5	0.5	2.6	0.3	1.3	0.5	0.5
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	32	34.4	62.5	12.5	9.4	3.1	0.0	0.0	43.8	0.0	3.1	3.1	0.0	6.3	6.3
	定期的には受診していない	732	43.3	48.2	10.7	2.0	0.8	1.2	2.3	70.9	0.0	0.1	1.1	0.7	0.7	0.7

～用語解説～

○ 在宅医療連携拠点(在宅医療相談室)

疾病を抱えても市民の方が住み慣れた家等で療養生活し、継続的な在宅医療・介護を受けられるよう、横浜市医師会と協働し、18区に整備しています。在宅医療に関するご相談をケアマネジャーや市民の方から受けたり、在宅医療を担う医師への支援を行っています。

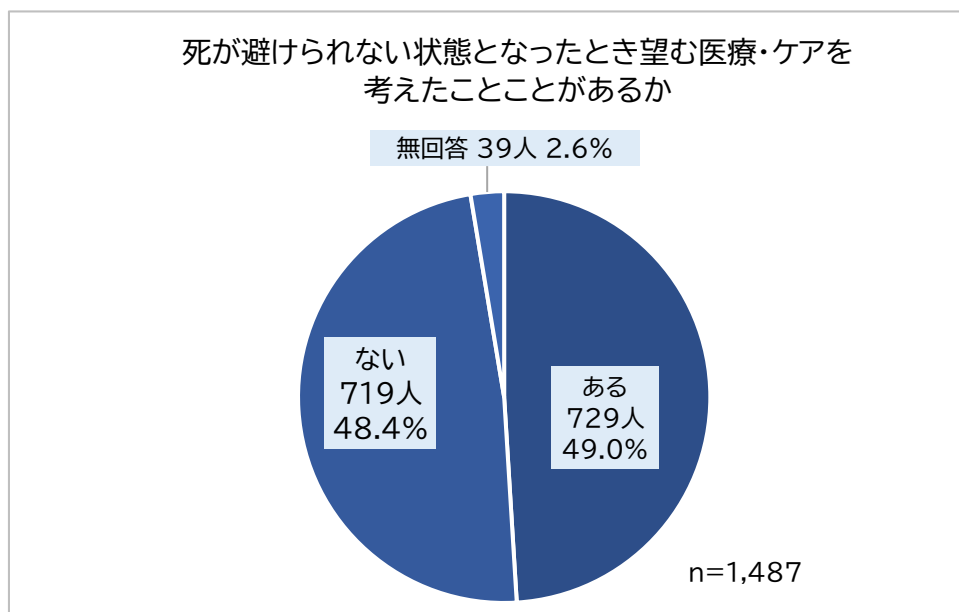
(3)死が避けられない状態となったとき望む医療・ケアを考えたことがあるか

「ある」が49.0%、「ない」が48.4%で拮抗している

50歳代以下では「ない」の方が多いのに対して、60歳以上では「ある」の方が多い

問16 あなたは、回復の見込みのないけがや病気のため、死が避けられない状態となったとき、どのような医療・ケアを望むか、これまでに考えたことがありますか。

・死が避けられない状態となったとき望む医療・ケアを考えたことがあるか聞いたところ、「ある」が49.0%、「ない」が48.4%と拮抗している。



<年代別>

・回復の見込みのないけがや病気のため、死が避けられない状態となったとき、どのような医療・ケアを望むかを年代別にみると、50歳代以下の世代では「ない」の方が多いのに対して、60歳以上では「ある」の方が多い。

<性別>

・性別にみると、男性では「ない」の方が多いのに対して、女性では「ある」の方が多い。

<職業別>

・職業別にみると、「会社員・公務員」、「学生」では「ない」の方が多いのに対して、「自営業」、「パート・アルバイト」、「主婦・主夫」、「無職」、「その他」では「ある」の方が多い。

<慢性疾患等の定期的通院先別>

・慢性疾患等の定期的通院先別でみると、「定期的には受診していない」では「ない」の方が多く、“受診している”人では「ある」の方が多い。

【年代・性・職業・慢性疾患等の定期的通院先別】

死が避けられない状態となったとき望む医療・ケアを考えたことがあるか

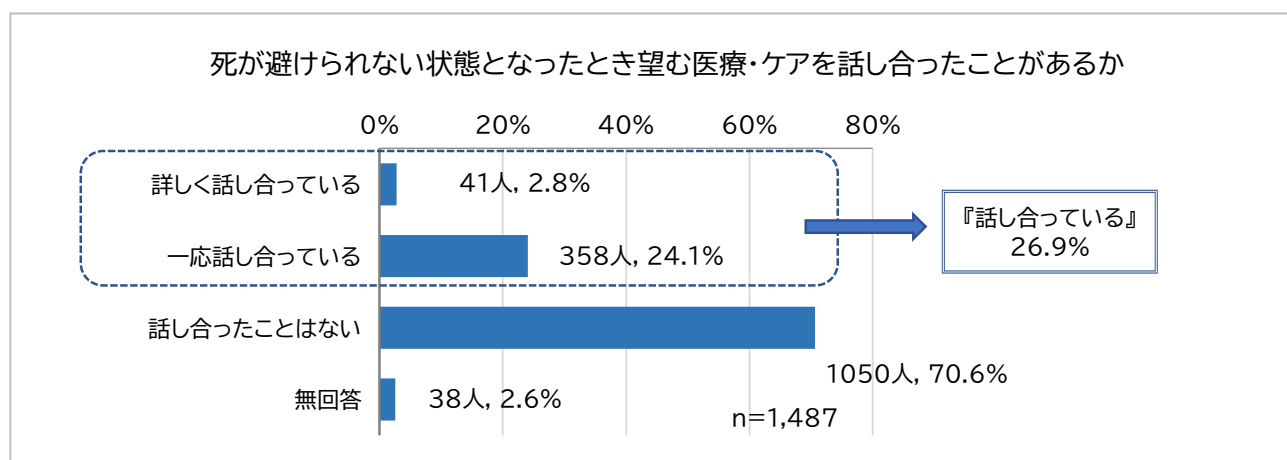
		合計	問16 死が避けられない状態となったとき、どのような医療・ケアを望むか考えたことがあるか		
			ある	ない	無回答
全体		1487	49.0	48.4	2.6
年代	20歳代以下	132	34.8	65.2	0.0
	30歳代	150	38.0	62.0	0.0
	40歳代	226	43.8	55.3	0.9
	50歳代	276	48.2	50.7	1.1
	60歳代	233	54.5	43.3	2.1
	70歳代	286	58.0	37.1	4.9
	80歳以上	179	54.7	36.9	8.4
性	男性	638	41.4	56.3	2.4
	女性	837	55.2	42.1	2.7
	回答しない	6	33.3	66.7	0.0
職業	自営業	70	54.3	45.7	0.0
	会社員・公務員	491	39.7	59.9	0.4
	パート・アルバイト	209	54.5	43.1	2.4
	主婦・主夫	271	57.6	39.1	3.3
	学生	55	30.9	69.1	0.0
	無職	338	53.3	40.5	6.2
	その他	50	56.0	40.0	4.0
慢性的な病気のために最も日常的に受診している病院又は診療所	市内の病院を受診している	229	50.7	45.9	3.5
	市外の病院を受診している	35	60.0	34.3	5.7
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	378	59.0	37.8	3.2
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	32	56.3	37.5	6.3
	定期的には受診していない	732	42.8	56.0	1.2

(4)死が避けられない状態となったとき望む医療・ケアを話し合ったことがあるか

「話し合ったことはない」が70.6%と多く、「話し合っている」は26.9%である

問 17 あなたは、回復の見込みのないけがや病気のため、死が避けられない状態となったとき、どのような医療・ケアを望むか、ご家族等や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。

・死が避けられない状態となったとき望む医療・ケアを話し合ったことがあるか聞いたところ、「話し合ったことはない」が70.6%、「詳しく話し合っている」(2.8%)と「一応話し合っている」(24.1%)を合わせた「話し合っている」は26.9%である。



<年代別>

・死が避けられない状態となったとき望む医療・ケアを話し合ったことがあるかを年代別にみると、いずれの年代も「話し合ったことはない」が最も多く、特に30歳代以下ではその割合が高い。また、80歳以上では「一応話し合っている」の割合が高い。

<職業別>

・職業別にみると、いずれの職業も「話し合ったことはない」が最も多く、特に「会社員・公務員」、「学生」ではその割合が高い。また、「自営業」では「一応話し合っている」の割合が高い。

<慢性疾患等の定期的通院先別>

・慢性疾患等の定期的通院先別でみると、“受診している”人も「定期的には受診していない」人も「話し合ったことはない」の方が多い。「市外の診療所(クリニック等)を受診している」では「一応話し合っている」の割合が高い。

【年代・職業・慢性疾患等の定期的通院先別】

死が避けられない状態となったときどのような医療・ケアを望むか話し合ったことがあるか

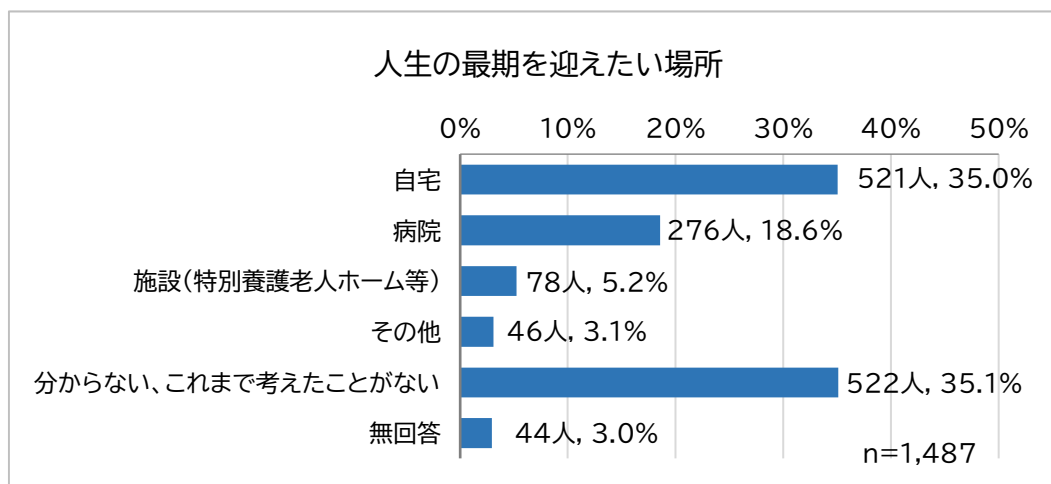
		合計	問17 死が避けられない状態となったとき、どのような医療・ケアを望むか、家族等や医療介護関係者と話し合ったことがあるか			
			詳しく話し合っている	一応話し合っている	話し合ったことはない	無回答
全体		1,487	2.8	24.1	70.6	2.6
年代	20歳代以下	132	0.8	9.8	89.4	0.0
	30歳代	150	0.7	14.0	85.3	0.0
	40歳代	226	1.3	17.3	80.5	0.9
	50歳代	276	2.2	19.6	77.2	1.1
	60歳代	233	4.7	29.6	63.9	1.7
	70歳代	286	3.8	32.5	58.4	5.2
	80歳以上	179	4.5	38.0	49.7	7.8
職業	自営業	70	0.0	37.1	62.9	0.0
	会社員・公務員	491	2.0	14.9	82.5	0.6
	パート・アルバイト	209	3.3	25.4	68.9	2.4
	主婦・主夫	271	2.2	33.2	61.6	3.0
	学生	55	0.0	12.7	87.3	0.0
	無職	338	4.1	28.7	60.9	6.2
	その他	50	8.0	22.0	68.0	2.0
慢性的な病気のために最も日常的に受診している病院又は診療所	市内の病院を受診している	229	6.6	27.5	62.4	3.5
	市外の病院を受診している	35	0.0	31.4	62.9	5.7
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	378	3.4	33.1	60.6	2.9
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	32	3.1	34.4	56.3	6.3
	定期的には受診していない	732	1.4	17.2	80.3	1.1

(5)人生の最期を迎えたい場所

「分からない、これまで考えたことがない」(35.1%)と「自宅」(35.0%)が多く、拮抗している
男性は「自宅」、女性は「分からない、これまで考えたことがない」が最も多い

問 18 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。

・人生の最期を迎えたい場所を聞いたところ、「自宅」が最も多く 35.0%、次いで「病院」(18.6%)、「施設(特別養護老人ホーム等)」(5.2%)の順である。一方、「分からない、これまで考えたことがない」は 35.1%である。



<年代別>

・人生の最期を迎えたい場所を年代別にみると、60歳代以下では「わからない、これまで考えたことがない」が最も多く、特に30歳代以下ではその割合が高い。また、70歳代以上では「自宅」が最も多い。

<性別>

・性別にみると、男性では「自宅」が最も多いのに対して女性は「わからない、これまで考えたことがない」が最も多い。

<慢性疾患等の定期的通院先別>

・慢性疾患等の定期的通院先別でみると、「市外の病院を受診している」で「病院」が最も多く、「定期的には受診していない」では「わからない、これまで考えたことがない」が最も多い。それ以外は「自宅」が最も多い。

【年代・性・慢性疾患等の定期的通院先別】 人生の最期を迎えたい場所

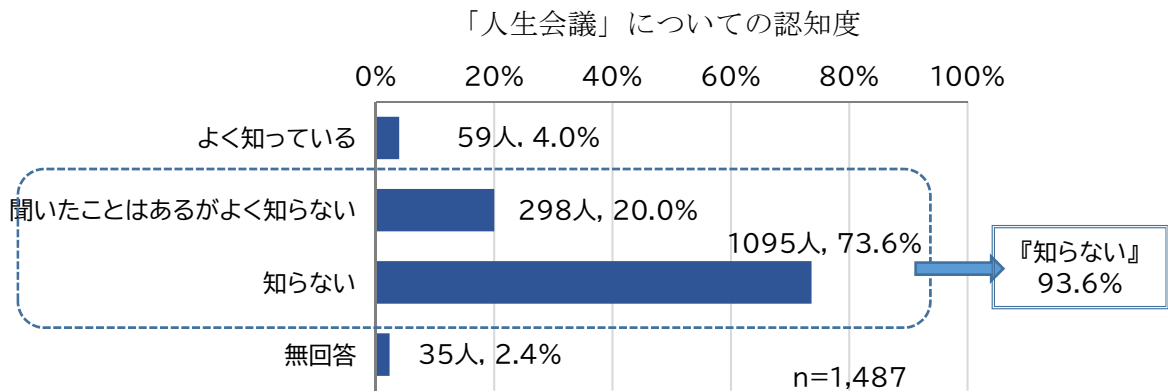
		合計	問18 人生の最期をどこで迎えたいと思うか					
			自宅	施設(特別養護老人ホーム等)	病院	その他	分からない、これまで考えたことがない	無回答
全体		1,487	35.0	5.2	18.6	3.1	35.1	3.0
年代	20歳代以下	132	31.8	1.5	13.6	4.5	48.5	0.0
	30歳代	150	34.0	4.0	10.0	2.7	49.3	0.0
	40歳代	226	34.1	4.0	16.8	3.1	41.2	0.9
	50歳代	276	33.3	6.5	17.8	4.0	37.0	1.4
	60歳代	233	28.3	7.7	20.2	3.4	38.2	2.1
	70歳代	286	39.9	5.9	23.8	2.8	21.3	6.3
	80歳以上	179	41.9	4.5	22.9	1.1	21.2	8.4
性	男性	638	39.8	3.8	15.4	2.8	36.1	2.2
	女性	837	31.8	6.5	21.1	3.2	33.8	3.6
	回答しない	6	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0
慢性的な病気のために最も日常的に受診している病院又は診療所	市内の病院を受診している	229	40.2	3.9	23.1	1.7	27.5	3.5
	市外の病院を受診している	35	25.7	0.0	34.3	2.9	28.6	8.6
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	378	37.0	6.6	20.9	4.2	27.0	4.2
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	32	31.3	9.4	25.0	0.0	28.1	6.3
	定期的には受診していない	732	32.8	4.9	14.9	3.1	43.0	1.2

(6)「人生会議」についての認知度

“知らない”が 93.6%と多く、「よく知っている」は 4.0%に留まっている

問 19 「人生会議」について、知っていますか。

- ・「人生会議」についての認知度を聞いたところ、「知らない」と「聞いたことはあるがよく知らない」(20.0%)を合わせた“知らない”が 93.6%、一方、「よく知っている」は 4.0%に留まる。



<年代別>

- ・人生会議の認知度を年代別にみると、いずれの年代も「知らない」が最も多い。「聞いたことがあるが、よく知らない」では 50 歳代以下の若い世代よりも 60 歳代以上の高齢世代の割合がやや高い。

【年代別】人生会議の認知度

		合計	問19「人生会議」についての認知度			
			よく知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない	無回答
全体		1,487	4.0	20.0	73.6	2.4
年代	20歳代以下	132	6.8	16.7	76.5	0.0
	30歳代	150	3.3	16.0	80.7	0.0
	40歳代	226	3.1	19.5	76.5	0.9
	50歳代	276	4.3	18.1	76.4	1.1
	60歳代	233	4.7	23.2	70.8	1.3
	70歳代	286	3.5	22.7	68.5	5.2
	80歳以上	179	2.8	20.1	70.4	6.7

～用語解説～

○「人生会議」

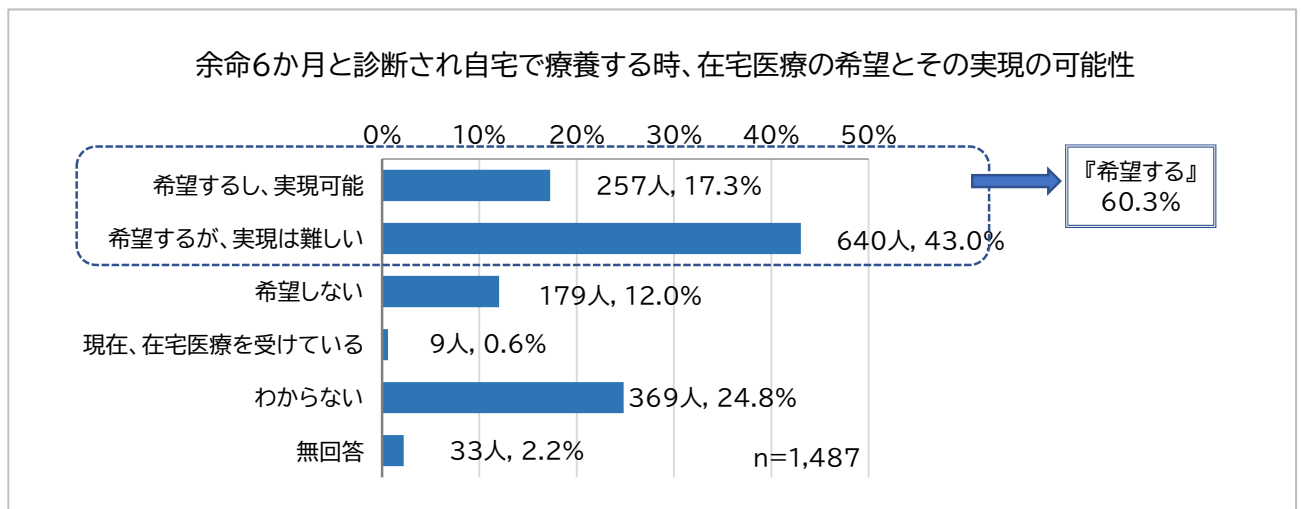
人生の最終段階(回復の見込みのないけがや病気のため、死が避けられない状態)の医療・ケアについて、本人が家族等や医療介護関係者と事前に繰り返し話し合うプロセス

(7)余命6か月と診断され自宅で療養する時、在宅医療の希望とその実現の可能性

“希望する”が60.3%と多いが、“希望する”人のうち71.3%は「実現は難しい」と思っている

問 20 あなたが余命6か月と診断された場合、自宅で療養するとしたら、在宅医療を希望しますか。また、その実現は可能だと思いますか。

- ・余命6か月と診断され自宅で療養する時、在宅医療の希望とその実現の可能性を聞いたところ、「希望するし、実現可能」(17.3%)と「希望するが、実現は難しい」(43.0%)を合わせた“希望する”は60.3%であり、そのうち「希望するが、実現は難しい」(43.0%)は71.3%に相当する。一方、「わからない」も24.8%である。



<年代別>

- ・余命6か月と診断され自宅で療養する時、在宅医療の希望とその実現の可能性を年代別にみると、20歳代以下では「わからない」が最も多く、他の年代では「希望するが、実現は難しい」が最も多い。30歳代では「わからない」の割合も高い。

【年代別】余命6か月と診断され自宅で療養する時、在宅医療の希望とその実現の可能性

	合計	問20 あなたが余命6か月と診断された場合、自宅で療養するとしたら、在宅医療を希望するか、また、その実現は可能だと思うか						
		希望するし、実現可能	希望するが、実現は難しい	希望しない	現在、在宅医療を受けている	わからない	無回答	
全体	1,487	17.3	43.0	12.0	0.6	24.8	2.2	
年代	20歳代以下	132	26.5	29.5	8.3	0.0	35.6	0.0
	30歳代	150	14.7	40.0	10.0	0.0	35.3	0.0
	40歳代	226	14.6	42.0	12.8	0.0	29.6	0.9
	50歳代	276	17.8	43.1	12.3	0.4	25.4	1.1
	60歳代	233	12.4	46.8	15.5	0.0	23.6	1.7
	70歳代	286	21.0	45.5	12.9	0.3	16.1	4.2
	80歳以上	179	16.2	47.5	9.5	3.9	16.2	6.7

(8)余命6か月と診断され自宅で療養する時の心配ごと

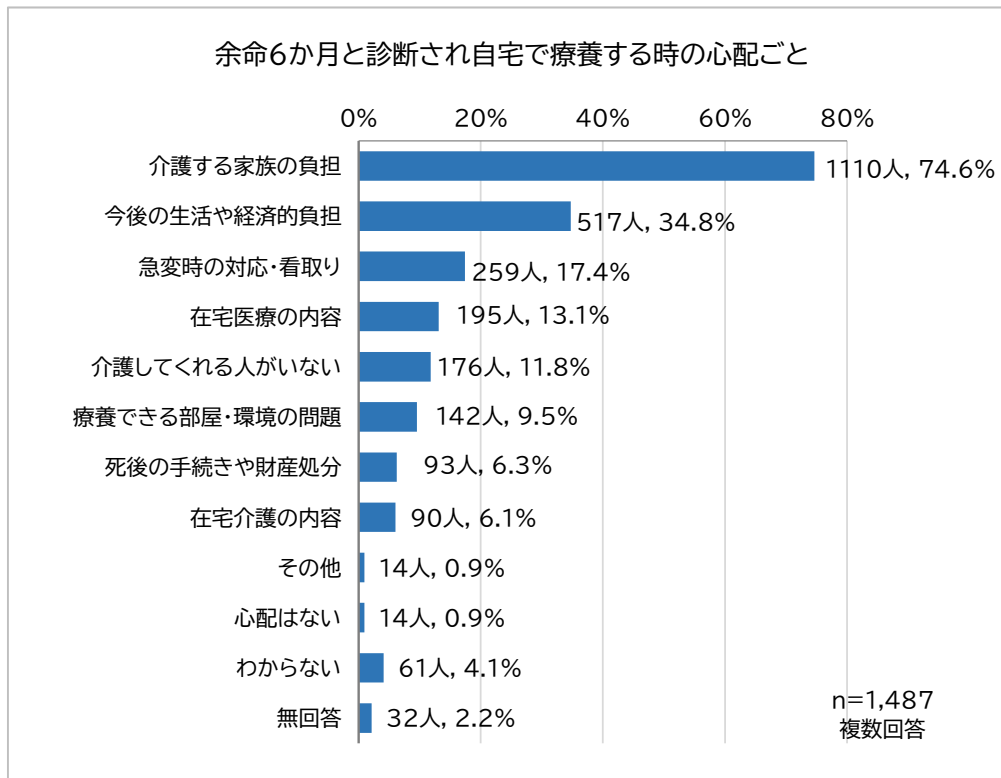
「介護する家族の負担」の割合が74.6%と多く、「心配はない」は0.9%である。

“子どもがいる”で、「介護する家族の負担」とともに「今後の生活や経済的負担」の割合が高い

「一人暮らし」では「介護してくれる人がいない」が最も多い

問21 あなたが余命6か月と診断された場合、自宅で療養するとしたら、心配なことは何ですか。(複数回答(2つまで)可)

- ・余命6か月と診断され自宅で療養する時の心配ごとを聞いたところ、「介護する家族の負担」が最も多く74.6%、次いで「今後の生活や経済的負担」(34.8%)、「急変時の対応・看取り」(17.4%)、「在宅医療の内容」(13.1%)、「介護してくれる人がいない」(11.8%)の順である。一方、「心配はない」は0.9%である。
- ・その他の記述では「子どもや家族のこと」、「選択肢すべて」などが挙げられている。



<年代別>

・余命6か月と診断され自宅で療養する時の心配ごとを年代別にみると、いずれの年代も「介護する家族の負担」が最も多い。

<子の段階別>

・子の段階別にみると、いずれも「介護する家族の負担」が最も多いが、特に“18歳未満の子どもがいる”人でその割合が高い。また、併せて「今後の生活や経済的負担」の割合も高くなっている。

<家族形態別>

・家族形態別でみると、「一人暮らし」で「介護してくれる人がいない」が最も多く、そのほかの家族形態では「介護する家族の負担」が最も多い。「祖父母と親と子(3世代)」で「今後の生活や経済的負担」の割合が高くなっている。

【年代・子の段階・家族形態別】余命6か月と診断され自宅で療養するとしたら心配なこと

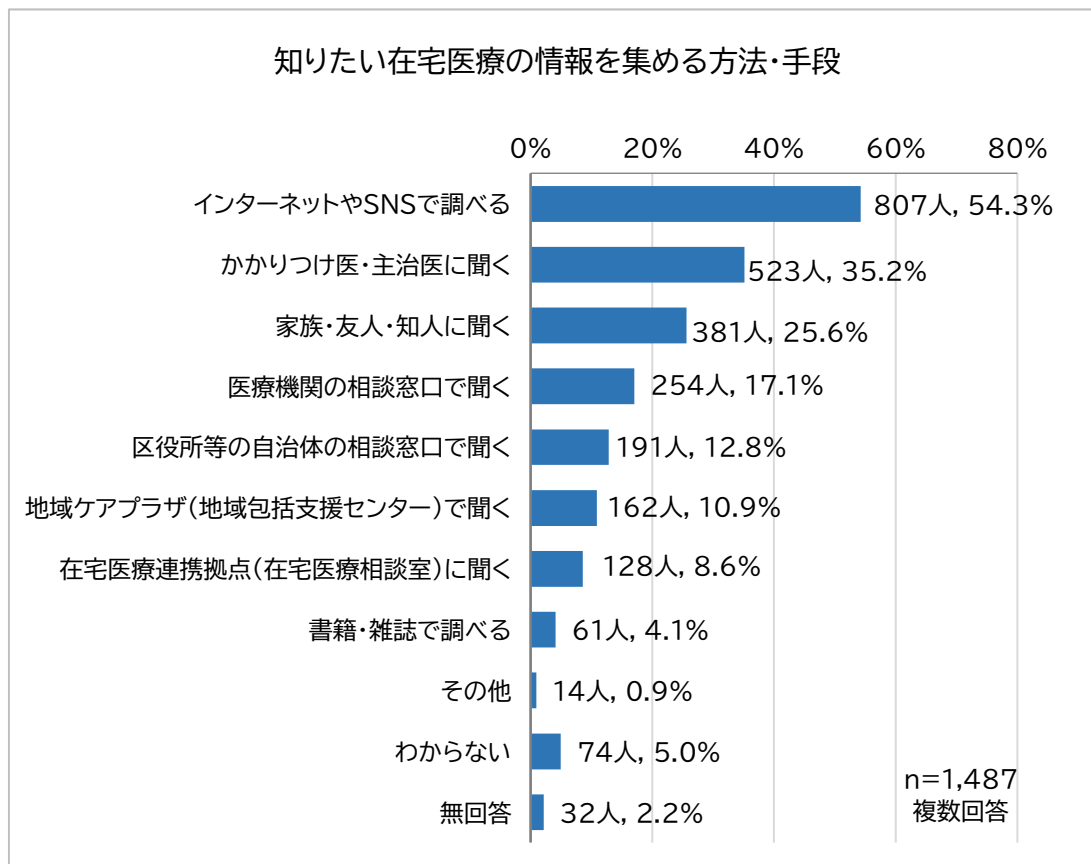
		合計	問21 あなたが余命6か月と診断された場合、自宅で療養するとしたら、心配なこと											
			介護する家族の負担	今後の生活や経済的負担	介護してくれる人がいない	療養できる部屋・環境の問題	急変時の対応・看取り	死後の手続きや財産処	在宅医療の内容	在宅介護の内容	その他	心配はない	わからない	無回答
全体		1,487	75	35	12	10	17	6	13	6	1	1	4	2
年代	20歳以下	132	72	38	7	8	16	8	13	2	1	1	13	0
	30歳代	150	81	43	7	12	19	9	6	5	1	0	5	0
	40歳代	226	84	44	12	8	16	8	12	4	2	1	1	1
	50歳代	276	71	42	16	9	18	4	13	5	0	0	5	1
	60歳代	233	80	35	11	12	17	7	12	8	0	1	1	1
	70歳代	286	72	23	13	9	18	5	15	8	2	1	3	5
	80歳以上	179	63	22	12	8	18	6	20	7	1	2	4	6
子の段階	子どもはいない	451	59	33	22	10	22	12	10	4	2	2	6	2
	0～2歳	71	86	58	1	13	11	6	7	1	0	0	6	0
	3～5歳	69	93	46	4	14	13	4	12	9	1	0	3	0
	6～11歳	137	91	53	4	9	12	1	9	5	1	0	3	1
	12～14歳	73	90	51	3	7	12	3	10	3	0	0	5	0
	15～17歳	80	94	45	6	5	10	0	14	6	0	0	1	1
18歳以上	781	78	31	8	9	17	4	16	8	1	1	3	3	
慢性的な病気のために最も日常的に受診している病院又は診療所	市内の病院を受診している	229	76.0	39.3	14.0	13.1	11.8	4.4	9.6	5.7	1.7	1.3	2.2	2.2
	市外の病院を受診している	35	62.9	22.9	17.1	8.6	25.7	5.7	17.1	5.7	0.0	0.0	5.7	5.7
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	378	73.0	27.0	12.2	8.5	21.7	6.1	17.2	6.9	0.5	0.5	4.0	2.4
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	32	71.9	25.0	12.5	15.6	21.9	6.3	6.3	0.0	0.0	3.1	3.1	6.3
	定期的には受診していない	732	77.6	39.2	10.4	9.2	16.1	6.6	12.4	5.6	1.1	1.1	4.6	1.0

(9)知りたい在宅医療の情報を集める方法・手段

「インターネットやSNSで調べる」が54.3%で最も多い

問 22 あなたが知りたい在宅医療の情報について、どのような方法・手段で情報を集めますか。(複数回答(2つまで)可)

- ・知りたい在宅医療の情報を集める方法・手段を聞いたところ、「インターネットやSNSで調べる」が最も多く54.3%、次いで「かかりつけ医・主治医に聞く」(35.2%)、「家族・友人・知人に聞く」(25.6%)、「医療機関の相談窓口で聞く」(17.1%)の順である。
- ・その他記述では「知り合いの医師に聞く」、「ケアマネジャーなど身近な介護者に聞く」等が挙げられている。



<年代別>

・知りたい在宅医療の情報を集める方法・手段を年代別にみると、60 歳代以下では「インターネットやSNSで調べる」が最も多く、70 歳代以上では「かかりつけ医・主治医に聞く」が最も多い。また、80 歳以上では「地域ケアプラザ(地域包括支援センター)で聞く」の割合が高い。

<職業別>

・職業別にみると、「無職」で「かかりつけ医・主治医に聞く」が最も多く、その他の職業では「インターネットやSNSで調べる」が最も多い。「自営業」では「家族・友人・知人に聞く」の割合が高くなっている。

<慢性疾患等の定期的通院先別>

・慢性疾患等の定期的通院先別でみると、「市内の病院を受診している」、「市外の病院を受診している」、「市内の診療所(クリニック等)を受診している」で「かかりつけ医・主治医に聞く」が最も多く、「市外の診療所(クリニック等)を受診している」、「定期的には受診していない」では「インターネットやSNSで調べる」が最も多い。

【年代・職業・慢性疾患等の定期的通院先別】 知りたい在宅医療の情報を集める方法・手段

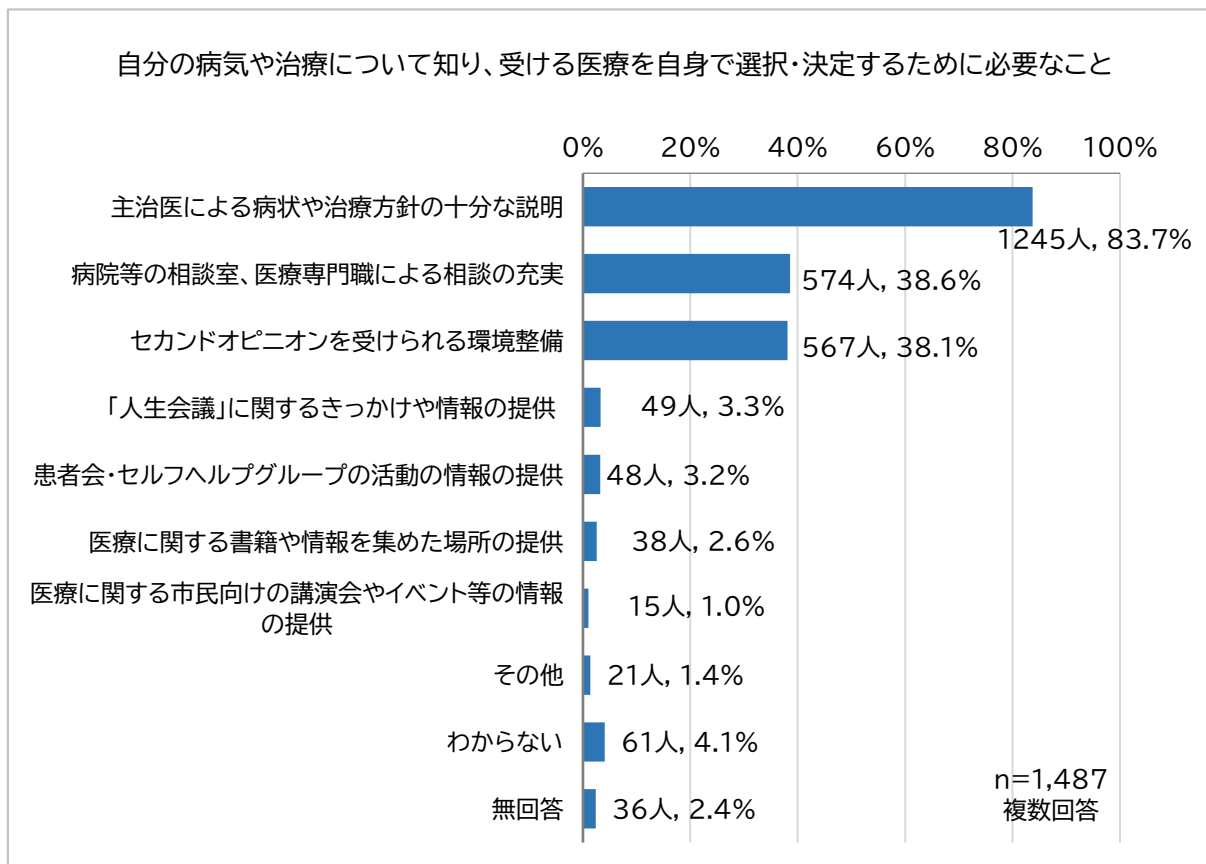
		問22 知りたい在宅医療の情報を集める方法・手段											
		合計	インターネットやSNSで調べる	書籍・雑誌で調べる	家族・友人・知人に聞く	かかりつけ医・主治医に聞く	医療機関の相談窓口で聞く	区役所等の自治体の相談窓口で聞く	在宅医療連携拠点(在宅医療相談室)に聞く	地域ケアプラザ(地域包括支援センター)で聞く	その他	わからない	無回答
全体		1,487	54	4	26	35	17	13	9	11	1	5	2
年代	20歳代以下	132	79	3	27	27	14	5	5	2	1	10	0
	30歳代	150	83	6	27	25	16	4	3	5	1	5	0
	40歳代	226	77	6	25	31	16	12	7	4	0	3	1
	50歳代	276	71	4	24	28	16	14	9	8	1	5	1
	60歳代	233	48	4	27	34	21	18	12	11	1	3	2
	70歳代	286	27	2	26	43	21	16	11	18	1	5	4
	80歳以上	179	10	3	25	56	12	13	8	24	1	6	6
職業	自営業	70	56	4	39	29	19	16	7	6	0	3	0
	会社員・公務員	491	76	6	25	29	17	10	7	5	0	5	0
	パート・アルバイト	209	56	2	22	33	22	11	11	12	1	4	3
	主婦・主夫	271	44	4	26	39	18	17	12	14	1	3	3
	学生	55	78	2	33	24	9	2	2	2	2	13	0
	無職	338	26	4	23	46	16	17	7	18	2	7	5
	その他	50	52	0	30	32	8	16	12	14	2	2	2
慢性的な病気のために最も日常的に受診している病院又は診療所	市内の病院を受診している	229	35.4	2.6	31.4	41.5	15.7	12.7	4.8	16.2	1.3	6.6	2.6
	市外の病院を受診している	35	48.6	0.0	17.1	54.3	14.3	8.6	14.3	14.3	0.0	2.9	5.7
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	378	39.7	3.4	20.4	47.4	17.5	14.8	12.7	15.6	1.1	5.0	2.4
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	32	50.0	3.1	28.1	40.6	6.3	15.6	6.3	9.4	6.3	6.3	6.3
	定期的には受診していない	732	69.3	5.1	26.2	26.0	18.3	12.2	7.4	6.7	0.7	4.6	1.0

(10)自分の病気や治療について知り、受ける医療を自身で選択・決定するために必要なこと

「主治医による病状や治療方針の十分な説明」が 83.7%で最も多い

問 23 あなたは、ご自分の病気や治療について知り、受ける医療をご自身で選択・決定するためには、何が必要と考えますか。(複数回答(2つまで)可)

- ・自分の病気や治療について知り、受ける医療を自身で選択・決定するために必要なことを聞いたところ、「主治医による病状や治療方針の十分な説明」が最も多く83.7%、次いで「病院等の相談室、医療専門職による相談の充実」(38.6%)、「セカンドオピニオンを受けられる環境整備」(38.1%)の順である。
- ・その他記述では、「インターネット・SNS 上の情報」、「家族の助け」、「医師の助言」等が挙げられている。



<年代別>

・自分の病気や治療について知り、受ける医療を自身で選択・決定するために必要なことを年代別にみると、いずれの年代でも「主治医による病状や治療方針の十分な説明」が最も多く、40歳代では「セカンドオピニオンを受けられる環境整備」の割合が特に高くなっている。

【年代別】自分の病気や治療について知り、受ける医療を自身で選択・決定するために必要なこと

		合計	問23 自分の病気や治療について知り、受ける医療を自身で選択・決定するために必要なこと									
			主治医による病状や治療方針の十分な説明	病院等の相談室、医療専門職による相談の充実	セカンドオピニオンを受けられる環境整備	医療に関する書籍や情報を集めた場所の提供	患者会・セルフヘルプグループの活動の情報の提供	医療に関する市民向けの講演会やイベント等の情報の提供	「人生会議」に関するきっかけや情報の提供	その他	わからない	無回答
全体		1,487	83.7	38.6	38.1	2.6	3.2	1.0	3.3	1.4	4.1	2.4
年代	20歳代以下	132	80.3	31.8	40.9	3.8	2.3	1.5	4.5	0.0	9.1	0.0
	30歳代	150	82.7	38.7	40.7	3.3	4.7	0.0	4.7	2.7	4.7	0.0
	40歳代	226	88.1	38.5	48.7	2.2	5.3	0.9	1.8	0.4	1.3	0.9
	50歳代	276	83.3	40.9	43.1	2.2	5.1	0.7	1.4	1.1	5.1	1.1
	60歳代	233	84.1	43.8	42.5	2.1	1.3	0.4	4.7	1.7	2.6	1.7
	70歳代	286	83.6	38.8	32.5	3.1	1.4	1.7	3.8	1.0	2.4	4.9
	80歳以上	179	81.6	31.8	16.8	1.7	2.8	1.7	3.4	3.4	6.7	7.3

～用語解説～

○ セカンドオピニオン

治療や手術について、主治医以外の他の医療機関の医師の意見を求めること

○ 患者会・セルフヘルプグループ

特定の病気の患者や家族が集まって、情報交換などの活動をしている団体のこと

4. 急病時の対応について

(1) 受診が必要か救急車を呼ぶべきか迷った時に情報を得る方法

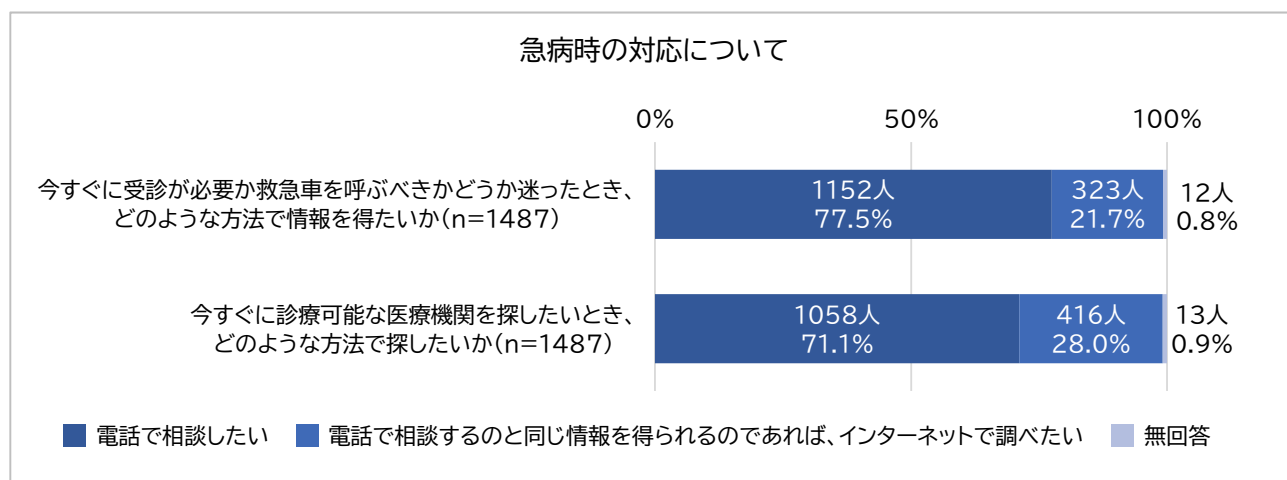
(2) 診療可能な医療機関を探したい時の探す方法

「電話で相談したい」が『受診が必要か救急車を呼ぶべきか迷ったとき』で 77.5%、『診療可能な医療機関を探す方法』で 71.1%といずれも最も多い

問 24 急な病気やけがで、今すぐに受診が必要か、救急車を呼ぶべきかどうか迷ったとき、どのような方法で情報を得たいと考えますか。

問 25 急な病気やけがで、今すぐに診療可能な医療機関を探したいとき、どのような方法で探したいと考えますか。

- 急病時の対応について情報を得たり探したりする方法を聞いたところ、『受診が必要か救急車を呼ぶべきか迷ったとき』は「電話で相談したい」が 77.5%、「電話で相談するのと同じ情報を得られるのであれば、インターネットで調べたい」が 21.7%、『診療可能な医療機関を探す方法』は「電話で相談したい」が 71.1%、「電話で相談するのと同じ情報を得られるのであれば、インターネットで調べたい」が 28.0%である。



<年代別>

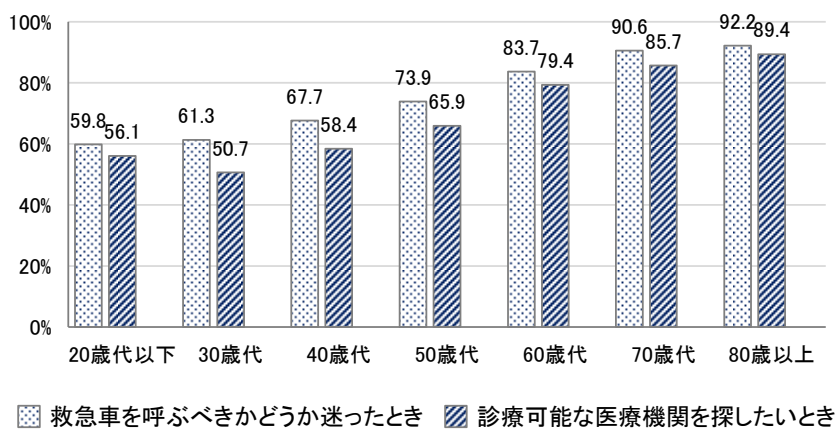
- 『受診が必要か救急車を呼ぶべきか迷ったとき』、『診療可能な医療機関を探すとき』を年代別にみると、いずれの年代も「電話で相談したい」が最も多く、70歳代以上ではその割合が特に高い。40歳代以下では「電話で相談するのと同じ情報を得られるのであれば、インターネットで調べたい」の割合も高くなっている。
- 「電話で相談したい割合」は年代が高くなるほど割合が高くなっている。

【年代別】急病時の対応

		合計	問24 今すぐに受診が必要か救急車を呼ぶべきかどうか迷ったとき、どのような方法で情報を得たいか		
			電話で相談したい	電話で相談するのと同じ情報を得られるのであれば、インターネットで調べたい	無回答
全体		1487	77.5	21.7	0.8
年代	20歳代以下	132	59.8	40.2	0.0
	30歳代	150	61.3	38.7	0.0
	40歳代	226	67.7	32.3	0.0
	50歳代	276	73.9	25.4	0.7
	60歳代	233	83.7	16.3	0.0
	70歳代	286	90.6	7.7	1.7
	80歳以上	179	92.2	5.0	2.8

		合計	問25 今すぐに診療可能な医療機関を探したいとき、どのような方法で探したいか		
			電話で相談したい	電話で相談するのと同じ情報を得られるのであれば、インターネットで調べたい	無回答
全体		1487	71.1	28.0	0.9
年代	20歳代以下	132	56.1	43.9	0.0
	30歳代	150	50.7	49.3	0.0
	40歳代	226	58.4	41.6	0.0
	50歳代	276	65.9	33.7	0.4
	60歳代	233	79.4	20.6	0.0
	70歳代	286	85.7	11.9	2.4
	80歳以上	179	89.4	7.8	2.8

電話で相談したい



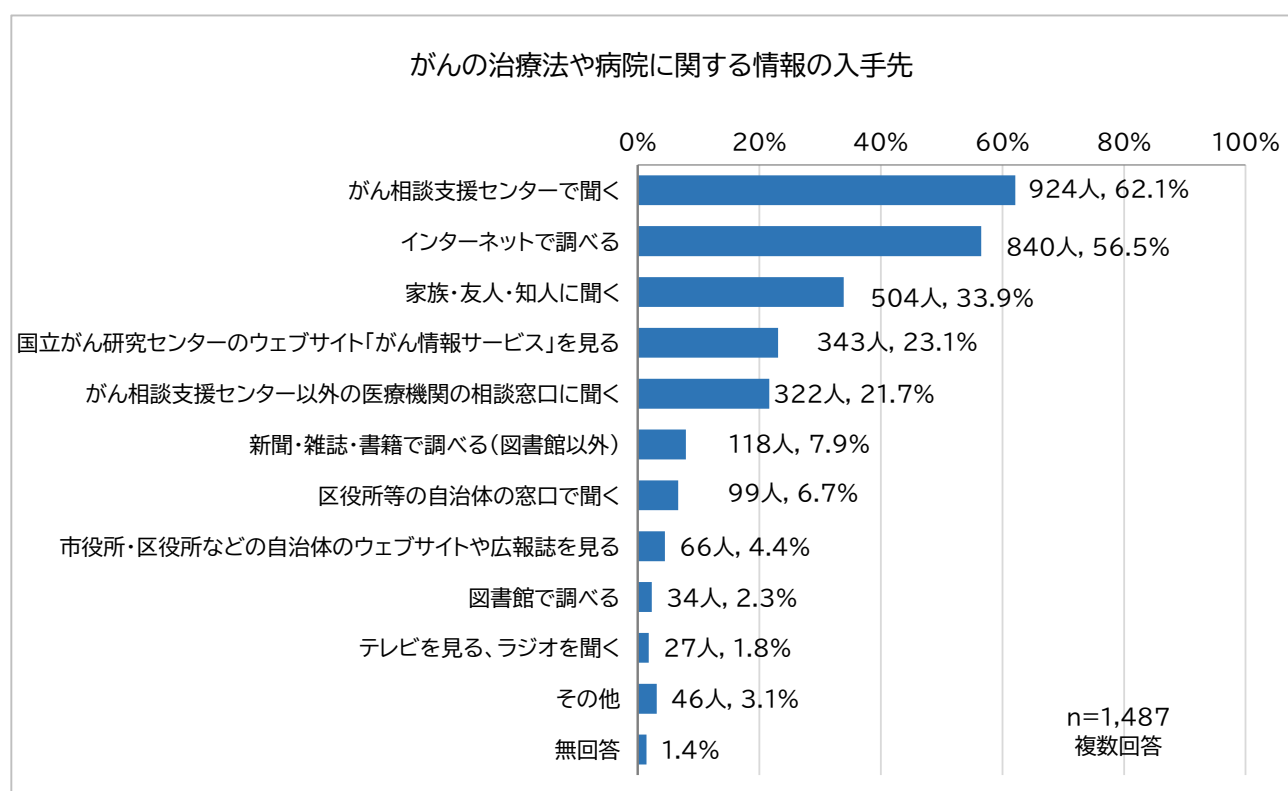
5. がん対策について

(1)がんの治療法や病院に関する情報の入手先

「がん相談支援センターで聞く」が62.1%で最も多い

問 26 あなたは、がんと診断されたら、がんの治療法や病院に関する情報について、どこから入手しようと思いますか。(複数回答)

- ・がんの治療法や病院に関する情報の入手先を聞いたところ、「がん相談支援センターで聞く」が最も高く62.1%、次いで「インターネットで調べる」が56.5%、「家族・友人・知人に聞く」が33.9%の順である。
- ・その他記述では、「かかりつけ医や診断した医師に聞く」「保険会社の相談サービス」等が挙げられている。



<年代別>

・がんの治療法や病院に関する情報の入手先を年代別にみると、50 歳代以下では「インターネットで調べる」が最も多く、その割合も高い。60 歳代以上では「がん相談支援センターで聞く」が最も多い。

<職業別>

・職業別にみると、「会社員・公務員」、「学生」では「インターネットで調べる」が最も多く、その割合も高い。その他の職業では「がん相談支援センターで聞く」が最も多い。

<子の段階別>

・子の段階別にみると、「5 歳未満の子ども」がいる人と「子どもはいない」で「インターネットで調べる」が最も多く、「6 歳以上の子ども」がいる人では「がん相談支援センターで聞く」が最も多い。

<家族形態別>

・家族形態別にみると、「祖父母と親と子(3 世代)」で「インターネットで調べる」が最も多く、そのほかの家族形態では「がん相談支援センターで聞く」が最も多い。

<慢性疾患等の定期的通院先別>

・慢性疾患等の定期的通院先別でみると、「受診している」では「がん相談支援センターで聞く」が最も多く、「定期的には受診していない」では「インターネットで調べる」が最も多い。

【年代・職業・子の段階・家族形態・慢性疾患等の定期的通院先別】

がんの治療法や病院に関する情報の入手先

		合計	問26 がんと診断されたら、がんの治療法や病院に関する情報をどこから入手したいか											
			がん相談支援センターで聞く	1以外の医療機関の相談窓口で聞く	区役所等の自治体の窓口で聞く	図書館で調べる	新聞・雑誌・書籍で調べる(4以外の方法で)	テレビを見る、ラジオを聞く	国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」を見る	市役所・区役所などの自治体のウェブサイトや広報誌を見る	家族・友人・知人に聞く	インターネットで調べる	その他	無回答
全体		1,487	62	22	7	2	8	2	23	4	34	56	3	1
年代	20歳代以下	132	55	25	6	5	7	2	28	6	28	72	1	0
	30歳代	150	59	18	7	1	7	2	17	3	31	79	1	1
	40歳代	226	66	19	7	3	7	1	29	4	36	73	0	0
	50歳代	276	64	19	4	2	10	3	28	4	30	69	3	1
	60歳代	233	67	21	4	3	12	2	24	3	36	57	4	0
	70歳代	286	65	27	8	2	7	1	22	4	33	37	4	3
	80歳以上	179	49	22	10	0	4	3	10	7	42	17	8	3
職業	自営業	70	66	20	6	4	13	0	21	1	26	61	6	0
	会社員・公務員	491	63	21	5	2	7	1	27	5	31	72	1	0
	パート・アルバイト	209	69	22	5	1	9	2	28	4	38	60	2	1
	主婦・主夫	271	65	19	6	3	10	3	19	3	34	49	3	1
	学生	55	53	24	4	5	7	2	29	4	29	78	0	0
	無職	338	56	27	11	1	6	3	16	5	38	33	7	4
	その他	50	58	8	6	4	6	2	30	8	32	56	6	2
子の段階	子どもはいない	451	60	22	7	4	10	3	24	5	30	64	2	2
	0～2歳	71	63	15	7	1	4	1	21	7	34	72	0	0
	3～5歳	69	59	23	6	1	3	0	26	3	36	74	0	0
	6～11歳	137	74	26	8	1	4	1	25	1	36	70	1	0
	12～14歳	73	74	15	3	0	5	0	25	1	26	56	1	1
	15～17歳	80	69	16	9	0	5	0	31	3	29	55	1	1
	18歳以上	781	62	22	6	2	8	2	22	4	36	48	4	2
家族形態	一人暮らし	199	60.8	22.1	10.1	2.5	9.5	3.5	14.1	6.0	34.7	44.2	3.0	2.5
	夫婦のみ	422	61.4	24.9	5.5	2.6	8.8	1.2	25.1	4.0	32.0	56.2	3.6	0.7
	親と子(2世代)	709	65.0	20.0	6.2	1.8	7.6	1.8	25.7	4.8	33.6	62.5	2.4	0.8
	祖父母と親と子(3世代)	57	54.4	22.8	3.5	3.5	5.3	3.5	15.8	3.5	43.9	56.1	3.5	3.5
	その他	83	51.8	18.1	9.6	3.6	6.0	0.0	19.3	1.2	36.1	44.6	6.0	4.8
慢性的な病気のために最も日常的に受診している病院又は診療所	市内の病院を受診している	229	59.4	24.0	6.6	1.3	6.6	2.2	15.3	2.2	31.9	39.3	6.6	1.3
	市外の病院を受診している	35	62.9	31.4	2.9	5.7	5.7	0.0	31.4	2.9	40.0	62.9	0.0	0.0
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	378	61.4	22.8	7.7	2.1	10.1	1.6	20.6	4.0	33.6	49.2	5.0	1.9
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	32	53.1	21.9	3.1	3.1	0.0	0.0	21.9	3.1	34.4	53.1	6.3	3.1
	定期的には受診していない	732	64.8	20.1	6.3	2.6	7.8	1.8	27.0	5.1	34.7	66.7	1.1	0.8

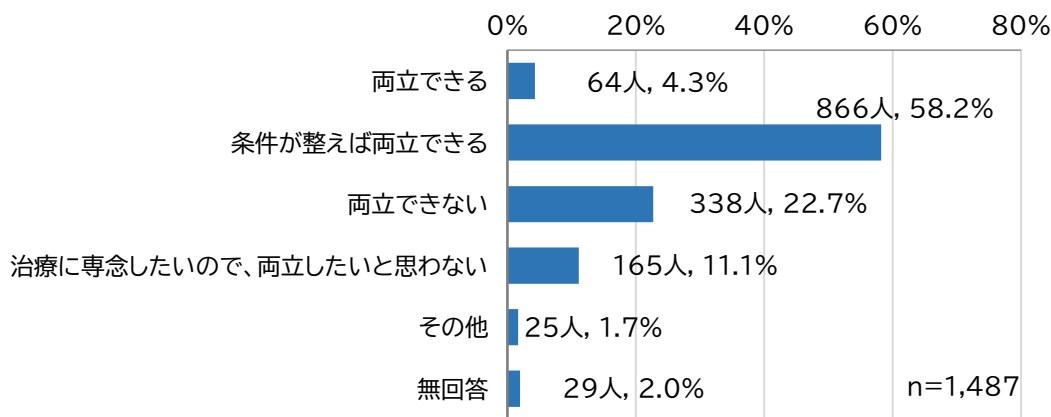
(2)日常生活とがんの治療の両立について

「条件を整えば両立できる」が 58.2%で最も多く、「両立できない」は 22.7%

問 27 あなたやあなたの身近な方ががんにかかった場合、仕事や家事などの日常生活とがんの治療の両立はできると思いますか。

- ・日常生活とがんの治療の両立について聞いたところ、「条件を整えば両立できる」が 58.2%で最も多く、「両立できない」は 22.7%、「治療に専念したいので、両立したいと思わない」は 11.1%であり、「両立できる」は 4.3%である。

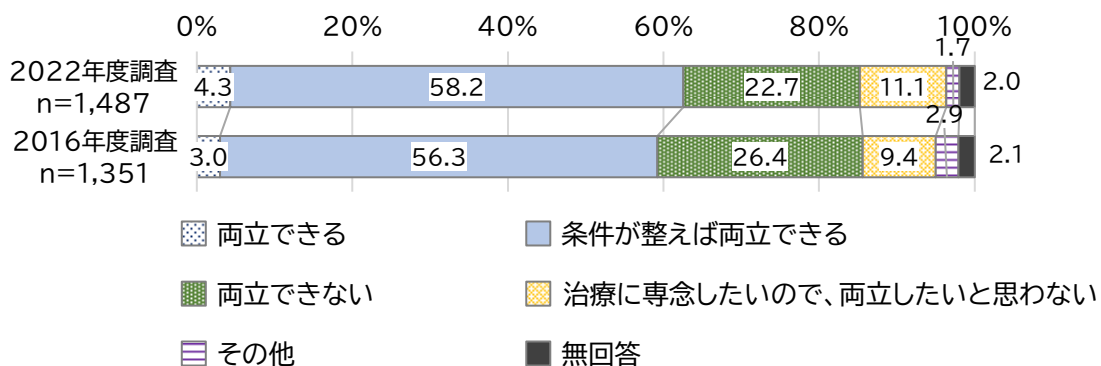
日常生活とがんの治療の両立について



【過去調査との比較】

- ・日常生活とがんの治療の両立について 2016 年調査と比較をしてみると、「両立できる」、「条件を整えば両立できる」の割合が微増し、「両立できない」に微減傾向がみられる。

日常生活とがんの治療の両立について



<年代別>

- ・日常生活とがんの治療の両立について年代別にみると、70 歳代以下では「条件を整えば両立できる」が最も多く、80 歳以上では「両立できない」が最も多い。

【年代別】 日常生活とがんの治療の両立について

		合計	問27 あなたや身近な方ががんにかかった場合、仕事や家事などの日常生活とがんの治療の両立はできると思うか					
			両立できる	条件を整えば両立できる	両立できない	治療に専念したいので、両立したいと思わない	その他	無回答
全体		1,487	4.3	58.2	22.7	11.1	1.7	2.0
年代	20歳代以下	132	1.5	60.6	21.2	15.9	0.0	0.8
	30歳代	150	4.7	56.0	26.7	10.0	1.3	1.3
	40歳代	226	4.0	65.0	21.7	6.6	1.3	1.3
	50歳代	276	4.7	61.6	20.7	9.1	1.8	2.2
	60歳代	233	3.9	65.2	19.3	9.4	1.3	0.9
	70歳代	286	6.3	57.3	17.5	12.9	2.4	3.5
	80歳以上	179	3.4	37.4	38.0	15.6	2.8	2.8

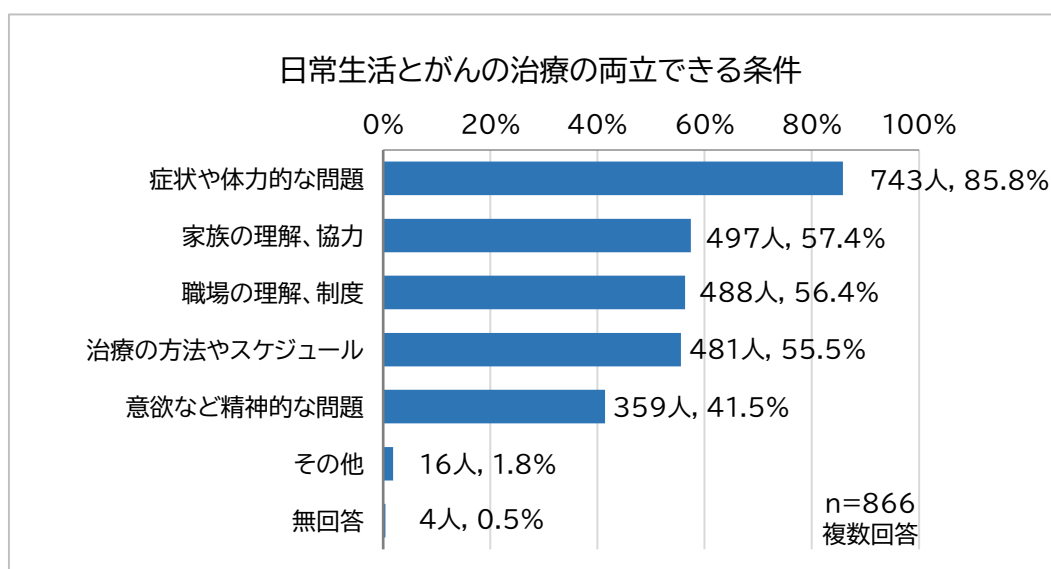
(3)日常生活とがんの治療の両立できる条件

「症状や体力的な問題」の割合が85.8%と最も多い

問 27 で「条件を整えば両立できる」に○をつけた方

問 27-1 それはどのような条件ですか。(複数回答可)

- ・日常生活とがんの治療は条件を整えば両立できると答えた人に、両立できるための条件について聞いたところ、「症状や体力的な問題」が最も多く85.8%、次いで「家族の理解、協力」(57.4%)、「職場の理解、制度」(56.4%)、「治療の方法やスケジュール」(55.5%)がそれぞれ拮抗している。
- ・その他記述では「経済的な問題」等が挙げられている。



<年代別>

・日常生活とがんの治療の両立できる条件を年代別にみると、いずれの年代も「症状や体力的な問題」が最も多く、50歳代以下では「職場の理解、制度」の割合も高くなっている。

<職業別>

・職業別にみると、いずれの職業も「症状や体力的な問題」が最も多く、「会社員・公務員」、「パート・アルバイト」では「職場の理解、制度」の割合も高くなっている。また、「主婦・主夫」では「家族の理解、協力」の割合が高い。

<子の段階別>

・子の段階でみると、いずれの段階も「症状や体力的な問題」が最も多く、とくに「3～5歳」でその割合が特に高い。「3～17歳」では「職場の理解、制度」の割合も高くなっており、さらに「15～17歳」では「家族の理解、協力」の割合も高くなっている。

【年代・職業・子の段階別】日常生活とがんの治療の両立できる条件

		合計	問27-1 整えば両立できるのはどのような条件か						
			症状や体力的な問題	意欲など精神的な問題	職場の理解、制度	家族の理解、協力	治療の方法やスケジュール	その他	無回答
全体		866	85.8	41.5	56.4	57.4	55.5	1.8	0.5
年代	20歳代以下	80	85.0	42.5	70.0	47.5	60.0	1.3	1.3
	30歳代	84	91.7	38.1	71.4	53.6	58.3	0.0	0.0
	40歳代	147	87.8	48.3	78.9	58.5	59.2	3.4	0.7
	50歳代	170	87.1	46.5	75.9	58.8	57.1	1.8	0.0
	60歳代	152	86.2	42.1	45.4	62.5	59.9	1.3	0.0
	70歳代	164	82.9	33.5	25.0	54.3	46.3	2.4	1.2
	80歳以上	67	77.6	35.8	23.9	65.7	46.3	1.5	0.0
職業	自営業	47	89.4	42.6	29.8	51.1	55.3	8.5	2.1
	会社員・公務員	331	84.9	43.2	80.4	54.7	57.1	1.2	0.0
	パート・アルバイト	124	88.7	43.5	67.7	64.5	62.9	0.0	0.0
	主婦・主夫	141	92.9	39.7	37.6	68.8	51.1	2.8	0.7
	学生	33	75.8	42.4	60.6	51.5	60.6	3.0	3.0
	無職	161	81.4	34.8	21.1	53.4	49.7	1.9	0.6
	その他	29	79.3	55.2	58.6	41.4	55.2	0.0	0.0
子の段階	子どもはいない	263	85.2	43.7	63.5	46.0	58.9	1.9	0.4
	0～2歳	40	95.0	37.5	65.0	55.0	57.5	0.0	0.0
	3～5歳	47	97.9	40.4	68.1	55.3	66.0	0.0	0.0
	6～11歳	84	89.3	42.9	71.4	61.9	61.9	2.4	0.0
	12～14歳	45	84.4	40.0	75.6	62.2	53.3	0.0	0.0
	15～17歳	52	84.6	50.0	76.9	82.7	57.7	0.0	0.0
	18歳以上	445	85.4	39.8	47.0	63.1	51.5	2.0	0.4

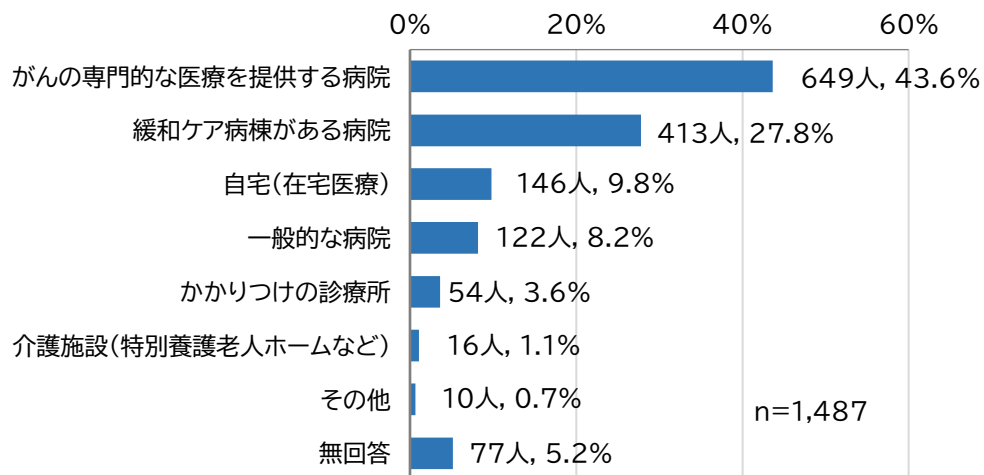
(4)緩和ケアを受ける場所として希望する場所

「がん診療を専門的に扱っている病院」の割合が43.6%で最も高い

問 28 あなたやあなたの身近な方が、がんの痛みがある場合に緩和ケアを受ける場所として、希望する場所はどこですか

- ・緩和ケアを受ける場所として希望する場所を聞いたところ、「がん診療を専門的に扱っている病院」が最も高く43.6%、次いで「緩和ケア病棟がある病院」(27.8%)、「自宅(在宅医療)」(9.8%)、「一般的な病院」(8.2%)の順である。
- ・その他記述では「わからない」、「症状の程度による」等が挙げられている。

緩和ケアを受ける場所として希望する場所



～用語解説～

○緩和ケア病棟とは

緩和ケア病棟では、がんを治すことを目標にした治療(手術、薬物療法、放射線治療など)ではなく、がんの進行などに伴う体の痛みや心のつらさに対する専門的な治療を提供します。

<年代別>

・緩和ケアを受ける場所として希望する場所を年代別にみると、いずれの年代も「がん診療を専門的に扱っている病院」が最も多い。20歳代以下では、「一般的な病院」の割合が高い。

<慢性疾患等の定期的通院先別>

・慢性疾患等の定期的通院先別でみると、「市外の病院を受診している」では「緩和ケア病棟がある病院」が最も多く、そのほかは「がん診療を専門的に扱っている病院」が最も多い。

【年代・慢性疾患等の定期的通院先別】緩和ケアを受ける場所として希望する場所

		合計	問28 あなたやあなたの身近な方が、がんの痛みがある場合に治療を受ける場所として希望する場所							
			自宅(在宅医療)	介護施設(特別養護老人ホームなど)	かかりつけの診療所	一般的な病院	がんの専門的な医療を提供する病院	緩和ケア病棟がある病院	その他	無回答
全体		1,487	10	1	4	8	44	28	1	5
年代	20歳代以下	132	11	2	3	22	44	18	0	1
	30歳代	150	13	0	2	13	51	19	0	3
	40歳代	226	15	1	2	6	46	28	0	2
	50歳代	276	10	0	4	8	43	30	2	4
	60歳代	233	8	0	2	6	43	32	1	8
	70歳代	286	6	1	5	4	45	31	1	7
	80歳以上	179	8	5	7	7	35	27	1	9
職業	自営業	70	10	0	4	7	44	24	0	10
	会社員・公務員	491	13	0	4	10	46	24	0	2
	パート・アルバイト	209	11	1	4	5	38	35	0	6
	主婦・主夫	271	7	1	2	5	45	34	1	5
	学生	55	7	4	2	31	44	13	0	0
	無職	338	7	3	4	7	43	27	2	9
	その他	50	12	0	6	4	40	30	0	8
慢性的な病気のために最も日常的に受診している病院又は診療所	市内の病院を受診している	229	8.7	2.6	4.8	7.9	43.2	23.6	0.4	8.7
	市外の病院を受診している	35	11.4	0.0	2.9	8.6	31.4	40.0	0.0	5.7
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	378	9.8	0.5	4.8	5.0	38.6	33.9	1.6	5.8
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	32	15.6	0.0	3.1	0.0	37.5	31.3	3.1	9.4
	定期的には受診していない	732	10.7	0.7	2.3	10.1	47.3	25.7	0.3	3.0

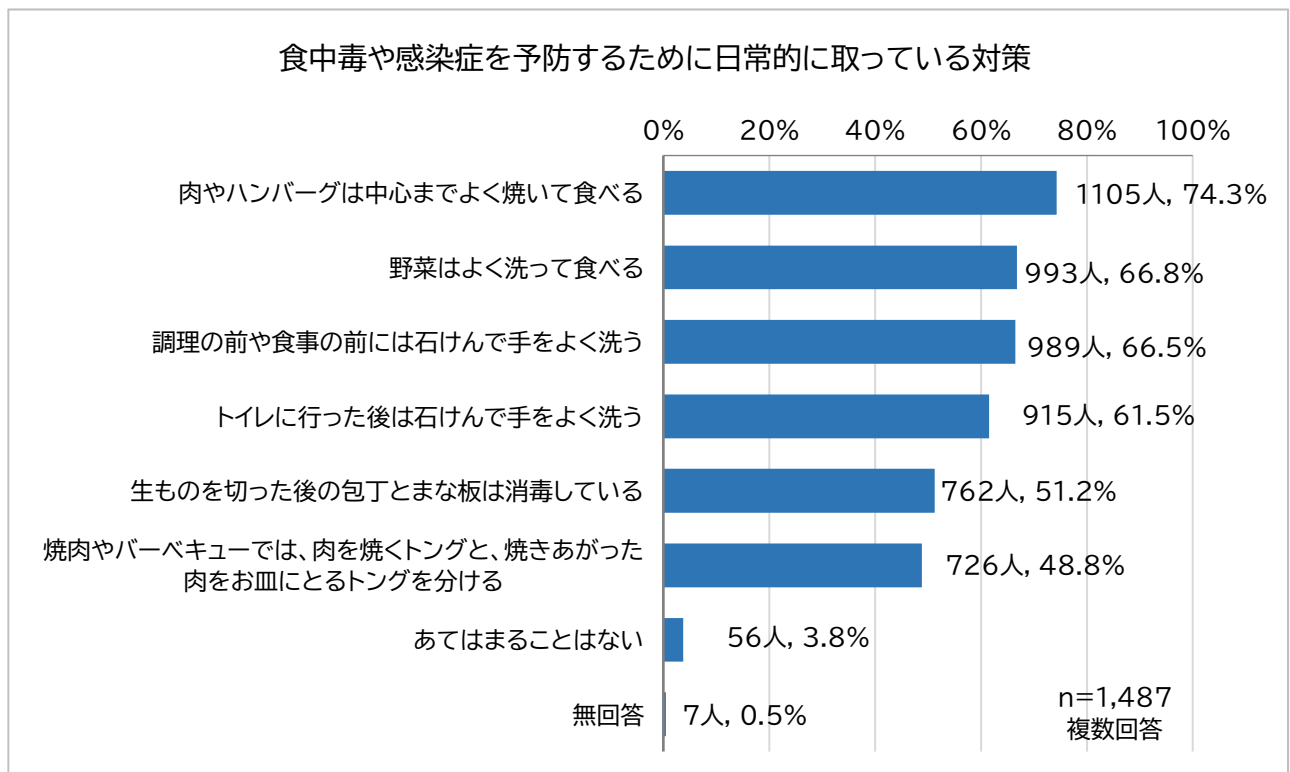
6. 健康や感染症の予防について

(1)食中毒や感染症を予防で日頃の生活で気をつけていること

「肉やハンバーグは中心までよく焼いて食べる」の割合が74.3%で最も高い

問 29 食中毒や感染症を予防するためには、次のような対策が有効です。日常的に取っている対策であてはまるものをすべて選んでください。(複数回答可)

- ・食中毒や感染症を予防するために日常的に取っている対策を聞いたところ、「肉やハンバーグは中心までよく焼いて食べる」が最も多く 74.3%、次いで「野菜はよく洗って食べる」(66.8%)、「調理の前や食事の前には石けんで手をよく洗う」(66.5%)、「トイレに行った後は石けんで手をよく洗う」(61.5%)が6割を超えている。



<年代別>

- ・食中毒や感染症を予防するために日常的に取っている対策を年代別にみると、40歳代と80歳以上を除いて「肉やハンバーグは中心までよく焼いて食べる」が最も多く、40歳代では「調理の前や食事の前には石けんで手をよく洗う」、80歳以上では「野菜はよく洗って食べる」が最も多い。40歳代以下では「焼き肉やバーベキューでは、肉を焼くトングと、焼き上がった肉をお皿にとるトングを分ける」の割合も高くなっている。

<性別>

- ・性別にみると、男女ともに「肉やハンバーグは中心までよく焼いて食べる」が最も多く、いずれの項目も対策を取っている割合は男性より女性の方が高い。

<職業別>

・職業別にみると、いずれの職業も「肉やハンバーグは中心までよく焼いて食べる」が最も多く、とくに「主婦・主夫」ではその割合が高い。また、「主婦・主夫」では「野菜はよく洗って食べる」、「生ものを切った後の包丁とまな板は消毒している」の割合も高い。

<子の段階別>

・子の段階別にみると、いずれの段階も「肉やハンバーグは中心までよく焼いて食べる」が最も多いが、“0～14歳”の子どもがいる人では「焼き肉やバーベキューでは、肉を焼くトングと、焼き上がった肉をお皿にとるトングを分ける」の割合も高くなっている。

【年代・性・職業・子の段階別】食中毒や感染症を予防するために日常的に取っている対策

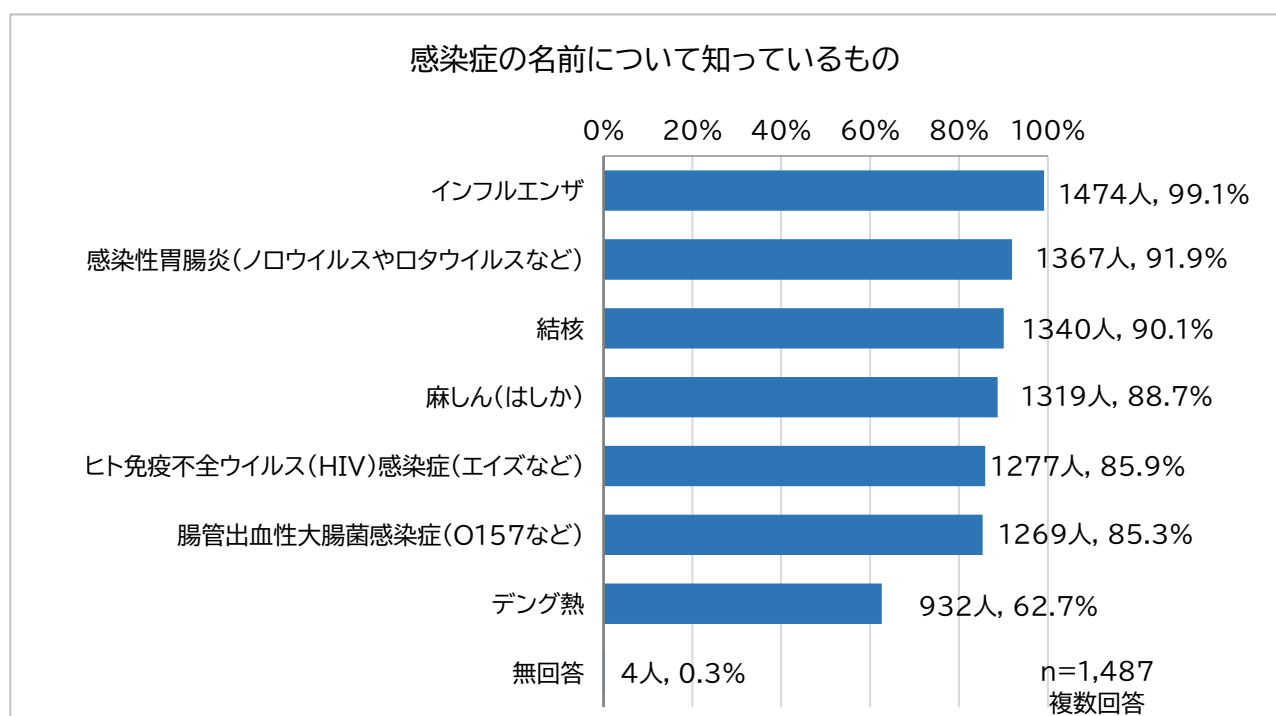
		合計	問29 食中毒や感染症を予防するために日常的に取っている対策であてはまるもの							
			肉やハンバーグは中心までよく焼いて食べる	焼肉やバーベキューでは、肉を焼くトングと、焼き上がった肉をお皿にとるトングを分ける	野菜はよく洗って食べる	生ものを切った後の包丁とまな板は消毒している	調理の前や食事の前には石けんで手をよく洗う	トイレに行った後は石けんで手をよく洗う	あてはまることはない	無回答
全体		1,487	74.3	48.8	66.8	51.2	66.5	61.5	3.8	0.5
年代	20歳代以下	132	78.8	60.6	61.4	49.2	67.4	62.1	0.8	0.0
	30歳代	150	70.7	66.7	64.0	53.3	70.7	66.0	2.0	0.0
	40歳代	226	71.7	58.8	60.2	48.2	73.0	65.9	3.5	0.0
	50歳代	276	76.4	52.9	66.3	49.6	67.0	62.3	4.7	0.0
	60歳代	233	76.4	45.9	70.0	55.8	69.5	59.7	4.3	0.4
	70歳代	286	75.2	36.7	69.6	53.1	63.3	60.8	4.9	0.7
	80歳以上	179	69.3	30.2	73.2	48.6	54.7	54.7	3.9	2.2
性	男性	638	63.3	39.0	56.3	42.3	57.1	53.6	7.4	0.3
	女性	837	82.7	56.3	74.6	58.1	73.6	67.5	1.1	0.5
	回答しない	6	66.7	50.0	100.0	33.3	66.7	66.7	0.0	0.0
職業	自営業	70	61.4	44.3	57.1	50.0	64.3	58.6	7.1	0.0
	会社員・公務員	491	69.0	54.8	59.1	48.3	68.2	60.7	3.5	0.2
	パート・アルバイト	209	81.8	53.6	72.2	54.5	73.7	69.4	3.3	0.0
	主婦・主夫	271	86.7	56.5	80.8	62.7	71.6	66.8	1.5	0.7
	学生	55	74.5	56.4	61.8	45.5	63.6	65.5	0.0	0.0
	無職	338	69.5	30.5	65.4	46.2	55.9	54.1	6.8	1.2
	その他	50	76.0	50.0	70.0	46.0	70.0	58.0	0.0	0.0
子の段階	子どもはいない	451	71.2	47.5	63.2	49.7	65.9	61.6	4.4	0.0
	0～2歳	71	71.8	59.2	64.8	49.3	64.8	64.8	1.4	0.0
	3～5歳	69	76.8	62.3	62.3	53.6	73.9	72.5	4.3	0.0
	6～11歳	137	77.4	69.3	65.7	54.0	75.9	70.8	2.2	0.0
	12～14歳	73	75.3	64.4	61.6	49.3	72.6	58.9	1.4	0.0
	15～17歳	80	73.8	58.8	62.5	53.8	72.5	65.0	5.0	0.0
	18歳以上	781	75.5	45.5	69.8	52.1	65.4	60.1	4.0	0.9

(2)知っている感染症の名前

「インフルエンザ」、「感染性胃腸炎」、「結核」は9割以上の認知度

問 30 感染症の名前について、知っているもの。(複数回答可)

- ・感染症の名前について、知っているものを聞いたところ、「インフルエンザ」が最も多く 99.1%、次いで「感染性胃腸炎(ノロウイルスやロタウイルスなど)」(91.9%)と「結核」(90.1%)、「麻しん(はしか)」(88.7%)、「ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症(エイズなど)」(85.9%)、「腸管出血性大腸菌感染症(O157など)」(85.3%)が続き、いずれも認知度は8割以上と高い。



<年代別>

・感染症の名前について知っているものを年代別にみると、全ての年代で「インフルエンザ」が最も多い。50歳代以下では「デング熱」の割合も高くなっている。また、40歳代では「ヒト免疫不全(HIV)感染症(エイズなど)」の割合も高くなっている。

<子の段階別>

・子の段階別にみると、“12～17歳”の子がいる人では「感染性胃腸炎(ノロウイルスやロタウイルスなど)」が最も多く、そのほかの段階では「インフルエンザ」が最も多い。“0～11歳”の子がいる人では「デング熱」の割合が、「15～17歳」の子がいる人では「デング熱」、「ヒト免疫不全(HIV)感染症(エイズなど)」の割合も高くなっている。

【年代・子の段階別】感染症の認知度

		合計	問30 感染症の名前について知っているもの							無回答
			インフルエンザ	感染性胃腸炎(ノロウイルスやロタウイルスなど)	腸管出血性大腸菌感染症(O157など)	デング熱	麻しん(はしか)	結核	ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症(エイズなど)	
全体		1,487	99.1	91.9	85.3	62.7	88.7	90.1	85.9	0.3
年代	20歳代以下	132	100.0	95.5	84.1	79.5	86.4	85.6	93.2	0.0
	30歳代	150	99.3	96.7	94.0	82.0	90.0	91.3	95.3	0.0
	40歳代	226	100.0	98.2	94.7	74.8	91.2	92.0	96.5	0.0
	50歳代	276	99.6	97.5	93.1	72.8	92.8	92.0	92.0	0.0
	60歳代	233	100.0	96.6	91.0	60.9	93.1	90.1	91.8	0.0
	70歳代	286	97.6	90.6	78.3	47.9	85.0	90.2	76.2	0.3
	80歳以上	179	97.8	65.4	59.2	29.6	80.4	87.2	57.5	1.7
	子の段階	子どもはいない	451	100.0	93.3	85.6	69.2	88.9	90.0	90.0
0～2歳		71	100.0	95.8	87.3	77.5	85.9	87.3	91.5	0.0
3～5歳		69	100.0	98.6	95.7	78.3	91.3	91.3	95.7	0.0
6～11歳		137	99.3	98.5	94.9	76.6	89.8	91.2	92.7	0.0
12～14歳		73	97.3	98.6	91.8	68.5	87.7	89.0	90.4	0.0
15～17歳		80	97.5	98.8	95.0	73.8	92.5	92.5	97.5	0.0
18歳以上		781	98.5	89.1	83.0	54.5	88.3	90.3	80.5	0.5

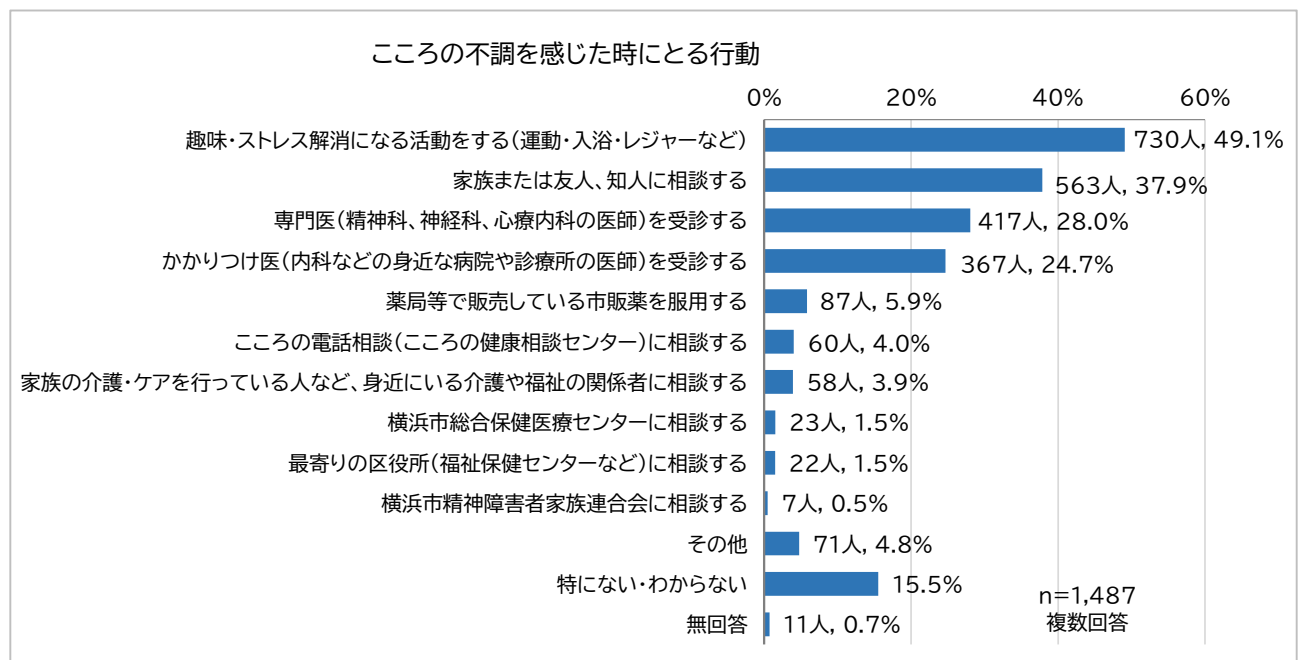
7. こころの病気について

(1) こころの病気にかかったときの行動

「趣味・ストレス解消になる活動をする(運動・入浴・レジャーなど)」の割合が49.1%で最も高い

問 31 寝つきが悪い、途中で目が覚めてしまう、食欲がわからない、ちょっとしたことでイライラしたり気分が落ち込む、不安や緊張を強く感じる、とりとめもない考えが次々と浮かんできて考えがまとまらない、などこころの不調を感じた時に、まずどのように行動することが多いですか。(複数回答可)

・こころの病気にかかったときの行動を聞いたところ、「趣味・ストレス解消になる活動をする(運動・入浴・レジャーなど)」が最も多く49.1%、次いで「家族または友人、知人に相談する」(37.9%)、「専門医(精神科、神経科、心療内科の医師)を受診する」(28.0%)、「かかりつけ医(内科などの身近な病院や診療所の医師)を受診する」(24.7%)の順である。



<年代別>

・こころの病気にかかったときにとる行動を年代別にみると、80 歳以上を除いていずれの年代も「趣味・ストレス解消になる活動をする(運動・入浴・レジャーなど)」が最も多く、80 歳以上では、「かかりつけ医(内科などの身近な病院や診療所の医師)を受診する」が最も多い。30 歳以下では「家族または友人、知人に相談する」の割合が高く、70 歳代では「かかりつけ医(内科などの身近な病院や診療所の医師)を受診する」の割合も高い。

<職業別>

・「自営業」、「会社員・公務員」、「パート・アルバイト」、「主婦・主夫」では「趣味・ストレス解消になる活動をする(運動・入浴・レジャーなど)」が最も多いが、「学生」では「家族または友人、知人に相談する」が最も多く、「無職」では「かかりつけ医(内科などの身近な病院や診療所の医師)を受診する」が、「その他」では「専門医(精神科、神経科、心療内科の医師)を受診する」が最も多くなっている。

<子の年代別>

・「3～5 歳」の子を持つ人では「家族または友人、知人に相談する」が最も多く、そのほかの子の段階では「趣味・ストレス解消になる活動をする(運動・入浴・レジャーなど)」が最も多い。「0～2 歳」の子を持つ人では「家族または友人、知人に相談する」の割合も高くなっている。

<慢性疾患等の定期的通院先別>

・慢性疾患等の定期的通院先別でみると、「市外の診療所(クリニック等)を受診している」では「家族または友人、知人に相談する」が最も多く、それ以外は「趣味・ストレス解消になる活動をする(運動・入浴・レジャーなど)」が最も多い。「市内の診療所(クリニック等)を受診している」では「かかりつけ医(内科などの身近な病院や診療所の医師)を受診する」の割合も高くなっている。

【年代・高齢2区分・職業・子の段階・慢性疾患等の定期的通院先別】

こころの病気にかかったときの受診先

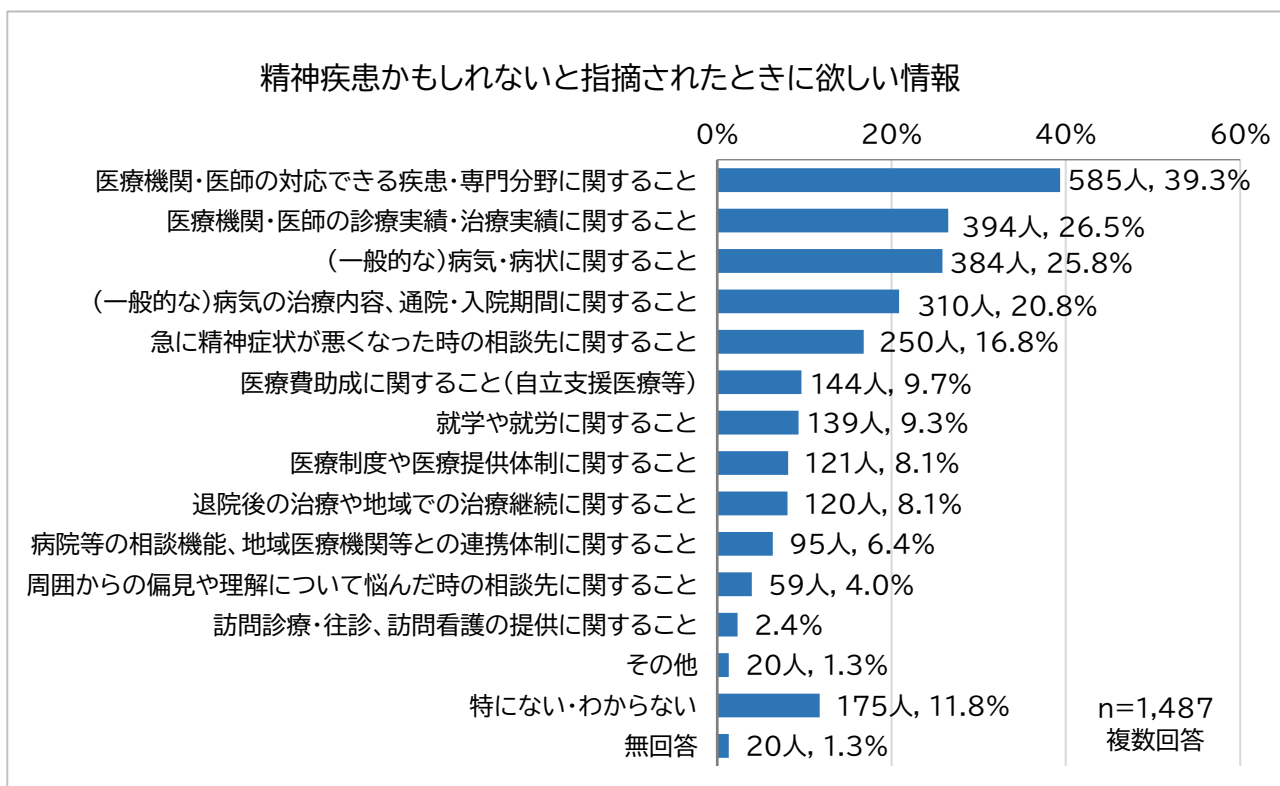
		問31 こころの不調を感じた時に、まずどのように行動することが多いか													
		合計	専門医 (精神科、 神経科、 心療内科 の医師) を受診する	かかりつ け医(内科 などの身 近な病院 や診療所 の医師) を受診する	薬局等 で販売し ている市 販薬を服 用する	家族ま たは友 人、知 人に相 談する	家族の 介護・ ケアを 行っ ている 人など、 身近に いる介 護や福 祉の関 係者に 相談する	最寄りの 区役所 健康セ ンター などに 相談する	こころの 電話相 談(こ ころの 健康相 談セ ンター) に相談 する	横浜市 総合健 康セン ターに 相談す る	横浜市 精神障 害者家 族連合 会に相 談する	趣味・ス トレス 解消に なる活 動をす る(運 動・入 浴・レ ジャ ーなど)	その他	特にな い わから ない	無回答
全体		1,487	28.0	24.7	5.9	37.9	3.9	1.5	4.0	1.5	0.5	49.1	4.8	15.5	0.7
年代	20歳以下	132	24.2	11.4	9.1	52.3	2.3	0.0	3.0	0.8	0.0	57.6	6.8	13.6	0.0
	30歳代	150	25.3	9.3	4.7	50.0	2.7	0.7	2.7	0.0	0.0	59.3	9.3	12.7	0.0
	40歳代	226	31.9	11.5	7.5	36.3	0.9	0.4	3.1	0.9	0.9	60.2	6.6	11.1	0.0
	50歳代	276	37.7	18.1	5.4	39.9	2.9	1.1	7.6	2.2	0.7	51.8	6.2	10.9	0.7
	60歳代	233	23.6	27.9	6.4	33.0	2.6	1.3	4.7	2.1	0.4	49.4	3.0	19.3	0.9
	70歳代	286	27.6	39.2	4.9	32.9	5.6	2.8	1.7	1.4	0.0	43.4	1.7	18.2	0.0
	80歳以上	179	20.1	45.3	3.4	30.2	10.6	3.4	4.5	2.2	1.1	26.3	2.2	22.9	3.9
高齢2区分	65歳未満	880	31.5	15.0	6.4	41.8	2.2	0.7	4.7	1.3	0.5	55.9	6.8	12.0	0.2
	65～74歳	283	20.5	30.7	6.0	34.3	3.5	2.1	2.8	1.4	0.4	47.7	1.4	22.3	0.7
	75歳以上	319	25.4	45.1	4.1	30.1	9.1	3.1	3.4	2.2	0.6	32.3	2.2	19.1	2.2
職業	自営業	70	27.1	20.0	7.1	37.1	2.9	0.0	1.4	0.0	0.0	50.0	11.4	21.4	2.9
	会社員・公務員	491	32.4	14.1	7.1	37.7	1.6	1.2	5.9	1.6	0.8	55.6	4.9	12.6	0.0
	パート・アルバイト	209	22.0	23.4	4.8	40.2	2.4	0.0	4.8	1.4	0.0	59.3	4.8	15.8	0.5
	主婦・主夫	271	25.1	31.7	5.5	41.0	3.3	1.8	3.3	0.0	0.0	51.7	3.7	13.7	0.7
	学生	55	14.5	12.7	7.3	63.6	5.5	0.0	1.8	0.0	0.0	58.2	9.1	18.2	0.0
	無職	338	27.8	36.7	5.0	30.2	8.6	3.0	2.7	2.7	0.6	32.2	2.1	19.2	1.8
	その他	50	40.0	32.0	2.0	40.0	2.0	2.0	2.0	6.0	0.0	32.0	14.0	18.0	0.0
子の段階	子どもはいない	451	28.4	14.9	7.1	37.3	2.4	1.3	3.1	1.3	0.7	52.3	8.4	16.2	0.2
	0～2歳	71	26.8	5.6	7.0	49.3	2.8	1.4	2.8	0.0	0.0	59.2	7.0	12.7	0.0
	3～5歳	69	30.4	17.4	5.8	56.5	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	55.1	4.3	11.6	0.0
	6～11歳	137	27.0	10.9	6.6	38.7	2.2	0.0	5.1	0.7	0.0	60.6	3.6	10.9	0.0
	12～14歳	73	27.4	11.0	5.5	31.5	1.4	0.0	4.1	1.4	0.0	64.4	5.5	9.6	0.0
	15～17歳	80	32.5	15.0	6.3	38.8	1.3	1.3	7.5	0.0	0.0	60.0	5.0	11.3	0.0
	18歳以上	781	27.7	35.0	5.0	36.1	5.2	1.9	4.5	2.0	0.5	43.0	2.9	17.0	1.3
慢性的な病気の のために最も 日常的に受診 している病院 又は診療所	市内の病院を受診している	229	29.3	31.4	7.4	32.3	7.4	2.2	2.6	1.3	0.4	32.8	2.6	16.6	2.2
	市外の病院を受診している	35	31.4	31.4	0.0	37.1	0.0	0.0	5.7	2.9	0.0	45.7	2.9	22.9	0.0
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	378	31.5	39.7	4.0	37.6	5.6	2.1	3.7	2.9	1.1	45.8	3.7	15.9	0.5
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	32	34.4	28.1	3.1	40.6	3.1	3.1	12.5	0.0	0.0	34.4	3.1	18.8	0.0
	定期的には受診していない	732	25.5	13.4	6.6	41.0	1.8	1.0	4.1	1.1	0.1	58.1	6.6	14.1	0.4

(2)精神疾患かもしれないと指摘されたときに欲しい情報

「医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること」の割合が 39.3%で最も多い

問 32 あなたやご家族等が、うつ病、統合失調症、依存症等の精神疾患かもしれないと指摘されたときに、どのような情報が欲しいですか。(2つまで)

・精神疾患かもしれないと指摘されたときに欲しい情報を聞いたところ、「医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること」が最も多く 39.3%、次いで「医療機関・医師の診療実績・治療実績に関すること」(26.5%)、「(一般的な)病気・病状に関すること」(25.8%)、「(一般的な)病気の治療内容、通院・入院期間に関すること」(20.8%)の順である。



<年代別>

・精神疾患かもしれないと指摘されたときに欲しい情報を年代別にみると、30 歳代以下では「(一般的な)病気・病状に関すること」が最も多く、40 歳代以上では「医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること」が最も多い。40 歳代では「(一般的な)病気・病状に関すること」や「就学や就労に関すること」の割合も高く、80 歳以上では「特になし、わからない」の割合も高くなっている。

<職業別>

・「学生」では「(一般的な)病気・病状に関すること」が最も多く、それ以外の職業では「医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること」が最も多い。

<子の年代別>

・「こどもはいない」と「3～5 歳」の子を持つ人では「(一般的な)病気・病状に関すること」が最も多く、それ以外の子の段階では「医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること」が最も多い。「6～14 歳」の

子のいる人では「就学や就労に関すること」の割合が、「15～17 歳」の子のいる人では「(一般的な)病気・病状に関すること」の割合が高くなっている。

<慢性疾患等の定期的通院先別>

・慢性疾患等の定期的通院先別でみると、「市外の診療所(クリニック等)を受診している」では「(一般的な)病気・病状に関すること」が最も多く、それ以外では「医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること」が最も多い。

【年代・職業・子の段階・慢性疾患等の定期的通院先別】

精神疾患かもしれないと指摘されたときに欲しい情報

		問32 あなたやご家族等がうつ病、統合失調症、依存症等の精神疾患かもしれないと指摘されたときに、どのような情報が欲しいか																	
		合計	医療機関・医師の診療実績・治療に関すること	患・療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること	る(一般的な)病気・病状に関すること	通院・入院期間に関すること	(一般的な)病気の治療内容、通院・入院期間に関すること	医療制度や医療提供体制に関すること	医療費助成に関すること(自立支援医療等)	退院後の治療や地域での治療継続に関すること	関係等との連携体制に関すること	病院等の相談機能、地域医療機関等との連携体制に関すること	訪問診療・往診、訪問看護の提供に関すること	急に精神症状が悪くなった時の相談先に関すること	就学や就労に関すること	周囲からの偏見や理解に関すること	その他	特になし・わからない	無回答
全体		1487	26.5	39.3	25.8	20.8	8.1	9.7	8.1	6.4	2.4	16.8	9.3	4.0	1.3	11.8	1.3		
年代	20歳代以下	132	20.5	28.0	46.2	27.3	8.3	11.4	6.1	3.8	1.5	18.2	15.9	8.3	3.8	10.6	0.0		
	30歳代	150	26.7	36.0	38.0	24.0	8.0	14.7	4.7	2.0	1.3	15.3	16.0	5.3	1.3	8.7	0.0		
	40歳代	226	26.1	41.2	39.4	28.8	4.0	12.4	6.2	2.7	0.4	15.9	19.5	3.1	1.3	3.5	0.0		
	50歳代	276	31.5	40.2	24.3	18.8	7.6	8.7	7.2	6.2	1.8	18.1	10.9	3.6	1.1	9.1	0.7		
	60歳代	233	28.8	40.8	22.3	20.6	11.2	10.3	8.2	6.9	1.7	20.2	5.2	4.7	0.9	11.2	0.4		
	70歳代	286	29.0	44.1	11.9	15.4	10.1	6.6	11.9	10.8	3.5	15.4	2.1	2.4	1.0	14.3	3.5		
	80歳以上	179	17.3	36.9	12.3	15.6	6.7	6.7	10.1	8.9	5.6	14.0	1.1	2.8	1.1	26.8	3.9		
	職業	自営業	70	20.0	38.6	28.6	20.0	12.9	15.7	5.7	5.7	2.9	15.7	10.0	4.3	1.4	14.3	0.0	
会社員・公務員	491	29.7	36.7	35.2	24.0	7.5	10.6	6.1	4.9	1.0	13.8	14.1	5.1	1.2	6.1	0.6			
パート・アルバイト	209	19.6	42.6	23.0	24.9	5.7	9.1	7.2	4.3	2.4	21.5	14.4	3.8	0.5	13.4	0.0			
主婦・主夫	271	29.5	46.9	20.3	18.8	7.4	9.2	11.1	8.5	4.1	20.3	4.8	3.3	1.1	10.0	1.8			
学生	55	27.3	36.4	43.6	25.5	3.6	5.5	1.8	3.6	0.0	20.0	16.4	7.3	3.6	14.5	0.0			
無職	338	23.7	36.1	16.0	16.3	10.9	8.0	10.9	8.3	3.0	15.7	1.8	2.7	1.5	18.6	3.6			
その他	50	34.0	36.0	18.0	12.0	8.0	14.0	4.0	10.0	4.0	14.0	10.0	2.0	4.0	18.0	0.0			
子の段階	子どもはいない	451	24.2	32.8	34.4	23.5	8.4	10.6	6.0	5.3	1.1	17.1	10.0	5.8	2.2	12.2	0.7		
	0～2歳	71	28.2	35.2	28.2	14.1	4.2	14.1	7.0	2.8	1.4	18.3	12.7	1.4	1.4	9.9	0.0		
	3～5歳	69	24.6	37.7	42.0	21.7	15.9	17.4	10.1	2.9	1.4	15.9	17.4	2.9	2.9	8.7	0.0		
	6～11歳	137	27.7	43.1	33.6	27.7	6.6	13.1	8.8	1.5	0.0	8.8	21.9	3.6	0.7	4.4	0.0		
	12～14歳	73	23.3	50.7	35.6	27.4	0.0	9.6	5.5	1.4	1.4	5.5	28.8	2.7	0.0	6.8	0.0		
	15～17歳	80	28.8	48.8	37.5	23.8	3.8	10.0	12.5	2.5	2.5	8.8	16.3	1.3	1.3	3.8	0.0		
	18歳以上	781	27.3	43.0	18.6	17.8	8.5	7.7	9.5	8.5	3.7	17.9	6.3	3.2	0.8	13.2	2.2		
慢性的な病気のために最も日常的に受診している病院又は診療所	市内の病院を受診している	229	30.1	42.4	15.7	15.7	6.1	9.6	9.6	7.0	4.4	13.1	8.3	2.6	0.9	15.7	2.6		
	市外の病院を受診している	35	25.7	45.7	17.1	8.6	11.4	2.9	2.9	14.3	2.9	31.4	0.0	0.0	0.0	17.1	0.0		
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	378	25.1	41.5	20.4	18.0	9.8	9.5	9.8	10.3	3.7	19.0	5.0	2.9	0.8	11.6	1.9		
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	32	25.0	28.1	37.5	21.9	9.4	15.6	15.6	6.3	3.1	21.9	0.0	3.1	6.3	15.6	0.0		
	定期的には受診していない	732	26.6	37.3	32.1	24.6	7.9	10.2	5.9	3.7	0.8	16.0	13.3	5.3	1.8	9.6	0.5		

8. 歯と歯科診療について

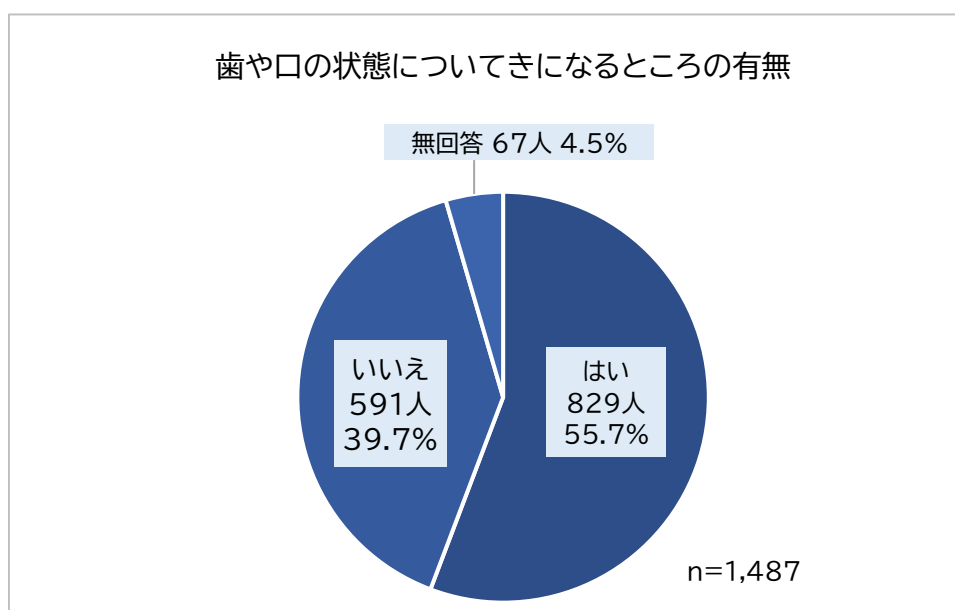
(1) 歯や口の状態について気になるところの有無

「はい」が 55.7%と半数以上である

60 歳を過ぎると、気になるところが「ない」の割合が増加し、「ある」の割合が減少している

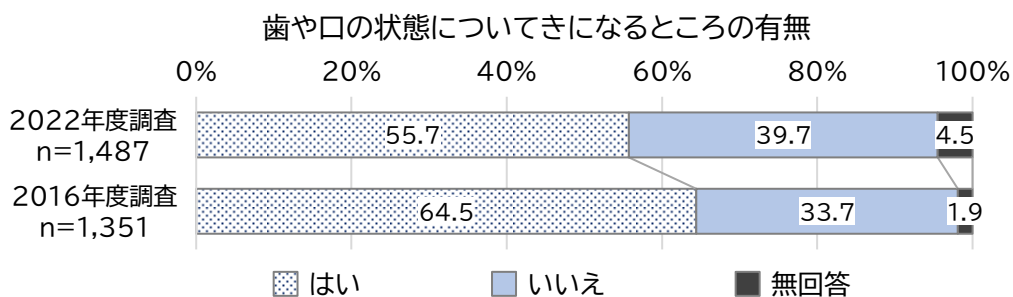
問 33 あなたは、歯や口の状態について何か気になるところがありますか。

- ・歯や口の状態について気になるところの有無を聞いたところ、「はい」が 55.7%と5割を超え、「いいえ」が 39.7%である。



【過去調査との比較】

- ・歯や口の状態について気になるところの有無について 2016 年調査と比較をしてみると、「はい」が 8.8 ポイント減少し、「いいえ」が 6.0 ポイント増加している。



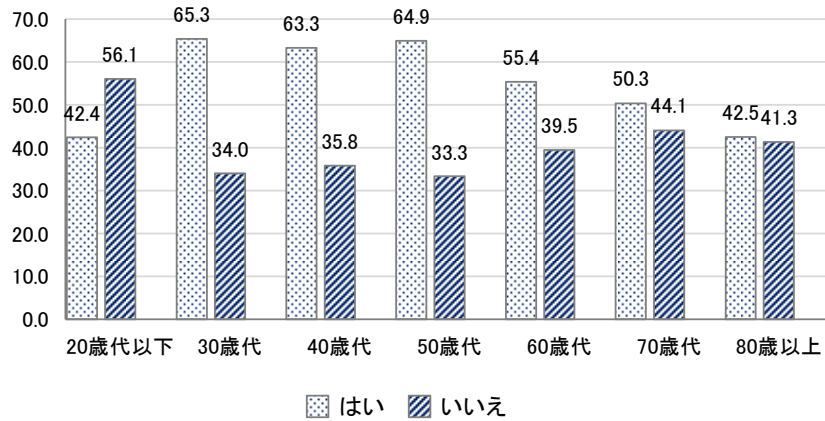
<年代別>

- ・歯や口の状態について気になるところを年代別にみると、20歳代以下では「いいえ」の方が多く、30歳代以上では「はい」の方が多い。

【年代別】歯や口の状態について気になるところ

		合計	問33 歯や口の状態について何か気になるところがあるか		
			はい	いいえ	無回答
全体		1,487	55.7	39.7	4.5
年代	20歳代以下	132	42.4	56.1	1.5
	30歳代	150	65.3	34.0	0.7
	40歳代	226	63.3	35.8	0.9
	50歳代	276	64.9	33.3	1.8
	60歳代	233	55.4	39.5	5.2
	70歳代	286	50.3	44.1	5.6
	80歳以上	179	42.5	41.3	16.2

歯や口の状態について気になるところ



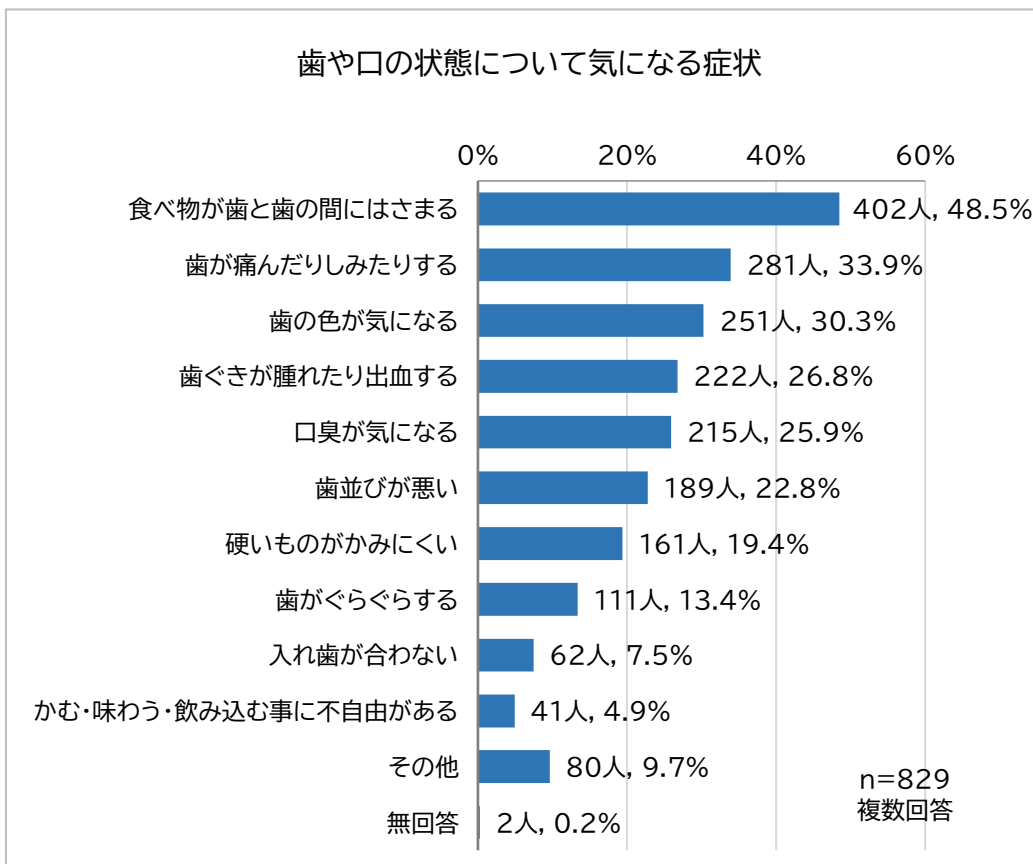
(2) 歯や口の状態について気になる症状

「食べ物が歯と歯の間にはさまる」が48.5%と最も多い

問 33 で「はい」に○をつけた方

問 33-1 それほどのような症状ですか。(複数回答可)

- ・歯や口の状態について気になる症状を聞いたところ、「食べ物が歯と歯の間にはさまる」が最も多く48.5%、次いで「歯が痛んだりしみたりする」(33.9%)、「歯の色が気になる」(30.3%)、「歯ぐきが腫れたり出血する」(26.8%)、「口臭が気になる」(25.9%)、「歯並びが悪い」(22.8%)等の順である。
- ・その他記述では「虫歯」、「歯ぎしり」、「親知らず」等が挙げられている。



<年代別>

・歯や口の状態について気になる症状を年代別にみると、20歳代以下と40歳代では「歯の色が気になる」、30歳代では「歯が痛んだりしみたりする」が最も多く、40歳代以上では「食べ物が歯と歯の間にはさまる」が最も多い。40歳代以下では「歯並びが悪い」の割合が高く、70歳代では「歯がぐらぐらする」、「硬いものが噛みにくい」の割合が高い。80歳以上では「硬いものが噛みにくい」、「入れ歯が合わない」の割合が高い。

【年代別】歯や口の気になる症状や状態

		合計	問33-1 歯や口の気になる症状や状態											
			歯が痛んだりしみたりする	歯ぐきが腫れたり出血する	歯がぐらぐらする	硬いものがかみにくい	食べ物が歯と歯の間にはさまる	かむ・味わう・飲み込む事に不自由がある	口臭が気になる	入れ歯が合わない	歯並びが悪い	歯の色が気になる	その他	無回答
全体		829	33.9	26.8	13.4	19.4	48.5	4.9	25.9	7.5	22.8	30.3	9.7	0.2
年代	20歳代以下	56	32.1	7.1	1.8	1.8	14.3	3.6	28.6	0.0	35.7	51.8	10.7	0.0
	30歳代	98	44.9	20.4	3.1	4.1	33.7	0.0	30.6	1.0	33.7	34.7	7.1	0.0
	40歳代	143	36.4	17.5	6.3	9.8	39.2	4.2	27.3	0.0	32.9	44.1	12.6	0.0
	50歳代	179	34.6	33.5	9.5	15.1	48.0	5.0	26.8	3.4	19.0	33.5	14.5	0.0
	60歳代	129	32.6	34.1	19.4	19.4	62.8	4.7	20.2	8.5	16.3	30.2	5.4	0.0
	70歳代	144	31.3	29.9	25.7	37.5	65.3	5.6	26.4	17.4	16.0	12.5	9.7	1.4
	80歳以上	76	23.7	31.6	22.4	46.1	53.9	13.2	22.4	23.7	14.5	9.2	2.6	0.0

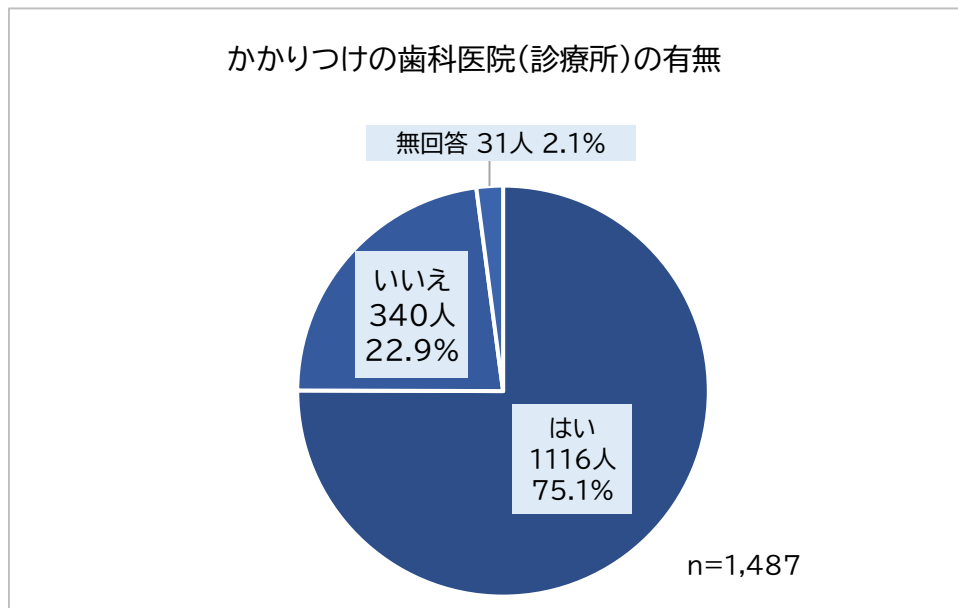
(3) かかりつけの歯科医院(診療所)の有無

「はい」(かかりつけ歯科医院を決めている)が 75.1%、「いいえ」(かかりつけ歯科医院を決めていない)が 22.9%

年代が高くなるにつれてかかりつけ歯科医院を決めている割合が高くなっている

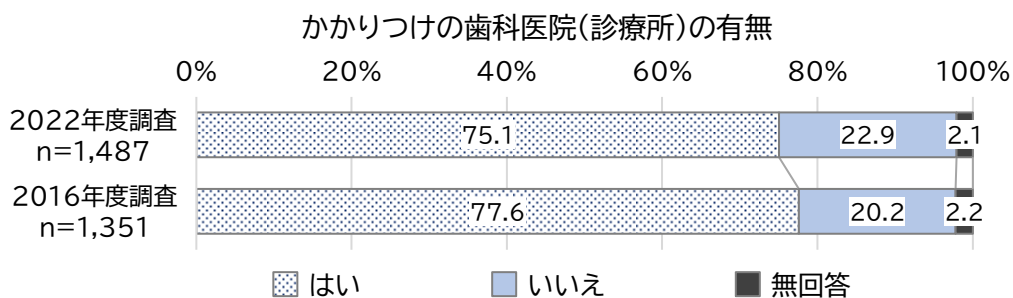
問 34 あなたは、かかりつけの歯科医院(診療所)を決めていますか。

・かかりつけの歯科医院(診療所)の有無を聞いたところ、「はい」が 75.1%、「いいえ」が 22.9%である。



【過去調査との比較】

・かかりつけの歯科医院(診療所)の有無について 2016 年調査と比較をしてみると、「はい」が 2.5 ポイント減少し、「いいえ」が 2.7 ポイント増加している。



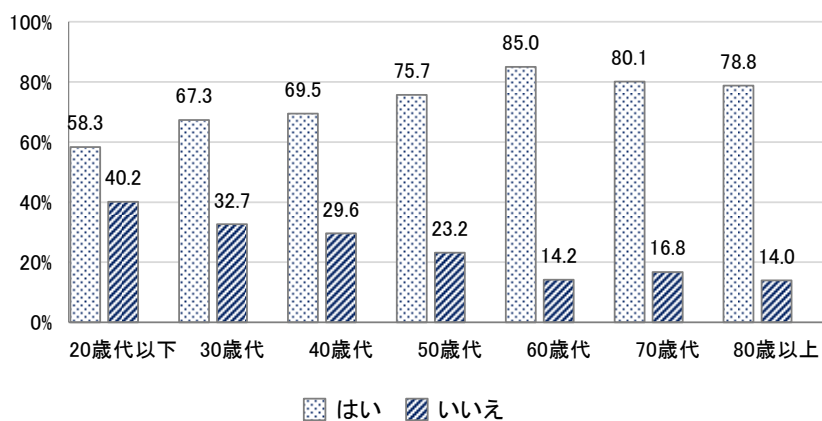
<年代別>

・かかりつけの歯科医院(診療所)の有無を年代別にみると、いずれの年代も「はい」の方が多い。20歳代以下では「いいえ」の割合も高くなっている。年代が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなっている。

【年代別】かかりつけの歯科医院(診療所)の有無

		合計	問34 歯や口の健康管理や相談ができるかかりつけの歯科医院を決めているか		
			はい	いいえ	無回答
全体		1,487	75.1	22.9	2.1
年代	20歳代以下	132	58.3	40.2	1.5
	30歳代	150	67.3	32.7	0.0
	40歳代	226	69.5	29.6	0.9
	50歳代	276	75.7	23.2	1.1
	60歳代	233	85.0	14.2	0.9
	70歳代	286	80.1	16.8	3.1
	80歳以上	179	78.8	14.0	7.3

かかりつけの歯科医院の有無



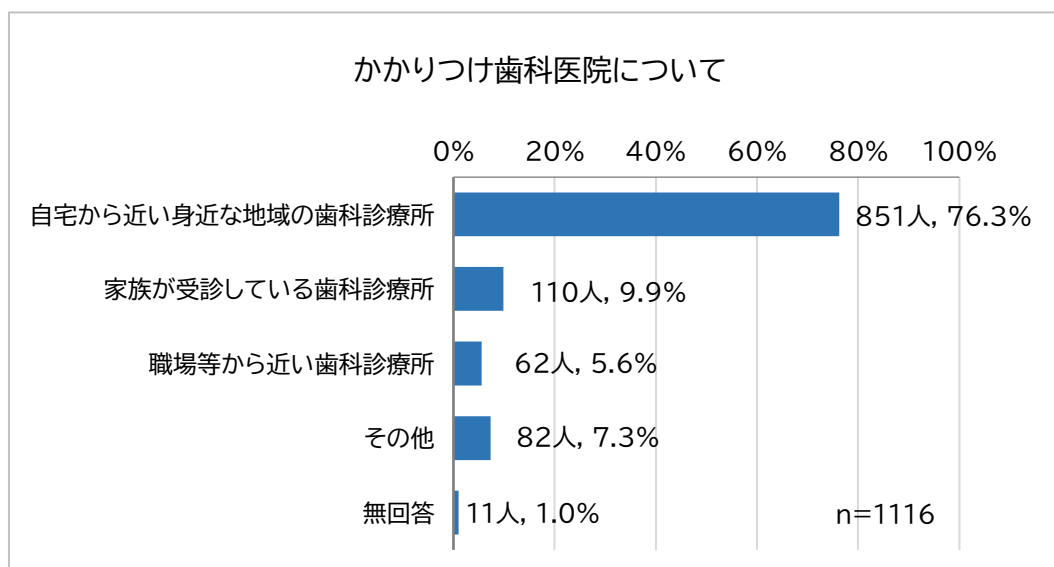
(4) かかりつけの歯科医院について

「自宅から近い身近な地域の歯科診療所」の割合が 76.3% と最も多い

問 34 で「はい」に○をつけた方

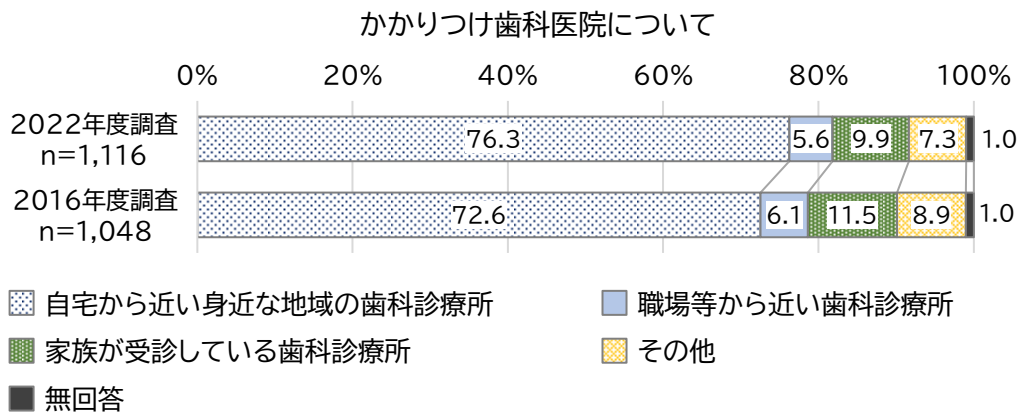
問 34-1 あなたのかかりつけ歯科医院は次のどれですか。

- ・かかりつけの歯科医院がある人に、かかりつけの歯科医院について聞いたところ、「自宅から近い身近な地域の歯科診療所」が最も多く 76.3%、次いで「家族が受診している歯科診療所」(9.9%)、「職場等から近い歯科診療所」(5.6%)の順である。
- ・その他記述では、「以前から継続して受診している歯科診療所」、「技術レベルが高い・腕がいい・信頼できる歯科診療所」、「紹介してもらった歯科診療所」等が挙げられている。



【過去調査との比較】

・かかりつけの歯科医院について 2016 年調査と比較をしてみると、「自宅から近い身近な地域の歯科診療所」が 3.7 ポイント増加している。



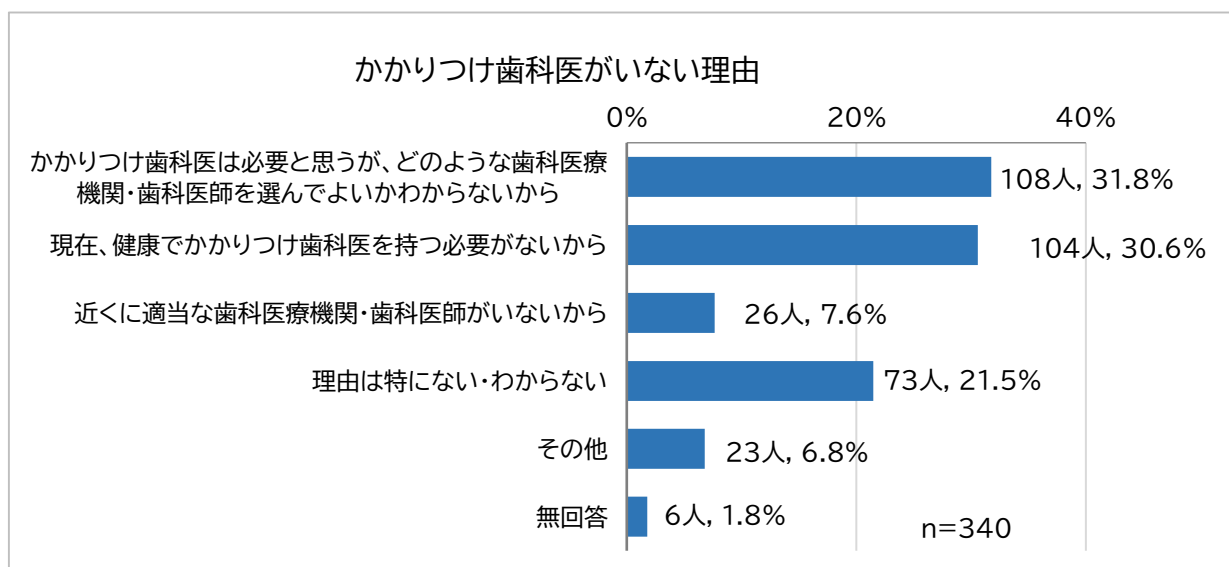
(5) かかりつけ歯科医がない理由

「かかりつけ歯科医は必要と思うが、どのような歯科医療機関・歯科医師を選んでよいかわからないから」(31.8%)と「現在、健康でかかりつけ歯科医を持つ必要がないから」(30.6%)が拮抗している

問 34 で「いいえ」に○をつけた方

問 34-2 かかりつけ歯科医がない理由は何ですか。

- ・かかりつけの歯科医がない人に、かかりつけ歯科医がない理由を聞いたところ、「かかりつけ歯科医は必要と思うが、どのような歯科医療機関・歯科医師を選んでよいかわからないから」(31.8%)と「現在、健康でかかりつけ歯科医を持つ必要がないから」(30.6%)が拮抗している。一方、「理由は特にない・わからない」は 21.5%である。
- ・その他記述では、「引っ越ししたばかりでかかりつけ歯科医がない」等が挙げられている。



<年代別>

・かかりつけ歯科医がない理由を年代別にみると、30歳代以下と60歳代、70歳代では「現在、健康でかかりつけ歯科医を持つ必要がないから」が最も多く、40歳代、50歳代、80歳以上では「かかりつけ歯科医は必要と思うが、どのような歯科医療機関・歯科医師を選んでよいかわからないから」が最も多く、とくに40歳代、50歳代ではその割合が高い。

【年代別】かかりつけ歯科医がない理由

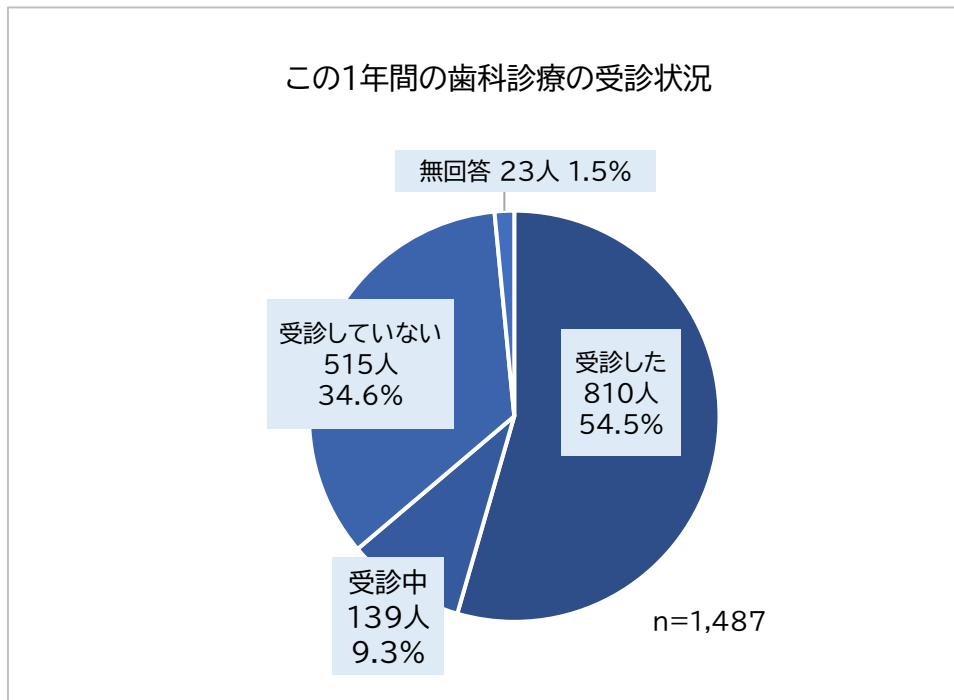
		合計	問34-2 かかりつけ歯科医院がない理由					
			現在、健康で かかりつけ 歯科医を持つ 必要がないから	近くに適当な 歯科医療機 関・歯科医師 がないから	かかりつけ歯 科医は必要と 思うが、どの ような歯科医 療機関・歯科 医師を選んで よいかわから ないから	理由は特に ない・わから ない	その他	無回答
全体		340	30.6	7.6	31.8	21.5	6.8	1.8
年代	20歳代以下	53	47.2	5.7	18.9	17.0	11.3	0.0
	30歳代	49	36.7	10.2	26.5	20.4	6.1	0.0
	40歳代	67	23.9	6.0	46.3	19.4	4.5	0.0
	50歳代	64	21.9	7.8	42.2	21.9	4.7	1.6
	60歳代	33	27.3	12.1	27.3	27.3	6.1	0.0
	70歳代	48	35.4	6.3	22.9	25.0	6.3	4.2
	80歳以上	25	20.0	8.0	28.0	20.0	12.0	12.0

(6)この1年間の歯科診療の受診状況

「受診した」の割合が54.5%と半数以上である

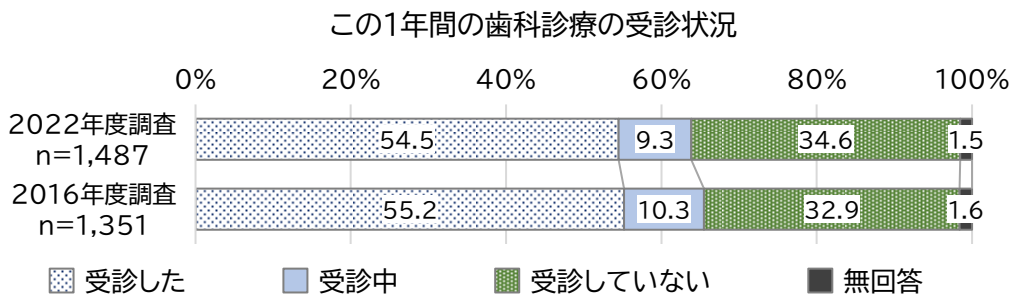
問 35 あなたは、この1年間に歯科医院(診療所)や病院の歯科を受診したことがありますか。

・この1年間に歯科医院(診療所)や病院の歯科の受診状況を聞いたところ、「受診した」が54.5%、「受診していない」は34.6%、「受診中」は9.3%である。



【過去調査との比較】

・この1年間の歯科診療の受診状況について2016年調査と比較してみると、大きな差はない。



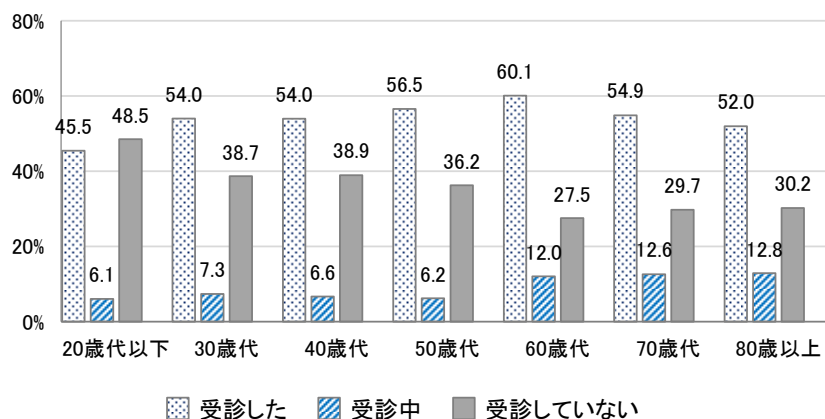
<年代別>

・この1年間に歯科医院(診療所)や病院の歯科の受診状況を年代別にみると、20歳代以下では「受診していない」が最も多いが、30歳代以上では「受診した」が最も多い。60歳代までは年代が高くなるにつれて受診したあるいは受診中の割合が高くなる傾向がみられる。

【年代別】この1年間に歯科医院(診療所)や病院の歯科の受診状況

		合計	問35 この1年間に歯科医院(診療所)や病院の歯科を受診したことがあるか			
			受診した	受診中	受診していない	無回答
全体		1,487	54.5	9.3	34.6	1.5
年代	20歳代以下	132	45.5	6.1	48.5	0.0
	30歳代	150	54.0	7.3	38.7	0.0
	40歳代	226	54.0	6.6	38.9	0.4
	50歳代	276	56.5	6.2	36.2	1.1
	60歳代	233	60.1	12.0	27.5	0.4
	70歳代	286	54.9	12.6	29.7	2.8
	80歳以上	179	52.0	12.8	30.2	5.0

この1年間の歯科の受診



(7)この1年間に受けた歯科診療の内容

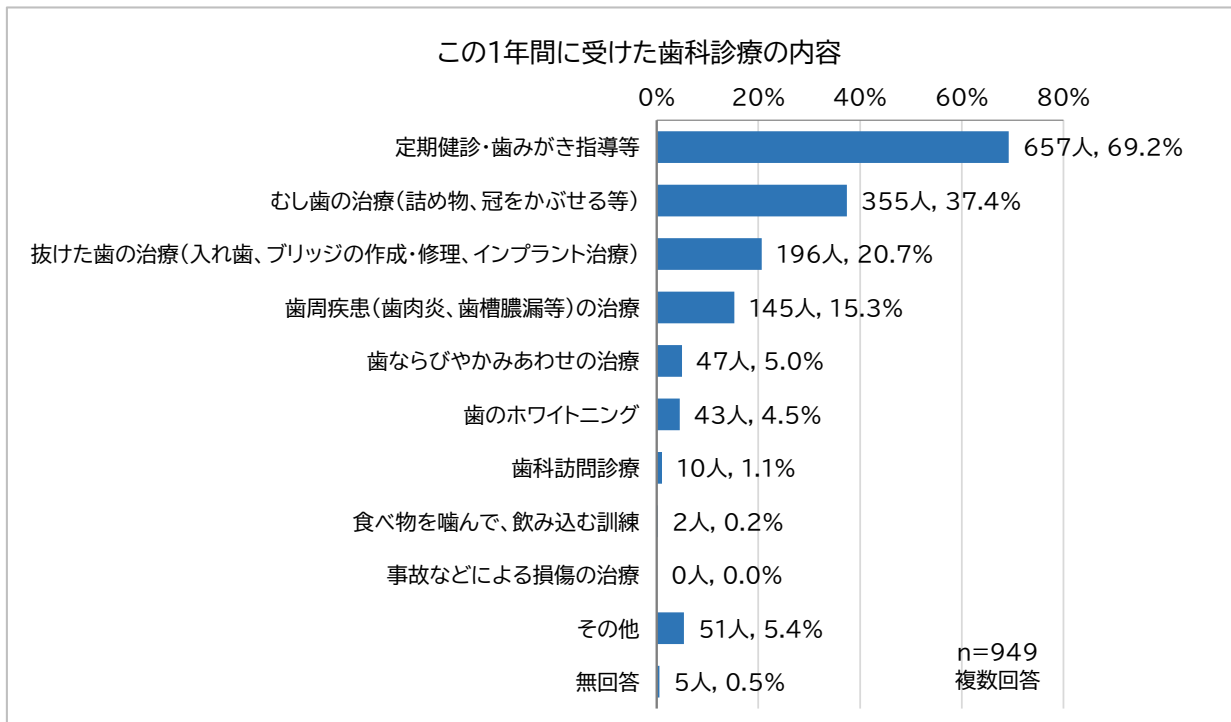
「定期健診・歯みがき指導等」の割合が69.2%で最も高い

70歳以上では、歯周疾患の治療、抜けた歯の治療の割合が高くなっている。

問35で「受診した」、「受診中」に○をつけた方

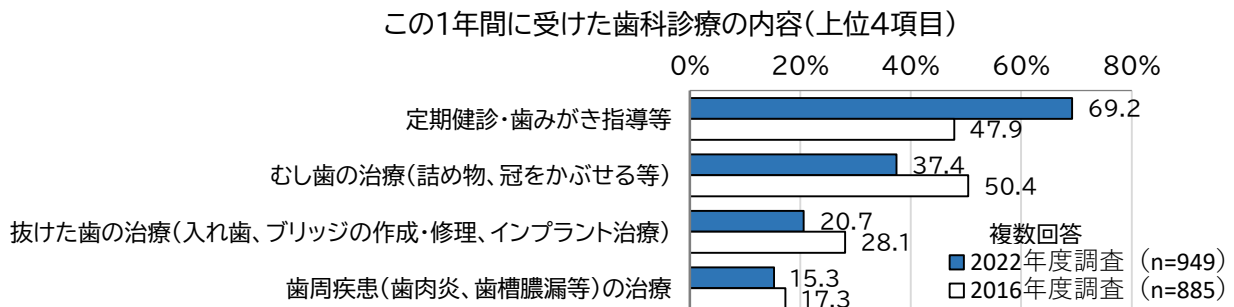
問35-1 受診した内容は何ですか。(複数回答可)

- ・この1年間に歯科医院を受診した、もしくは受診中の人に、この1年間に歯科医院(診療所)や病院の歯科を受診した内容を聞いたところ、「定期健診・歯みがき指導等」が最も多く69.2%、次いで「むし歯の治療(詰め物、冠をかぶせる等)」(37.4%)、「抜けた歯の治療(入れ歯、ブリッジの作成・修理、インプラント治療)」(20.7%)、「歯周疾患(歯肉炎、歯槽膿漏等)の治療」(15.3%)等の順である。
- ・その他の記述では、「クリーニング」、「親知らずの抜歯」、「欠けた歯の治療」等が挙げられている。



【過去調査との比較】

- ・この1年間に受けた歯科診療の内容について2016年調査と比較してみると、「定期健診・歯みがき指導等」が20ポイント以上増加し、「むし歯の治療(詰め物、冠をかぶせる等)」は10ポイント以上減少した。



<年代別>

・この 1 年間に受けた歯科診療の内容を年代別にみると、いずれの年代も「定期健診・歯みがき指導等」が最も多い。70 歳代では、「歯周疾患(歯肉炎、歯槽膿漏等)の治療」、「抜けた歯の治療(入れ歯、ブリッジの作成・修理、インプラント治療)」、80 歳以上では「抜けた歯の治療(入れ歯、ブリッジの作成・修理、インプラント治療)」の割合が高くなっている。

【年代別】この 1 年間に受診した歯科診療の内容

		合計	問35-1 受診した内容										
			定期健診・歯みがき指導等	むし歯の治療(詰め物、冠をかぶせる等)	歯周疾患(歯肉炎、歯槽膿漏等)の治療	抜けた歯の治療(入れ歯、ブリッジの作成・修理、インプラント治療)	歯ならびやかみあわせの治療	歯科訪問診療	食べ物を噛んで、飲み込む訓練	事故などによる損傷の治療	歯のホワイトニング	その他	無回答
全体		949	69.2	37.4	15.3	20.7	5.0	1.1	0.2	0.0	4.5	5.4	0.5
年代	20歳代以下	68	72.1	36.8	2.9	2.9	13.2	1.5	0.0	0.0	8.8	7.4	2.9
	30歳代	92	78.3	39.1	10.9	5.4	5.4	0.0	0.0	0.0	6.5	7.6	0.0
	40歳代	137	71.5	40.1	13.1	10.2	7.3	0.7	0.0	0.0	10.2	7.3	0.7
	50歳代	173	65.3	45.1	11.0	12.1	1.2	1.7	0.6	0.0	4.0	4.0	0.6
	60歳代	168	74.4	34.5	16.1	22.0	2.4	0.0	0.0	0.0	2.4	4.2	0.0
	70歳代	193	68.9	35.8	25.4	33.7	7.8	0.0	0.5	0.0	2.1	4.1	0.5
	80歳以上	116	56.0	28.4	16.4	44.8	1.7	4.3	0.0	0.0	1.7	6.0	0.0

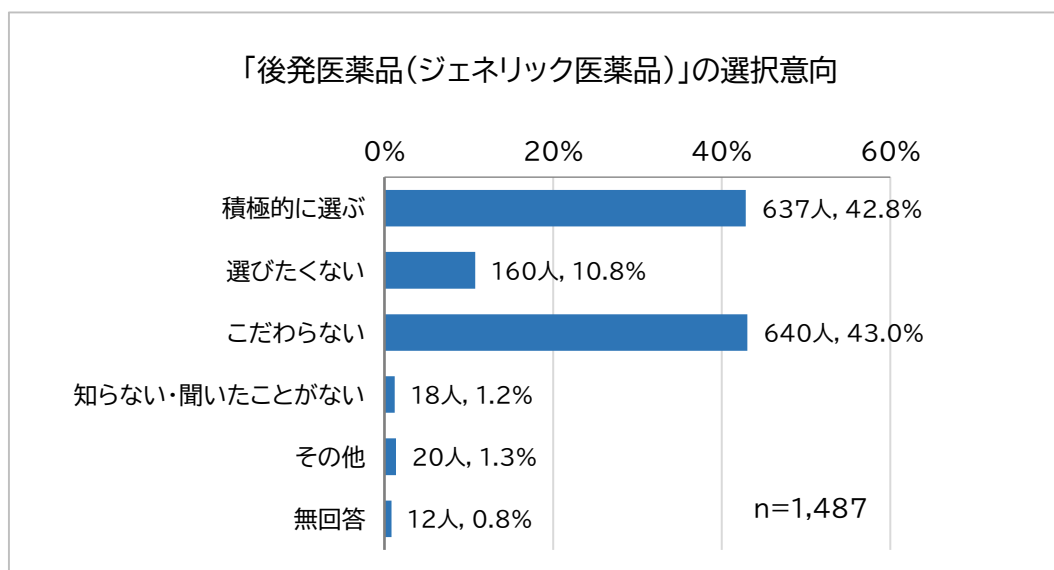
9. 薬と薬局について

(1)「後発医薬品(ジェネリック医薬品)」の選択意向

「こだわらない」(43.0%)と「積極的に選ぶ」(42.8%)が拮抗している

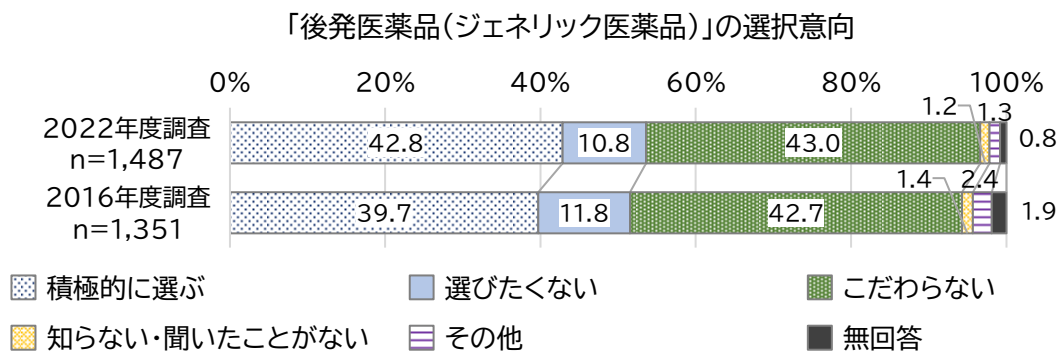
問 36 あなたは、「後発医薬品(ジェネリック医薬品)」を積極的に選びますか。

- ・「後発医薬品(ジェネリック医薬品)」の選択意向を聞いたところ、「こだわらない」が 43.0%と「積極的に選ぶ」が 42.8 で拮抗、一方、「選びたくない」は 10.8%である。また、「知らない・聞いたことがない」の割合は 1.2%と知らない人は少なかった。



【過去調査との比較】

- ・「後発医薬品(ジェネリック医薬品)」の選択意向について 2016 年調査と比較をしてみると、「積極的に選ぶ」が微増している。



<年代別>

・「後発医薬品(ジェネリック医薬品)」の選択意向を年代別にみると、いずれの年代も「積極的に選ぶ」と「こだわらない」が拮抗しているが、20歳代以下と80歳以上では「こだわらない」の割合がやや高い。

【年代別】「後発医薬品(ジェネリック医薬品)」の選択意向

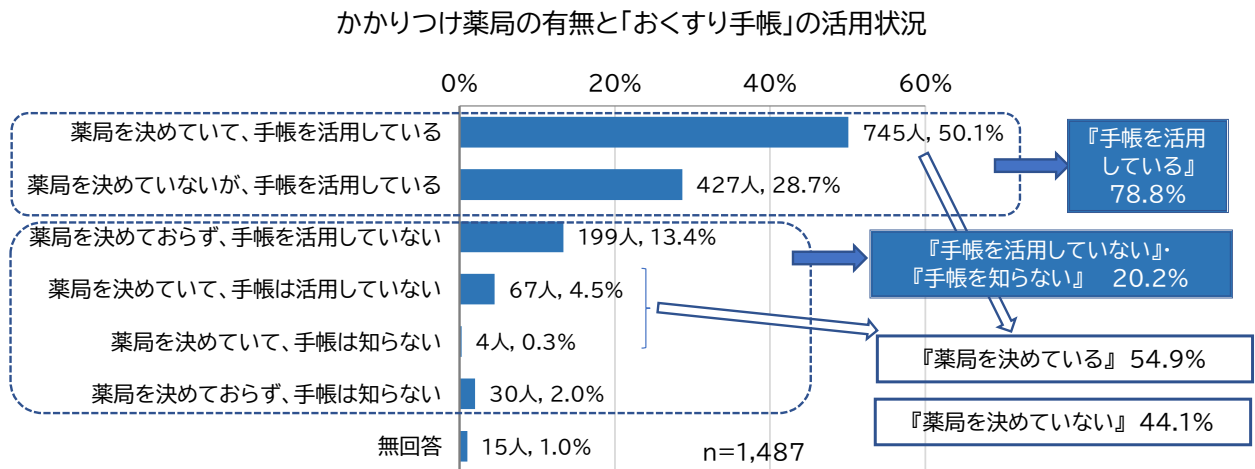
		合計	問36「後発医薬品(ジェネリック医薬品)」を積極的に選ぶか					
			積極的に選ぶ	選びたくない	こだわらない	知らない・聞いたことがない	その他	無回答
全体		1,487	42.8	10.8	43.0	1.2	1.3	0.8
年代	20歳代以下	132	37.9	6.1	51.5	3.0	0.8	0.8
	30歳代	150	44.7	11.3	42.0	0.0	2.0	0.0
	40歳代	226	47.3	10.2	39.8	0.9	1.3	0.4
	50歳代	276	42.4	12.3	43.5	0.0	1.8	0.0
	60歳代	233	46.4	9.0	42.9	0.4	0.9	0.4
	70歳代	286	43.0	11.9	42.0	1.4	0.7	1.0
	80歳以上	179	35.2	12.8	42.5	3.9	2.2	3.4

(2)かかりつけ薬局の有無と「おくすり手帳」の活用状況

“薬局を決めている”割合は 54.9%、“手帳を活用している”割合は 78.8%

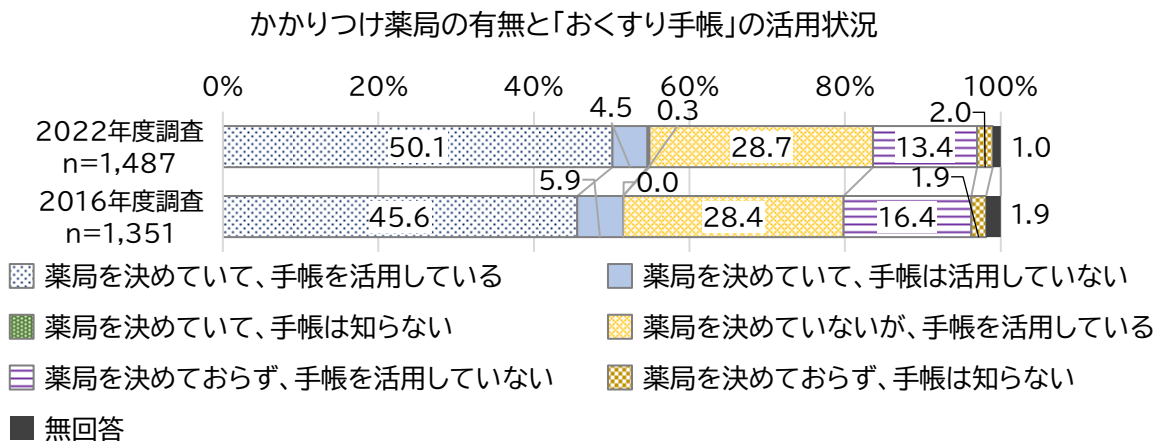
問 37 あなたは、かかりつけ薬局を決めておくすり手帳を活用していますか。

・かかりつけ薬局の有無と「おくすり手帳」の活用状況を聞いたところ、「薬局を決めていて、手帳を活用している」が最も多く 50.1%、次いで「薬局を決めていないが、手帳を活用している」が 28.7%であり、“手帳を活用している”は 78.8%である。一方、“薬局を決めている”は 54.9%である。



【過去調査との比較】

・かかりつけ薬局の有無と「おくすり手帳」の活用状況について 2016 年調査と比較をしてみると、「薬局を決めていて、手帳を活用している」が 4.5 ポイント増加している。



<年代別>

・かかりつけ薬局の有無と「おくすり手帳」の活用状況を年代別にみると、40 歳代以下では「薬局を決めていないが、手帳を活用している」がもっとも多く、20 歳代以下、40 歳代ではその割合が高い。50 歳代以上では「薬局を決めていて、手帳を活用している」が最も多く、70 歳代以上ではその割合が特に高い。30 歳代では「薬局を決めておらず、手帳を活用していない」の割合が高くなっている。

<子の段階別>

・子の段階別にみると、“6～14 歳”の子がいる人では「薬局を決めていないが、手帳を活用している」がもっとも多く、その割合も高い。それ以外の子の段階では「薬局を決めていて、手帳を活用している」が最も多く、特に「18 歳以上」の子がいる人ではその割合が高くなっている。

【年代別】かかりつけ薬局の有無と「おくすり手帳」の活用状況

		合計	問37 かかりつけ薬局を決めておくすり手帳を活用しているか						無回答
			薬局を決めていて、手帳を活用している	薬局を決めていて、手帳は活用していない	薬局を決めていて、手帳は知らない	薬局を決めていないが、手帳を活用している	薬局を決めておらず、手帳を活用していない	薬局を決めておらず、手帳は知らない	
全体		1,487	50.1	4.5	0.3	28.7	13.4	2.0	1.0
年代	20歳代以下	132	25.8	3.8	1.5	43.2	19.7	6.1	0.0
	30歳代	150	30.0	6.0	0.0	38.0	24.7	1.3	0.0
	40歳代	226	35.8	5.3	0.0	38.9	17.3	2.2	0.4
	50歳代	276	41.3	8.3	0.0	31.2	18.8	0.4	0.0
	60歳代	233	54.5	3.0	0.0	30.9	10.3	0.9	0.4
	70歳代	286	69.6	1.4	0.3	17.1	5.9	3.1	2.4
	80歳以上	179	78.8	3.9	0.6	9.5	2.2	1.7	3.4
子の段階	子どもはいない	451	37.0	5.5	0.4	30.8	20.6	4.7	0.9
	0～2歳	71	42.3	7.0	0.0	36.6	9.9	4.2	0.0
	3～5歳	69	49.3	2.9	0.0	30.4	17.4	0.0	0.0
	6～11歳	137	35.8	2.2	0.0	49.6	11.7	0.0	0.7
	12～14歳	73	35.6	5.5	0.0	45.2	12.3	0.0	1.4
	15～17歳	80	41.3	5.0	0.0	40.0	13.8	0.0	0.0
	18歳以上	781	61.6	4.0	0.3	23.2	9.0	0.8	1.3

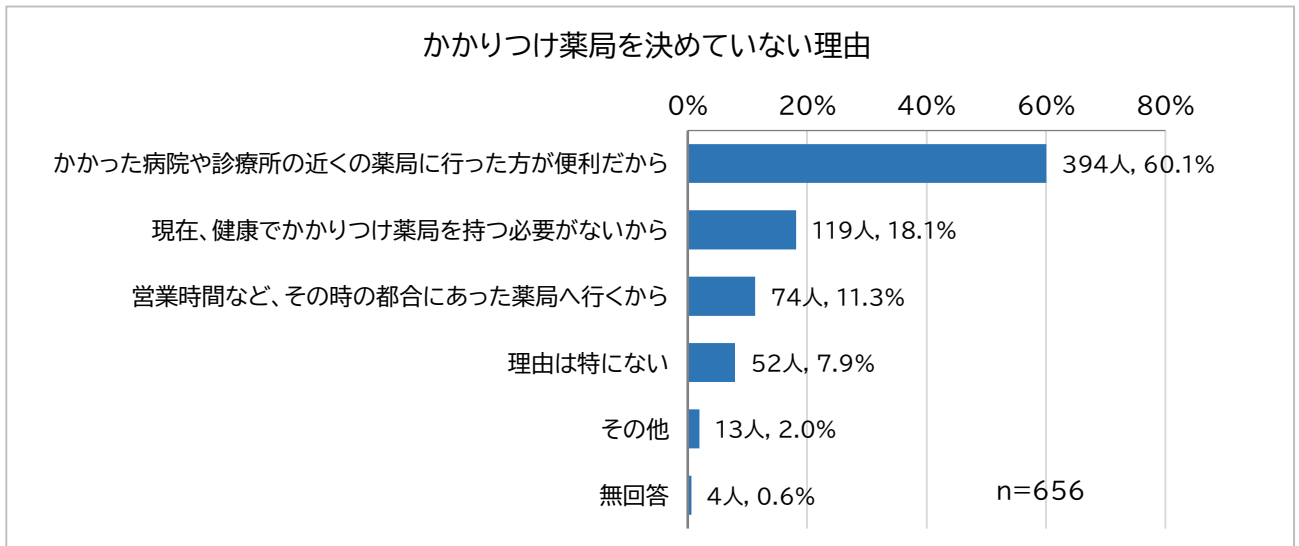
(3) かかりつけ薬局を決めていない理由

「かかった病院や診療所の近くの薬局に行った方が便利だから」が60.1%と最も多い

問 37 で「薬局を決めていないが～」 「薬局を決めておらず、～」 「薬局を決めておらず、～」 に○をつけた方

問 37-1 かかりつけ薬局を決めていない理由は何ですか。

- ・「薬局を決めていないが、手帳を活用している」、「薬局を決めておらず、手帳を活用していない」、「薬局を決めておらず、手帳は知らない」と答えた人にかかりつけ薬局を決めていない理由を聞いたところ、「かかった病院や診療所の近くの薬局に行った方が便利だから」が最も多く 60.1%、次いで「現在、健康でかかりつけ薬局を持つ必要がないから」(18.1%)、「営業時間など、その時の都合にあった薬局へ行くから」(11.3%)の順である。一方、「理由は特にない」は 7.9%である。
- ・その他記述では、「診療した医療機関によって薬局を決める等が挙げられている。



<年代別>

・かかりつけ薬局を決めていない理由を年代別にみると、いずれの年代も「かかった病院や診療所の近くの薬局に行った方が便利だから」が最も多い。20歳代以下では「現在、健康でかかりつけ薬局を持つ必要がないから」、80歳以上では「特に理由はない」の割合が高くなっている。

【年代別】かかりつけ薬局を決めていない理由

		合計	問37-1 かかりつけ薬局を決めていない理由					
			現在、健康で かかりつけ薬 局を持つ必要 がないから	かかった病院 や診療所の近 くの薬局に 行った方が便 利だから	営業時間な ど、その時の 都合にあった 薬局へ行くか ら	理由は特にな い	その他	無回答
全体		656	18.1	60.1	11.3	7.9	2.0	0.6
年代	20歳代以下	91	30.8	42.9	15.4	9.9	0.0	1.1
	30歳代	96	19.8	57.3	11.5	9.4	2.1	0.0
	40歳代	132	15.9	65.2	13.6	4.5	0.0	0.8
	50歳代	139	13.7	64.7	13.7	5.0	2.2	0.7
	60歳代	98	15.3	69.4	4.1	7.1	3.1	1.0
	70歳代	75	18.7	56.0	10.7	12.0	2.7	0.0
	80歳以上	24	12.5	54.2	0.0	20.8	12.5	0.0

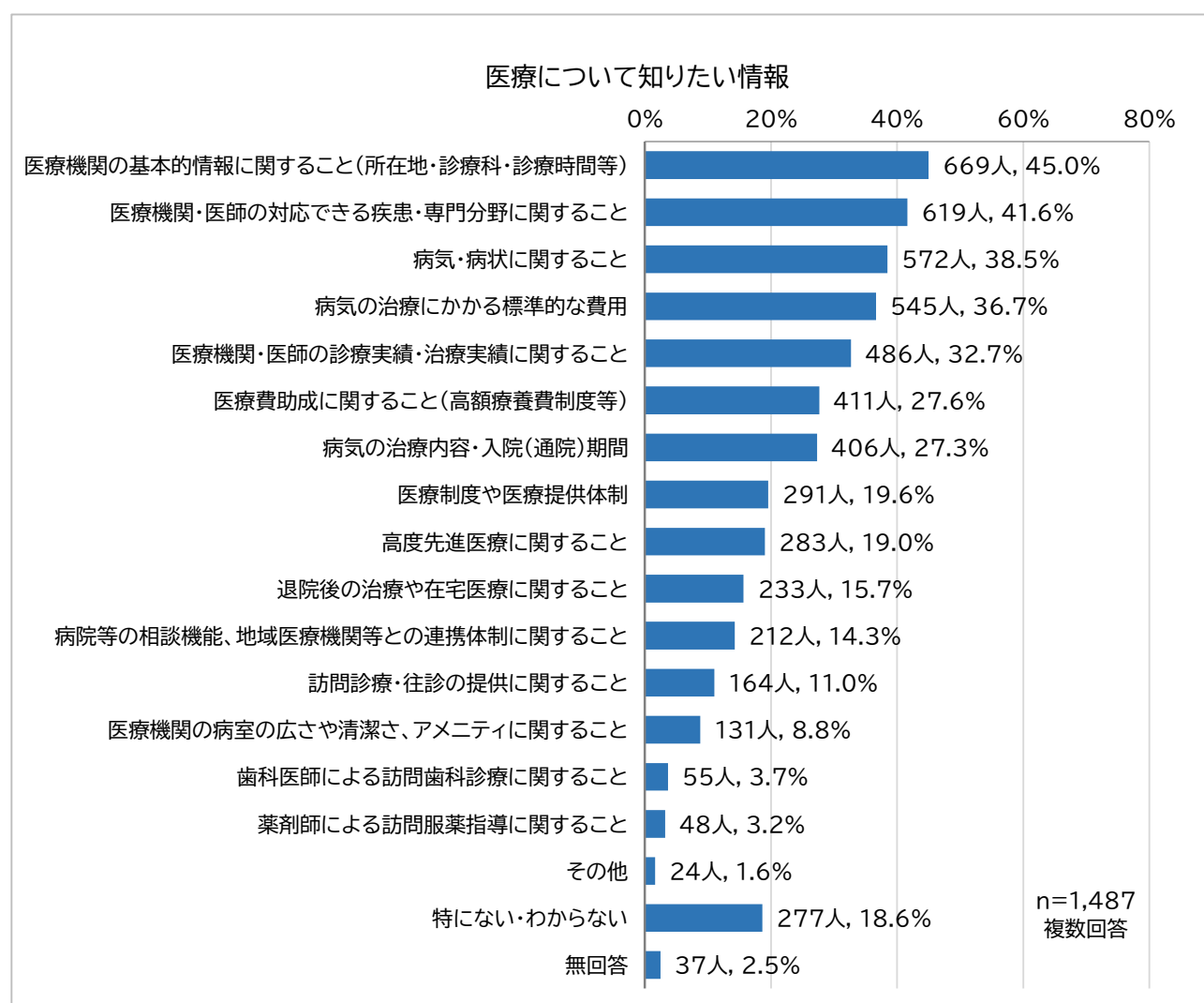
10. 医療への満足度と医療情報の提供について

(1) 医療について知りたい情報

「医療機関の基本的情報に関すること(所在地・診療科・診療時間等)」の割合が45.0%で最も多い

問 38 あなたが現在、医療について知りたい情報は何ですか。(複数回答)

・医療について知りたい情報を聞いたところ、「医療機関の基本的情報に関すること(所在地・診療科・診療時間等)」が最も多く45.0%、次いで「医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること」(41.6%)、「病気・病状に関すること」(38.5%)、「病気の治療にかかる標準的な費用」(36.7%)、と「医療機関・医師の診療実績・治療実績に関すること」(32.7%)の順である。



<年代別>

- ・医療について知りたい情報を年代別にみると、40歳代以下と60歳代では、「医療機関の基本的情報に関すること(所在地・診療科・診療時間等)」が最も多く、50歳代、70歳代では「医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること」が最も多い。80歳以上では「病気・病状に関すること」が最も多くなっている。

<高齢2区分別>

- ・「65～74歳」では「医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること」が最も多く、75歳以上では「病気・病状に関すること」が最も多くなっている。

<職業別>

- ・「主婦・主夫」で「医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること」が最も多く、その他の職業では「病気の治療にかかる標準的な費用」が最も多い。

<子の年代別>

- ・「15～17歳」の子を持つ人では「医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること」が最も多く、そのほかの子の段階では「医療機関の基本的情報に関すること(所在地・診療科・診療時間等)」が最も多い。「0～2歳」の子を持つ人で「医療費助成に関すること(高額療養費制度等)」の割合が高くなっている。

<家族形態別>

- ・「夫婦のみ」では「医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること」が最も多く、そのほかの家族形態では「医療機関の基本的情報に関すること(所在地・診療科・診療時間等)」が最も多い。

<慢性疾患等の定期的通院先別>

- ・慢性疾患等の定期的通院先別でみると、「市外の病院を受診している」、「市内の診療所(クリニック等)を受診している」、「市外の診療所(クリニック等)を受診している」では「医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること」が最も多く、「市内の病院を受診している」、「定期的には受診していない」では「医療機関の基本的情報に関すること(所在地・診療科・診療時間等)」が最も多い。

【年代・高齢2区分・職業・子の段階・家族形態・慢性疾患等の定期的通院先別】

現在、医療について知りたい情報

		問38 現在、医療について知りたい情報																				
		合計	(所在地・診療科・診療時間等)	医療機関に関する基本的情報に関すること	医療機関・医師の診療実績・治療実績に関すること	医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること	医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること	医療機関の病室の広さや清潔さ、アメニティに関すること	病気の病状に関すること	病気の治療内容・入院（通院）期間	病気の治療にかかる標準的な費用	医療制度や医療提供体制	医療費助成に関すること（高額療養費制度等）	高度先進医療に関すること	病院等の相談機能、地域医療機関等との連携体制に関すること	退院後の治療や在宅医療に関すること	訪問診療・住診の提供に関すること	歯科医師による訪問歯科診療に関すること	薬剤師による訪問服薬指導に関すること	その他	特になし・わからない	無回答
全体		1,487	45.0	32.7	41.6	8.8	38.5	27.3	36.7	19.6	27.6	19.0	14.3	15.7	11.0	3.7	3.2	1.6	18.6	2.5		
年代	20歳代以下	132	47.0	18.2	30.3	11.4	37.9	25.8	36.4	20.5	28.8	12.9	4.5	12.1	3.8	2.3	1.5	1.5	27.3	0.0		
	30歳代	150	54.7	30.7	38.0	8.0	38.0	21.3	39.3	23.3	32.7	19.3	8.7	9.3	4.7	4.0	2.7	2.7	21.3	0.0		
	40歳代	226	50.0	33.6	45.6	8.8	38.5	23.9	41.6	24.3	32.7	22.6	11.5	13.3	8.4	4.4	3.5	0.4	17.7	0.4		
	50歳代	276	48.9	40.2	51.8	12.7	36.2	30.4	42.0	23.6	25.7	23.9	17.8	15.9	10.5	3.6	4.7	2.2	18.1	1.1		
	60歳代	233	52.4	38.6	47.6	9.0	44.6	32.2	38.6	18.9	27.0	19.7	19.7	14.2	11.6	3.0	2.6	2.6	12.9	0.9		
	70歳代	286	36.4	33.9	39.5	6.6	38.8	29.4	30.4	16.1	24.1	17.5	16.1	19.6	13.3	2.4	2.8	1.0	16.8	4.2		
	80歳以上	179	27.4	23.5	27.4	4.5	34.1	22.9	26.8	10.1	25.1	12.8	13.4	21.2	20.7	6.1	3.9	1.1	22.9	10.1		
高齢2区分	65歳未満	880	50.9	33.8	44.2	10.5	38.0	26.6	39.9	22.6	28.9	20.6	12.8	13.2	7.6	3.6	3.4	1.8	19.4	0.5		
	65～74歳	283	45.9	37.8	46.3	7.4	44.9	33.6	38.5	20.5	28.3	19.8	18.7	18.4	14.1	2.8	1.4	1.4	12.4	2.1		
	75歳以上	319	27.9	25.7	30.1	5.3	34.2	23.5	25.7	10.3	23.5	14.1	13.8	19.7	17.2	4.4	4.4	1.3	22.3	8.2		
職業	自営業	70	41.4	27.1	34.3	5.7	37.1	20.0	32.9	14.3	27.1	25.7	14.3	11.4	7.1	4.3	2.9	1.4	21.4	4.3		
	会社員・公務員	491	50.1	35.8	45.0	8.6	38.7	25.7	36.7	22.6	27.5	19.6	11.8	11.4	5.9	2.9	2.4	1.6	17.7	0.4		
	パート・アルバイト	209	49.8	31.6	45.5	10.5	38.8	32.1	45.9	20.6	27.8	18.7	13.9	12.9	8.1	2.9	3.3	1.4	16.7	1.9		
	主婦・主夫	271	43.2	32.8	43.5	5.9	42.8	27.7	34.7	19.9	26.2	16.6	17.0	21.0	15.9	3.7	3.0	1.5	17.0	2.6		
	学生	55	47.3	16.4	29.1	10.9	41.8	21.8	30.9	16.4	23.6	16.4	3.6	14.5	7.3	5.5	1.8	0.0	29.1	0.0		
	無職	338	35.8	30.8	35.5	7.7	34.3	27.5	32.0	13.3	27.2	17.2	14.5	18.0	15.1	3.6	3.6	2.4	20.4	5.6		
	その他	50	48.0	42.0	46.0	26.0	36.0	34.0	50.0	34.0	42.0	32.0	32.0	28.0	26.0	12.0	10.0	0.0	16.0	4.0		
子の段階	子どもはいない	451	46.3	29.9	40.6	9.3	39.0	29.0	38.1	22.6	29.7	20.2	14.6	14.2	8.0	2.9	3.3	2.2	21.5	1.3		
	0～2歳	71	54.9	33.8	49.3	14.1	38.0	21.1	46.5	23.9	40.8	18.3	9.9	8.5	2.8	2.8	2.8	1.4	14.1	1.4		
	3～5歳	69	49.3	31.9	43.5	7.2	34.8	11.6	26.1	17.4	26.1	14.5	5.8	10.1	1.4	4.3	1.4	1.4	18.8	0.0		
	6～11歳	137	54.7	33.6	41.6	8.8	36.5	26.3	42.3	24.8	31.4	22.6	10.9	12.4	8.0	5.1	2.2	0.0	18.2	0.0		
	12～14歳	73	47.9	26.0	39.7	2.7	37.0	24.7	38.4	17.8	24.7	19.2	5.5	13.7	8.2	2.7	1.4	2.7	20.5	0.0		
	15～17歳	80	47.5	36.3	50.0	16.3	38.8	31.3	37.5	16.3	25.0	23.8	11.3	16.3	13.8	10.0	6.3	1.3	20.0	1.3		
	18歳以上	781	42.4	34.2	41.6	7.9	38.8	27.5	34.4	16.9	25.0	17.9	15.9	18.4	14.5	4.0	3.3	1.4	16.8	4.0		
家族形態	一人暮らし	199	34.2	30.2	31.7	5.5	32.7	26.1	29.6	14.6	25.6	14.1	15.6	14.6	10.1	1.0	2.0	1.5	22.6	3.5		
	夫婦のみ	422	45.0	35.8	46.0	8.3	40.3	28.4	33.9	21.6	27.0	20.6	16.4	16.1	12.8	3.1	2.4	0.9	16.6	3.3		
	親と子(2世代)	709	48.8	32.7	43.6	10.0	39.6	28.3	40.9	20.9	29.1	20.2	13.0	16.6	10.4	4.8	4.1	2.0	17.5	1.3		
	祖父母と親と子(3世代)	57	47.4	29.8	35.1	7.0	33.3	19.3	35.1	15.8	29.8	8.8	10.5	14.0	7.0	1.8	1.8	0.0	19.3	1.8		
	その他	83	41.0	26.5	33.7	12.0	41.0	25.3	33.7	15.7	24.1	21.7	14.5	9.6	12.0	4.8	2.4	3.6	28.9	3.6		
慢性的な病気のために最も日常的に受診している病院又は診療所	市内の病院を受診している	229	42.8	35.8	40.2	9.2	33.6	25.8	29.7	17.0	24.0	19.2	11.8	14.4	14.0	4.8	3.5	2.2	17.9	4.8		
	市外の病院を受診している	35	45.7	34.3	62.9	0.0	51.4	28.6	31.4	22.9	28.6	17.1	25.7	11.4	11.4	0.0	2.9	2.9	8.6	2.9		
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	378	38.6	35.7	41.5	9.3	39.4	32.3	39.2	19.8	29.1	20.9	16.1	19.6	15.6	4.8	2.9	1.3	18.0	1.9		
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	32	34.4	31.3	50.0	9.4	46.9	28.1	40.6	18.8	34.4	25.0	15.6	18.8	3.1	0.0	6.3	6.3	15.6	0.0		
	定期的には受診していない	732	51.1	30.6	41.8	8.9	39.5	26.0	38.8	20.1	28.0	18.0	12.8	13.9	8.1	3.1	3.1	1.5	19.7	1.0		

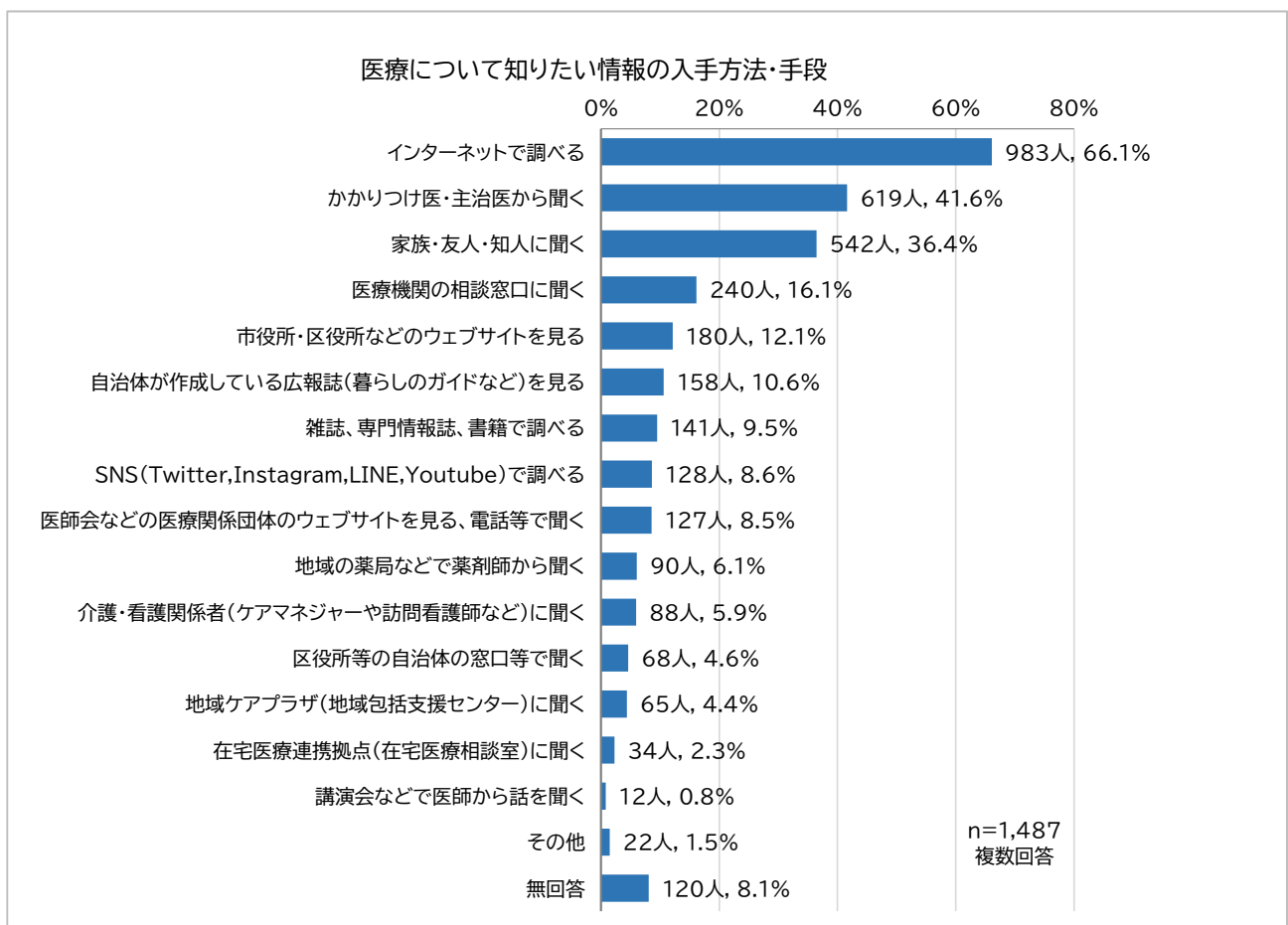
(2)医療について知りたい情報の入手方法・手段

「インターネットで調べる」の割合が66.1%と最も多い

年代が高くなるほど「インターネットで調べる」の割合が減少し、「かかりつけ医・主治医から聞く」が増加している

問 39 問 38 で○をつけた情報について、あなたは、どのような方法・手段で情報を知りたいと考えますか。(複数回答)

・医療について知りたい情報の入手方法を聞いたところ、「インターネットで調べる」が最も多く66.1%、次いで「かかりつけ医・主治医から聞く」(41.6%)、「家族・友人・知人に聞く」(36.4%)、「医療機関の相談窓口」に聞く」(16.1%)、「市役所・区役所などのウェブサイトを見る」(12.1%)等の順である。



<年代別>

・医療について知りたい情報の入手方法を年代別にみると、60歳代以下では、「インターネットで調べる」が最も多く、70歳代以上では「かかりつけ医・主治医から聞く」が最も多い。30歳代以下では「SNSで調べる」の割合が高く、80歳以上では「介護・看護関係者(ケアマネジャーや訪問看護師など)に聞く」の割合が高くなっている。

<職業別>

・職業別では、「無職」で「かかりつけ医・主治医から聞く」が最も多く、その他の職業では「インターネットで調べる」が最も多く、「会社員・公務員」、「学生」では特にその割合が高い。「主婦・主夫」で「かかりつけ医・主治医から聞く」、「学生」で「SNSで調べる」の割合が高くなっている。

<慢性疾患等の定期的通院先別>

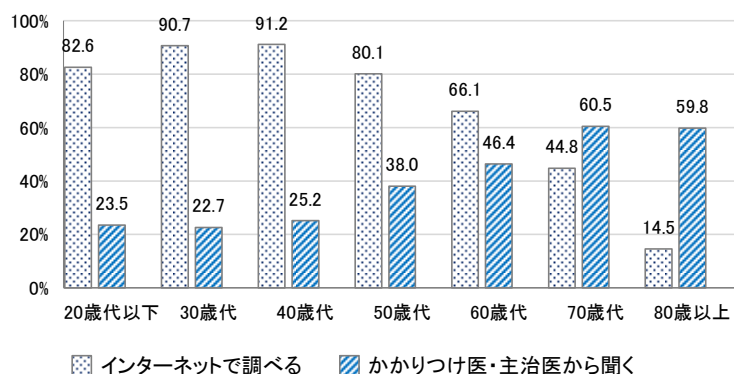
・慢性疾患等の定期的通院先別でみると、「市内の病院を受診している」、「市内の診療所(クリニック等)を受診している」では「かかりつけ医・主治医から聞く」が最も多く、「市外の病院を受診している」「市外の診療所(クリニック等)を受診している」、「定期的には受診していない」では「インターネットで調べる」が最も多くなっている。

【年代・職業・慢性疾患等の定期的通院先別】

医療について知りたい情報の入手方法

		問39 医療について知りたい情報を集める方法・手段																			
		合計	雑誌、専門情報誌、書籍で調べる	自治体などが作成している広報誌(暮らしのガイドなど)を見る	市役所・区役所などのウェブサイトを調べる	医師会などの医療関係団体のウェブサイトを見る、電話等で聞く	インターネットで調べる	SNS(LINE, YouTube)で調べる	SNS(Twitter, Instagram, YouTube)	講演会などで医師から話を聞く	かかりつけ医・主治医から聞く	医療機関の相談窓口に行く	地域の薬局などで薬剤師から聞く	看護師などに聞く	介護・看護関係者(ケアマネジャーや訪問看護師など)に聞く	区役所等の自治体の窓口等で聞く	地域ケアプラザ(地域包括支援センター)に行く	家族・友人・知人に聞く	在宅医療連携拠点(在宅医療相談室)に行く	その他	無回答
全体		1487	9.5	10.6	12.1	8.5	66.1	8.6	0.8	41.6	16.1	6.1	5.9	4.6	4.4	36.4	2.3	1.5	8.1		
年代	20歳代以下	132	7.6	6.1	12.1	12.1	82.6	22.7	0.0	23.5	12.9	3.0	2.3	1.5	3.0	34.1	3.0	3.0	3.8		
	30歳代	150	5.3	4.0	11.3	10.7	90.7	20.7	0.0	22.7	7.3	3.3	0.7	2.7	29.3	0.7	1.3	4.0			
	40歳代	226	7.5	7.1	13.7	7.1	91.2	10.6	0.0	25.2	10.6	1.3	1.8	4.0	1.3	35.8	1.3	0.9	2.7		
	50歳代	276	11.6	8.3	16.7	12.3	80.1	8.0	1.1	38.0	17.4	5.1	5.1	3.3	4.7	42.8	0.7	1.1	6.5		
	60歳代	233	11.6	9.4	11.6	4.7	66.1	6.0	0.0	46.4	17.2	5.6	5.2	5.2	4.3	39.9	1.7	1.7	9.0		
	70歳代	286	11.5	19.2	10.1	8.4	44.8	1.7	2.1	60.5	22.7	11.5	6.6	8.7	6.6	37.1	3.5	0.7	10.1		
	80歳以上	179	7.3	15.1	7.3	5.6	14.5	1.1	1.7	59.8	17.9	10.1	19.6	5.6	6.1	30.2	5.0	2.8	19.0		
職業	自営業	70	10.0	15.7	10.0	7.1	68.6	18.6	1.4	37.1	11.4	5.7	2.9	2.9	7.1	32.9	2.9	0.0	12.9		
	会社員・公務員	491	9.8	6.1	16.1	11.0	87.2	12.6	0.2	28.9	12.6	2.6	2.2	3.5	34.6	1.2	1.6	3.1			
	パート・アルバイト	209	8.6	7.7	11.0	6.7	71.3	6.7	0.5	38.3	17.2	7.2	3.3	1.9	2.4	41.6	1.4	1.0	7.7		
	主婦・主夫	271	10.0	16.2	8.9	5.5	55.7	3.3	1.5	51.7	19.2	6.6	7.0	5.5	4.1	39.9	2.2	0.7	10.0		
	学生	55	3.6	3.6	7.3	10.9	83.6	27.3	0.0	29.1	12.7	3.6	3.6	0.0	3.6	38.2	1.8	3.6	5.5		
	無職	338	9.8	13.6	10.1	7.1	37.6	3.0	1.2	57.4	19.5	9.8	12.1	8.6	6.5	33.4	3.8	2.1	12.7		
	その他	50	10.0	14.0	14.0	16.0	66.0	10.0	2.0	40.0	18.0	8.0	8.0	14.0	4.0	40.0	6.0	2.0	12.0		
慢性の病気のために最も日常的に受診している病院又は診療所	市内の病院を受診している	229	7.9	14.0	8.7	10.9	47.6	3.9	1.7	54.6	17.5	7.4	10.5	5.2	6.6	30.6	0.9	2.2	10.9		
	市外の病院を受診している	35	20.0	2.9	14.3	2.9	60.0	8.6	2.9	54.3	14.3	11.4	0.0	2.9	8.6	42.9	2.9	0.0	8.6		
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	378	10.3	13.8	11.1	7.4	53.2	4.0	1.3	60.3	19.3	10.1	9.5	6.1	6.1	38.6	4.5	1.3	8.5		
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	32	15.6	15.6	12.5	9.4	65.6	3.1	0.0	46.9	12.5	6.3	6.3	0.0	9.4	28.1	3.1	3.1	3.1		
	定期的には受診していない	732	9.2	8.1	13.9	9.2	80.5	13.4	0.3	27.2	14.9	2.7	2.3	3.6	2.6	38.4	1.5	1.4	5.9		

年代別医療について知りたい情報を集める方法・手段



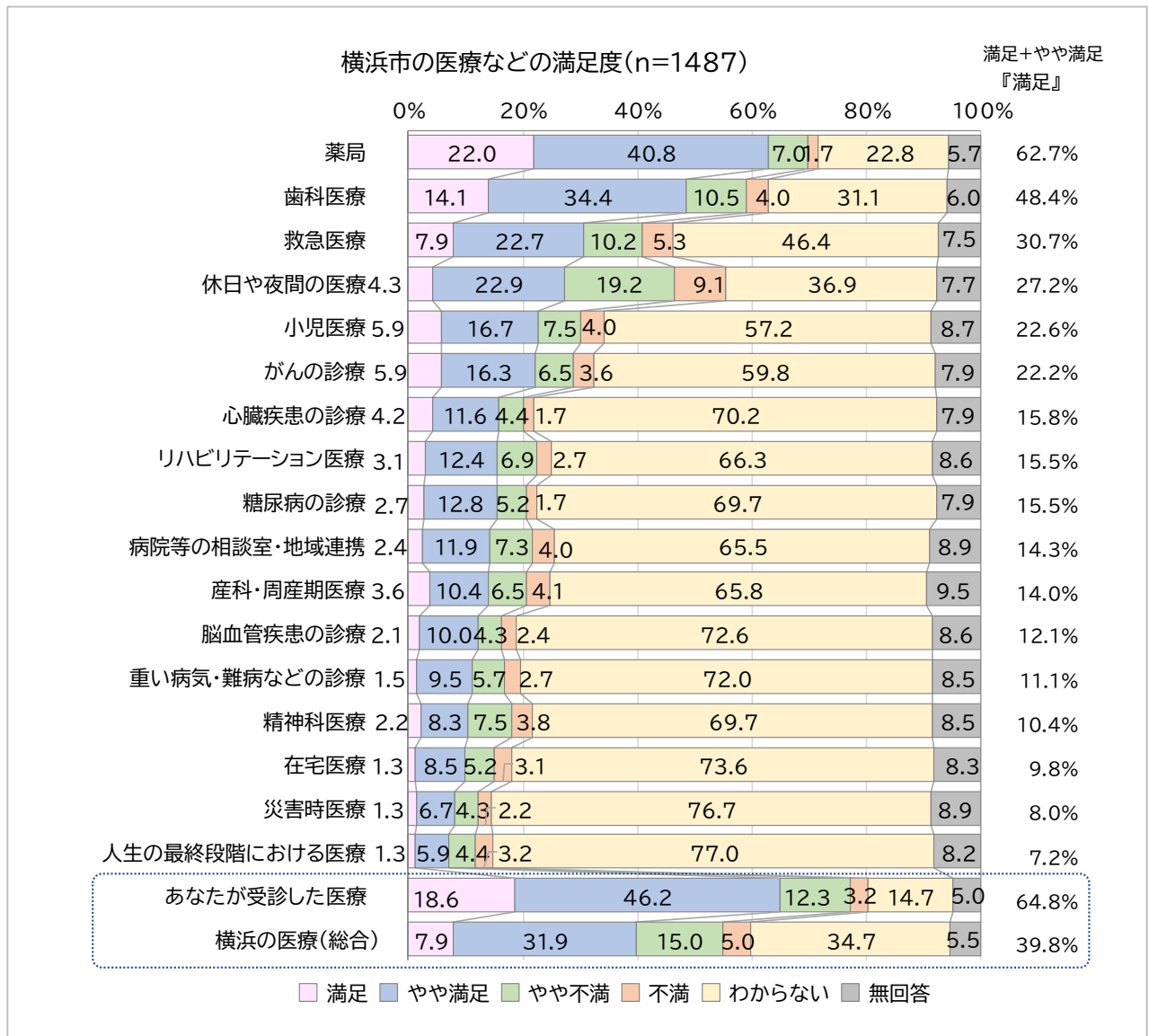
(3) 横浜市の医療等の満足度

“満足”の割合は、「あなたが受診した医療」が64.8%と高く、「横浜市の医療について(総合的に)」は39.8%となっている

個別の医療については、「薬局」(62.7%)、「歯科医療」(48.4%)、「救急医療」(30.7%)の順に高い

問 40 横浜市の医療などに満足していますか。

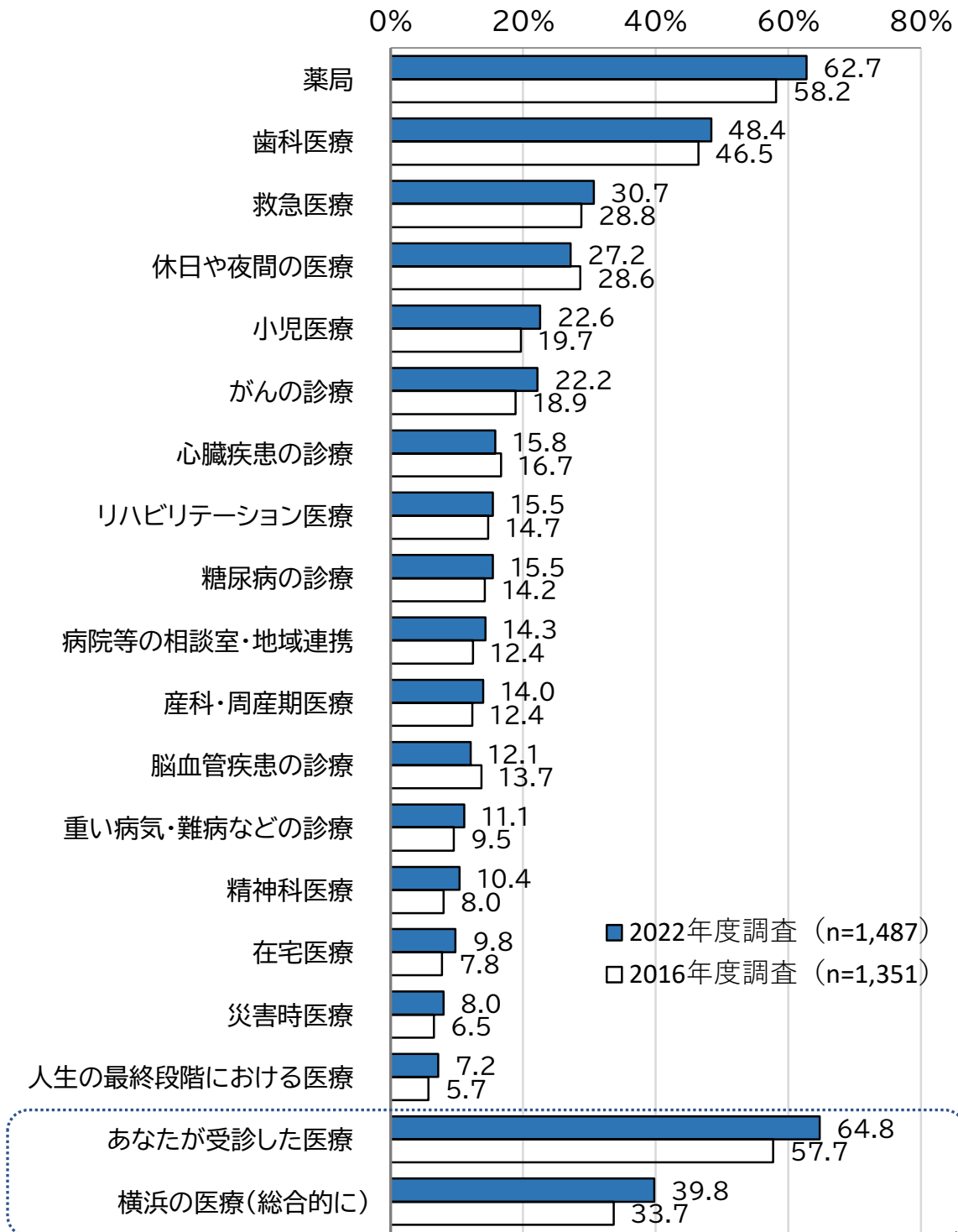
- ・「満足」と「やや満足」を合わせた割合を“満足”とすると、「あなたが受診した医療」の“満足”が64.8%と高く、「横浜の医療(総合)」は39.8%である。
- ・個別の医療について満足度(“満足”)をみると、「薬局」が62.7%で最も高く、次いで「歯科医療」(48.4%)、「救急医療」(30.6%)、「休日や夜間の医療」(27.2%)、「小児医療」(22.6%)、「がんの治療」(22.2%)等の順である。



【過去調査との比較】

・横浜市の医療などの“満足度”（「満足」+「やや満足」）について 2016 年調査と比較をしてみると、「あなたが受診した医療」では 7.1 ポイント、「横浜の医療（総合的に）」では 6.1 ポイント増加している。また、ほとんどの個別の医療の項目でも“満足度”に増加傾向がみられる。

横浜市の医療などの『満足度』（「満足」+「やや満足」）



<年齢別>

・年代別にみると、50 歳代以下では「わからない」が最も多く、60 歳代以上は「やや満足」の割合が最も高い。

<職業別>

・職業別では、「自営業」、「主婦・主夫」、「無職」は「やや満足」の割合が最も高く、「会社員・公務員」「パート・アルバイト」「学生」は「わからない」の割合が最も多く、「学生」はその割合が高くなっている。

<子の段階別>

・子の段階別では、「0～2 歳」、「12～14 歳」、「18 歳以上」は「やや満足」が最も多く、それ以外の段階では「わからない」が最も多くなっている。

<家族携帯別>

・家族形態別では、「夫婦のみ」では「やや満足」が最も多く、それ以外の家族構成では「わからない」が最も多くなっている。

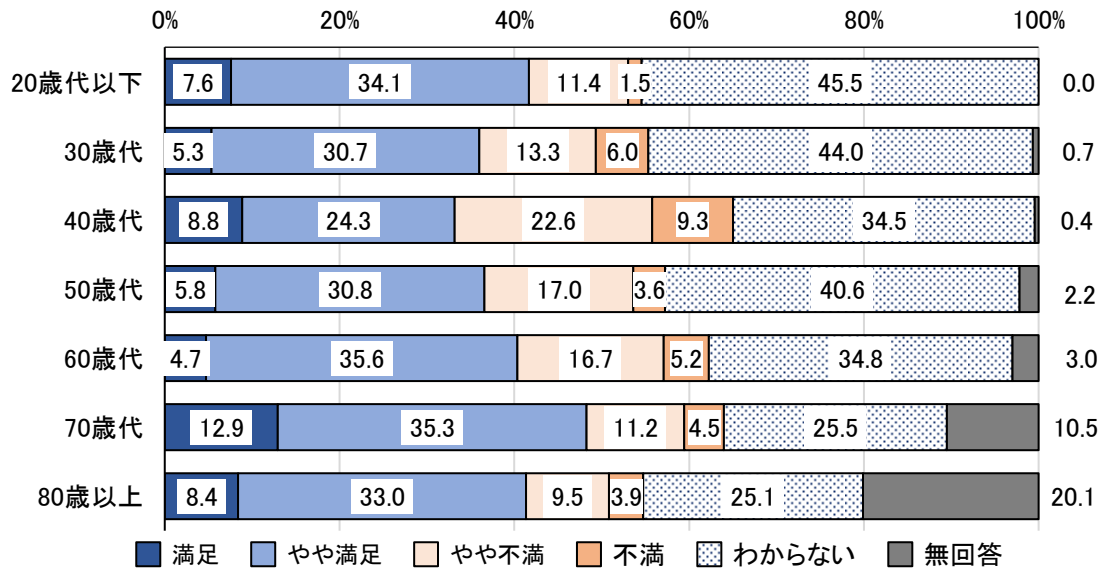
<慢性疾患等の定期的通院先別>

・慢性疾患等の定期的通院先別では、「市内の病院を受診している」、「市内の診療所(クリニック)を受診している」では「やや満足」が最も多く、「市外の病院を受診している」、「市外の診療所(クリニック)を受診している」、「定期的には受診していない」では「わからない」が最も多くなっている。

【年代・職業・子の段階・家族形態・慢性疾患等の定期的通院先別】横浜市の医療等の満足度

		合計	問40_19横浜の医療について(総合的に)					
			満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
全体		1,487	7.9	31.9	15.0	5.0	34.7	5.5
年代	20歳代以下	132	7.6	34.1	11.4	1.5	45.5	0.0
	30歳代	150	5.3	30.7	13.3	6.0	44.0	0.7
	40歳代	226	8.8	24.3	22.6	9.3	34.5	0.4
	50歳代	276	5.8	30.8	17.0	3.6	40.6	2.2
	60歳代	233	4.7	35.6	16.7	5.2	34.8	3.0
	70歳代	286	12.9	35.3	11.2	4.5	25.5	10.5
	80歳以上	179	8.4	33.0	9.5	3.9	25.1	20.1
職業	自営業	70	8.6	30.0	24.3	4.3	27.1	5.7
	会社員・公務員	491	7.5	29.1	17.1	4.5	40.7	1.0
	パート・アルバイト	209	7.7	29.7	16.7	8.1	34.9	2.9
	主婦・主夫	271	6.3	36.2	14.4	4.8	29.9	8.5
	学生	55	10.9	36.4	7.3	0.0	45.5	0.0
	無職	338	9.8	34.3	10.4	4.1	29.3	12.1
	その他	50	4.0	28.0	18.0	8.0	36.0	6.0
子の段階	子どもはいない	451	8.2	30.8	13.5	3.5	40.8	3.1
	0～2歳	71	5.6	36.6	19.7	4.2	32.4	1.4
	3～5歳	69	5.8	24.6	21.7	2.9	44.9	0.0
	6～11歳	137	5.1	32.1	18.2	10.9	33.6	0.0
	12～14歳	73	6.8	35.6	17.8	9.6	30.1	0.0
	15～17歳	80	7.5	28.8	21.3	7.5	32.5	2.5
	18歳以上	781	8.2	32.5	14.5	5.0	31.4	8.5
家族形態	一人暮らし	199	7.5	30.7	11.6	5.5	35.2	9.5
	夫婦のみ	422	8.1	34.4	14.0	4.5	32.5	6.6
	親と子(2世代)	709	7.5	32.2	16.6	5.6	35.1	3.0
	祖父母と親と子(3世代)	57	10.5	31.6	12.3	5.3	33.3	7.0
	その他	83	9.6	24.1	16.9	1.2	44.6	3.6
慢性的な病気のために最も日常的に受診している病院又は診療所	市内の病院を受診している	229	10.9	35.4	14.0	4.4	25.8	9.6
	市外の病院を受診している	35	2.9	20.0	17.1	11.4	37.1	11.4
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	378	9.5	36.0	12.7	5.0	30.4	6.3
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	32	6.3	37.5	6.3	6.3	40.6	3.1
	定期的には受診していない	732	6.7	30.2	16.8	4.8	39.5	2.0

【年代別】横浜の医療について(総合的に)



・それぞれの項目を比率でみるのとは別に、加重平均による満足度の算出を試みた。下式にあるように項目に点数を与え、満足度を算出した。

<評価点の算出式>

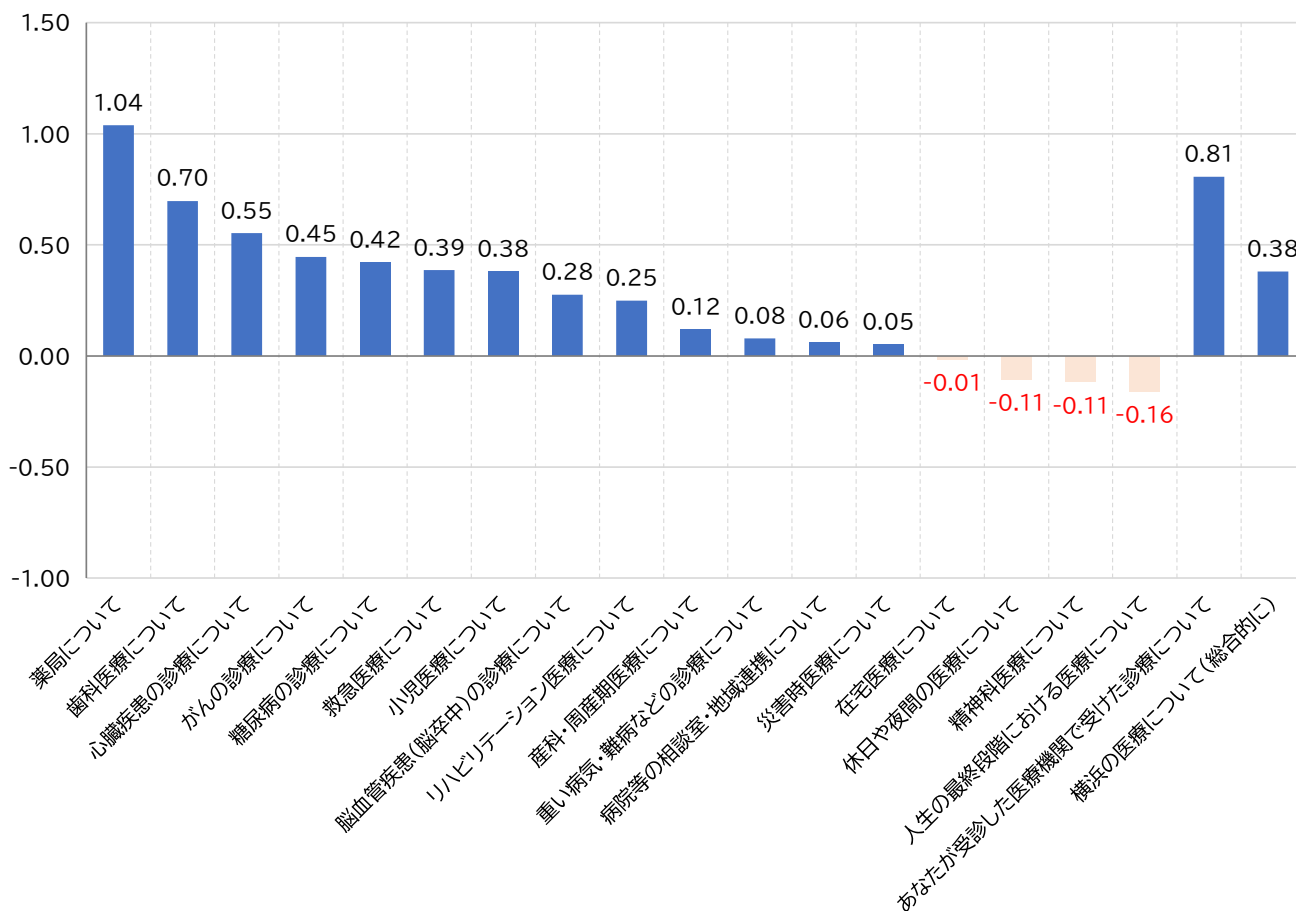
$$\begin{aligned}
 &+「満 足」の回答数 \times +2 \text{ 点} \\
 &+「やや満足」の回答数 \times +1 \text{ 点} \\
 &+「やや不満」の回答数 \times -1 \text{ 点} \\
 &+「不 満」の回答数 \times -2 \text{ 点}
 \end{aligned}$$

$$\text{満足度} = \frac{\text{上記の合計}}{\text{母数 } 1,487 - (\text{「関わったことがないのでわからない」} + \text{「無回答」})}$$

この算出方法による満足度は、+2.00 点から-2.00 点の間に分布し、中間点の 0.00 点を境に、+2.00 点に近いほど満足度が高く、-2.00 に近いほど満足度が低い(不満足度が高い)ことになる。

- ・「あなたが受診した医療機関で受けた診療について」は 0.81、「横浜の医療について(総合的に)」は 0.38 である。
- ・各項目の評価点でみると、「薬局について」の評価点が 1.04 で最も高く、次いで「歯科医療について」(0.70)、「心臓疾患の診療について」(0.55)等の順である。
- ・一方、「人生の最終段階における医療について」の評価点が-0.16 で最も低く、次いで「精神科医療について」と「休日や夜間の医療について」が-0.11、「在宅医療について」が-0.01 とマイナス評価である。

横浜市の医療などの満足度指数(n=1487)

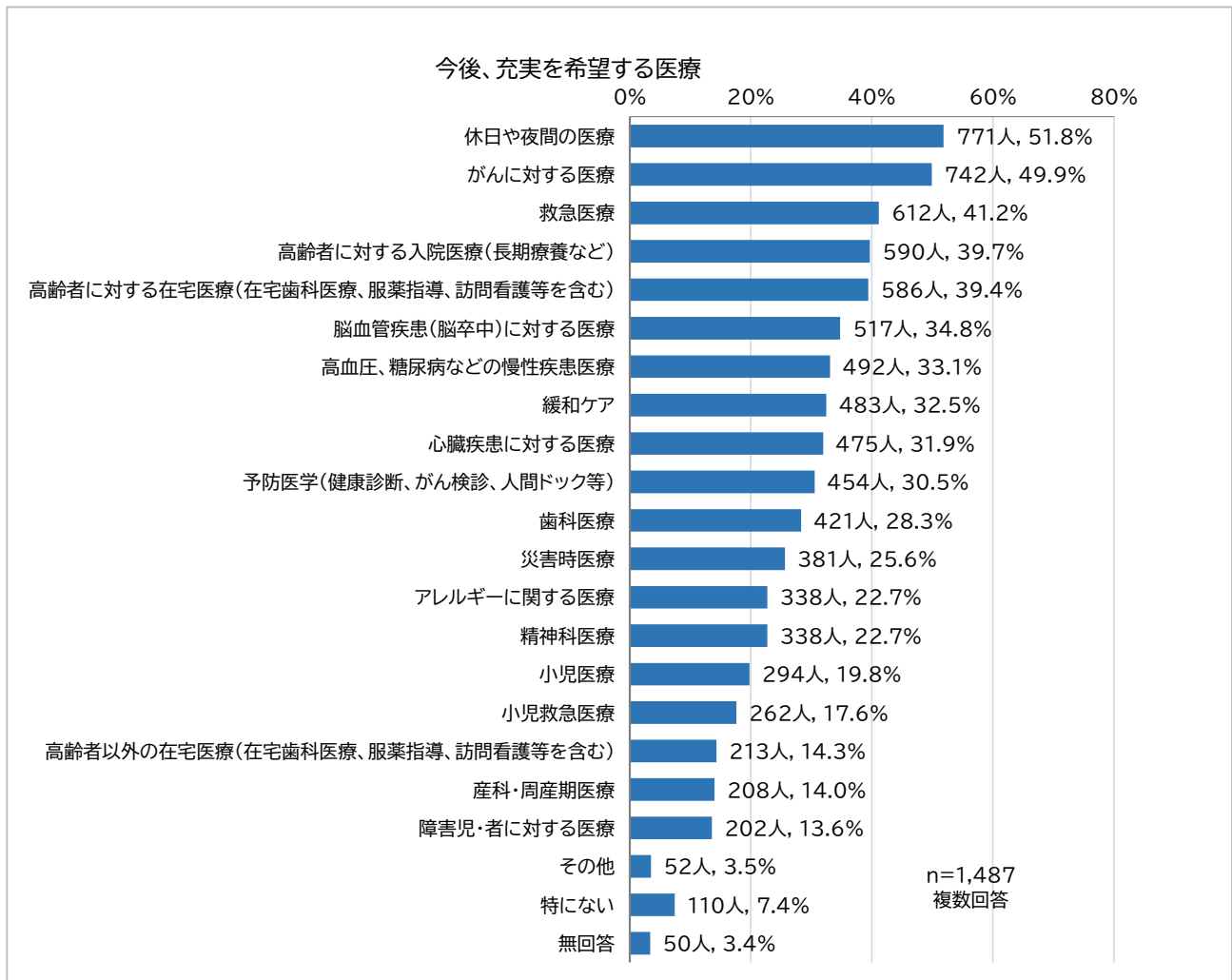


(4) 今後、充実を希望する医療

「休日や夜間の医療」(51.8%)と「がんに対する医療」(49.9%)が拮抗している

問 41 あなたが、今後、充実を希望する医療は何ですか。(複数回答)

・今後、充実を希望する医療を聞いたところ、「休日や夜間の医療」が最も多く 51.8%、次いで「がんに対する医療」(49.9%)、「救急医療」(41.2%)、「高齢者に対する入院医療(長期療養など)」(39.7%)、「高齢者に対する在宅医療(在宅歯科医療、服薬指導、訪問看護等を含む)」(39.4%)等の順である。



～用語解説～

○緩和ケア

生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族のクオリティ・オブ・ライフ(QOL:生活の質)を、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通して向上させるアプローチ。※WHO(世界保健機関)による緩和ケアの定義(2002)

<年齢別>

- ・今後充実を希望する医療を年代別にみると、40 歳代以下は「休日や夜間の医療」、50 歳代は「がんに対する医療」、60 歳代は「休日や夜間の医療」、70 歳代は「高齢者に対する入院医療」、80 歳以上は「高齢者に対する在宅医療」「高齢者に対する入院医療」がそれぞれ最も多くなっている。30 歳代以下では「産科・周産期医療」、30 歳代、40 歳代では「小児医療」、60 歳代では「災害時医療」、「緩和ケア」、70 歳代では「高齢者に対する在宅医療」、80 歳以上では「高血圧、糖尿病などの慢性疾患医療」の割合が高くなっている。

<高齢 2 区分別>

- ・「65～74 歳」では「がんに対する医療」、75 歳以上では「高齢者に対する入院医療」が最も多い。

<性別>

- ・性別でみると、男性は「がんに対する医療」を、女性は「休日や夜間の医療」が最も多くなっている。

<職業別>

- ・職業別にみると、「自営業」、「学生」、「その他」では「がんに対する医療」、「会社員・公務員」「パート・アルバイト」、「主婦・主夫」では「休日や夜間の医療」、「無職」では「高齢者に対する入院医療」がそれぞれ最も多くなっている。「パート・アルバイト」では「救急医療」、「予防医学」、「主婦・主夫」では「高齢者に対する在宅医療」、「緩和ケア」の割合が高くなっている。

<子の段階別>

- ・子の段階別にみると、「子どもはいない」、「0～2 歳」、「12 歳以上」の子がいる人では「休日や夜間の医療」、「0～11 歳」の子がいる人では「小児医療」が最も多くなっている。「0～2 歳」の子がいる人では「産科・周産期医療」、「小児救急医療」、「3～5 歳」の子がいる人では「救急医療」、「産科・周産期医療」、「小児救急医療」、「6～11 歳」の子がいる人では「小児救急医療」の割合が高くなっている。「18 歳以上」の子がいる人では「高齢者に対する入院医療」の割合が高くなっている。

<家族形態別>

- ・家族形態別にみると、いずれも「休日や夜間の医療」が最も多く、「親と子(2 世代)」では「がんに対する医療」も多い。

<慢性疾患等の定期的通院先別>

- ・慢性疾患等の定期的通院先別にみると、「市内の病院を受診している」では「がんに対する医療」が、「市外の病院を受診している」、「市内の診療所(クリニック等)を受診している」、「定期的には受診していない」では「休日や夜間の医療」が、「市外の診療所(クリニック等)を受診している」では「高齢者に対する入院医療」がそれぞれ最も多くなっている。「市内の病院を受診している」では「高血圧、糖尿病などの慢性疾患医療」が、「市内の診療所(クリニック等)を受診している」では「高齢者に対する在宅医療」、「高齢者に対する入院医療」、「緩和ケア」の割合が高くなっている。

【年代・高齢2区分・性・職業・子の段階・家族形態・慢性疾患等の定期的通院先別】

今後充実を希望する医療

		合計	問41 今後、充実を希望する医療																					
			がんに対する医療	脳血管疾患に対する医療	心臓疾患に対する医療	どの慢性疾患医療	高血圧、糖尿病などに関する医療	アレルギーに関する医療	精神科医療	障害児・者に対する医療	歯科医療	救急医療	休日や夜間の医療	災害時医療	産科・周産期医療	小児医療	小児救急医療	在宅医療	高齢者に対する在宅医療	高齢者に対する入院医療	緩和ケア	予防医学	医療者以外の在宅	その他
全体		1,487	49.9	34.8	31.9	33.1	22.7	22.7	13.6	28.3	41.2	51.8	25.6	14.0	19.8	17.6	39.4	39.7	32.5	30.5	14.3	3.5	7.4	3.4
年代	20歳代以下	132	42.4	25.8	25.0	21.2	26.5	25.8	15.9	28.0	32.6	47.0	16.7	26.5	23.5	18.9	16.7	14.4	17.4	28.0	9.1	0.0	13.6	0.8
	30歳代	150	40.7	20.0	17.3	22.7	25.3	19.3	14.7	30.0	37.3	48.7	16.7	30.0	39.3	34.7	15.3	14.7	12.0	25.3	9.3	1.3	10.0	4.7
	40歳代	226	50.9	33.6	28.3	25.2	23.5	28.3	15.0	35.0	42.5	58.8	21.7	15.5	34.5	26.1	30.1	29.2	33.6	35.4	16.4	4.0	4.4	1.3
	50歳代	276	53.3	31.9	30.1	35.5	27.2	30.8	15.2	35.5	45.3	52.9	29.0	13.0	18.1	16.7	39.5	39.5	33.7	31.5	17.4	7.2	8.0	2.9
	60歳代	233	58.4	42.5	40.3	33.5	24.9	22.7	16.3	28.8	51.1	60.1	37.8	13.3	16.7	17.6	48.5	46.8	43.8	31.3	19.7	4.7	3.4	2.6
	70歳代	286	51.0	42.3	39.2	39.5	16.4	16.8	10.5	18.9	38.5	47.2	25.5	5.6	8.4	9.4	51.0	56.3	38.8	34.3	13.6	1.7	5.9	5.6
	80歳以上	179	43.0	38.0	34.6	44.7	16.8	13.4	7.8	21.8	33.0	43.6	24.6	5.6	7.3	6.7	56.4	56.4	31.8	22.3	9.5	2.8	11.2	5.0
	65歳未満	880	49.7	31.3	28.2	28.5	26.0	27.2	15.6	33.2	42.5	54.2	24.4	19.2	27.0	23.0	30.3	29.9	29.0	31.5	14.8	4.1	7.6	2.4
高齢2区分	65～74歳	283	56.2	41.7	38.2	36.7	21.6	19.4	13.8	23.3	42.8	54.4	31.1	7.8	12.0	13.4	51.6	51.2	42.4	34.6	18.0	2.8	5.7	2.8
	75歳以上	319	44.5	38.6	37.0	41.7	14.4	13.5	7.8	19.1	35.4	42.6	24.5	5.3	6.9	6.9	53.0	56.1	32.9	24.5	10.0	2.5	8.5	6.6
	合計	638	51.7	35.1	34.3	33.5	16.8	21.5	10.3	29.3	38.2	49.1	22.4	8.9	17.1	15.8	35.7	37.9	24.6	26.8	11.8	3.0	9.9	2.7
性	女性	837	48.5	34.6	30.2	32.7	27.1	23.8	15.9	27.6	43.2	54.1	17.8	21.7	19.0	42.3	41.1	38.4	33.3	16.2	3.8	5.5	2.8	
	回答しない	6	50.0	33.3	33.3	33.3	50.0	16.7	33.3	16.7	50.0	50.0	66.7	16.7	16.7	16.7	50.0	50.0	66.7	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	合計	70	54.3	28.6	25.7	28.6	18.6	24.3	11.4	21.4	38.6	42.9	17.1	10.0	20.0	14.3	35.7	47.1	40.0	27.1	14.3	2.9	11.4	1.4
職業	自営業	491	48.9	28.7	26.3	26.5	20.8	23.2	12.4	33.2	40.7	55.2	20.8	18.3	26.1	22.6	29.3	26.1	23.0	28.1	12.0	2.6	6.5	2.2
	会社員・公務員	209	53.6	39.2	35.4	33.0	27.3	24.9	16.7	32.1	51.7	60.3	33.0	16.3	23.0	21.5	41.1	44.5	39.2	42.1	20.6	6.2	6.7	2.9
	パート・アルバイト	271	52.4	41.7	35.1	38.7	29.2	23.2	18.5	25.1	44.6	53.1	33.2	15.5	21.0	18.5	50.2	48.7	43.2	33.9	16.2	3.3	4.8	3.3
	主婦・主夫	55	43.6	29.1	30.9	25.5	30.9	27.3	12.7	29.1	34.5	40.0	23.6	16.4	25.5	18.2	16.4	16.4	16.4	25.5	14.5	0.0	16.4	1.8
	学生	338	45.9	35.2	34.3	38.8	17.8	17.8	9.5	21.0	33.7	44.7	24.0	5.3	7.7	8.6	48.2	49.1	34.0	24.0	10.9	3.8	9.2	6.5
	無職	50	58.0	48.0	48.0	42.0	18.0	30.0	14.0	40.0	44.0	52.0	24.0	14.0	12.0	12.0	42.0	54.0	34.0	40.0	20.0	4.0	4.0	0.0
	その他	451	47.2	29.3	27.3	27.3	22.8	24.8	12.6	30.4	34.8	47.7	22.6	15.1	12.6	12.2	33.5	31.7	28.8	29.9	13.3	3.3	10.4	2.4
	子の段階	子どもはいない	71	40.8	18.3	15.5	19.7	22.5	14.1	12.7	19.7	40.8	50.7	11.3	31.0	50.7	43.7	12.7	14.1	9.9	22.5	2.8	0.0	7.0
0～2歳		69	55.1	31.9	30.4	29.0	31.9	21.7	20.3	37.7	55.1	58.0	24.6	30.4	63.8	56.5	21.7	21.7	23.2	33.3	13.0	1.4	4.3	2.9
3～5歳		137	49.6	28.5	26.3	30.7	24.1	24.8	18.2	32.1	43.8	54.0	19.7	21.9	56.2	42.3	23.4	21.2	24.8	29.9	12.4	2.2	5.8	2.2
6～11歳		73	49.3	30.1	21.9	27.4	16.4	30.1	16.4	31.5	43.8	60.3	19.2	19.2	42.5	27.4	19.2	30.1	27.4	27.4	13.7	2.7	8.2	2.7
12～14歳		80	55.0	35.0	25.0	28.8	21.3	32.5	22.5	36.3	46.3	56.3	26.3	21.3	33.8	22.5	40.0	42.5	35.0	38.8	13.8	1.3	3.8	1.3
15～17歳		781	52.0	40.6	37.5	39.2	22.0	21.0	13.2	26.5	43.4	53.1	29.4	10.5	13.7	13.7	48.7	49.8	38.0	31.4	15.9	4.1	6.0	3.7
18歳以上		199	42.2	27.1	25.1	29.6	16.6	20.6	12.6	23.1	30.7	43.7	22.1	9.0	11.1	11.1	37.2	36.2	31.7	24.6	9.0	2.0	10.6	4.5
家族形態	一人暮らし	422	48.8	39.3	38.4	35.5	23.5	19.2	11.4	26.1	43.1	51.7	29.6	11.8	12.1	13.5	46.9	46.7	40.5	32.0	17.3	4.3	5.7	2.6
	夫婦のみ	709	54.3	34.7	30.9	32.3	24.3	24.4	15.4	30.3	42.9	54.3	25.1	16.9	27.8	22.0	36.2	37.4	29.1	32.4	14.7	3.9	5.9	3.1
	親と子(2世代)	57	40.4	28.1	26.3	33.3	22.8	24.6	10.5	31.6	45.6	57.9	19.3	17.5	22.8	22.8	40.4	38.6	26.3	21.1	8.8	0.0	12.3	1.8
	祖父母と親と子(3世代)	83	45.8	36.1	30.1	33.7	25.3	33.7	15.7	34.9	39.8	49.4	25.3	12.0	13.3	16.9	34.9	33.7	30.1	30.1	14.5	2.4	14.5	6.0
	その他	229	48.9	35.8	37.1	45.9	17.9	22.3	10.5	23.6	40.2	45.4	22.7	7.9	13.5	14.4	43.2	43.2	29.7	24.9	13.5	2.6	8.7	5.2
慢性の病気の ために最も日常 的に受診している 病院又は診療所	市内の病院を受診している	35	57.1	37.1	34.3	40.0	31.4	22.9	14.3	22.9	48.6	65.7	22.9	14.3	14.3	14.3	28.6	34.3	28.6	22.9	14.3	8.6	0.0	5.7
	市外の病院を受診している	378	50.3	39.2	34.1	39.9	23.0	23.3	14.3	25.1	41.8	54.8	28.8	10.1	13.8	13.0	52.1	51.9	43.1	32.0	13.0	3.2	5.3	2.9
	市内の診療所(クリニック等)を受診している	32	43.8	28.1	28.1	40.6	9.4	28.1	6.3	21.9	40.6	50.0	15.6	12.5	9.4	9.4	43.8	56.3	28.1	25.0	9.4	12.5	12.5	3.1
	市外の診療所(クリニック等)を受診している	732	49.7	31.7	29.1	24.3	23.8	22.8	13.8	31.6	41.5	53.0	25.3	17.8	25.5	21.3	31.0	30.3	28.7	32.7	14.8	3.1	8.5	2.5
	定期的には受診していない																							

調查票

整理番号: 0000

調査票



インターネットで回答される方は、
整理番号を入力してください。

【基礎項目】

問1 あなたの年齢について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～29歳 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 |
| 4. 50歳代 | 5. 60～64歳 | 6. 65～69歳 |
| 7. 70～74歳 | 8. 75～79歳 | 9. 80歳以上 |

問2 あなたの性別について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 回答しない |
|-------|-------|----------|

問3 あなたがお住まいの区について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|---------|---------|--------|-------------|
| 1. 青葉区 | 2. 旭区 | 3. 泉区 | 4. 磯子区 | 5. 神奈川
区 |
| 6. 金沢区 | 7. 港南区 | 8. 港北区 | 9. 栄区 | 10. 瀬谷区 |
| 11. 都筑区 | 12. 鶴見区 | 13. 戸塚区 | 14. 中区 | 15. 西区 |
| 16. 保土ケ谷区 | 17. 緑区 | 18. 南区 | (五十音順) | |

問4 あなたの職業等について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|----------|------------|--------------|--------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員・公務員 | 3. パート・アルバイト | |
| 4. 主婦・主夫 | 5. 学生 | 6. 無職 | 7. その他 |

問5 あなたにお子さんはいますか。同居していないお子さんも含め全員について、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|------------|-----------|-----------|----------|
| 1. 子どもはいない | 2. 0～2歳 | 3. 3～5歳 | |
| 4. 6～11歳 | 5. 12～14歳 | 6. 15～17歳 | 7. 18歳以上 |

問6 あなたの家族形態は、次の中のどれにあたりますか。
同居している方のみを対象に、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | |
|------------------|---------|--------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみ | 3. 親と子 (2世代) |
| 4. 祖父母と親と子 (3世代) | 5. その他 | |

問7 あなたは、現在、高血圧や糖尿病などの慢性的な病気の治療や薬の処方を受けるため、病院又は診療所（クリニック等）（ただし歯科診療所は除く）を定期的（概ね1か月に1回以上）に受診していますか。

最も日常的に受診しているものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1. 市内の病院を受診している | 【問7-1～】 |
| 2. 市外の病院を受診している | 【問7-1～】 |
| 3. 市内の診療所（クリニック等）を受診している | 【問7-1～】 |
| 4. 市外の診療所（クリニック等）を受診している | 【問7-1～】 |
| 5. 定期的には受診していない | 【問8～】 |

～用語解説～

○ 診療所（クリニック等）

入院用のベッドを持たない又は20床未満のベッドを有し、主に日常の健康管理や比較的軽症の医療、必要時の専門医療機関への紹介等を行うための医療機関のこと

○ 病院

20床以上の入院用のベッドを有し、主に入院治療や手術を行うための医療機関のこと

問7-1 問7で「1. 市内の病院を受診している」「2. 市外の病院を受診している」「3. 市内の診療所（クリニック等）を受診している」「4. 市外の診療所（クリニック等）を受診している」に○をつけた方に伺います。

あなたの慢性的な病気について、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|--------------------------|--------|---------|
| 1. がん | 2. 心疾患（狭心症・心房細動・慢性心不全など） | | |
| 3. 脳血管疾患 | 4. 高血圧 | 5. 糖尿病 | 6. 精神疾患 |
| 7. その他（具体的に | ） | | |

問8 あなたには、あなたの心身の状態をわかっていて、治療だけでなく日常の健康管理や相談ができる医師（かかりつけ医）がいますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1. いる | 【問9～】 |
| 2. いない | 【問8-1～】 |

問8-1 問8で「2. いない」に○をつけた方に伺います。

かかりつけ医がいない理由は何ですか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1. 現在、健康だから | |
| 2. どのような医療機関・医師を選んでよいかわからないから | |
| 3. 近くに適切な医療機関・医師がいないから | |
| 4. その他（具体的に | ） |

問 9

医療機関には、

- 軽いけがや風邪等の入院や手術を伴わない軽症に対応する医療機関（一次）
- 入院や手術を伴う重症に対応する医療機関（二次）
- 交通事故による多発外傷など生命の危機に係わる症状に対応する医療機関（三次）

とそれぞれ役割があり、役割に応じた医療機関を受診することが望ましいということを知っていますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 知っていて、どの医療機関が該当するかわかる
2. 知っているが、どの医療機関が該当するかはわからない
3. 聞いたことはある
4. 知らない

問 10 病院には、急性期病院、回復期リハビリテーション病院、療養を担う病院などがあり、それぞれの病院ごとに役割が違うことを知っていますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 知っていて、どの病院が該当するかわかる
2. 知っているが、どの病院が該当するかはわからない
3. 聞いたことはある
4. 知らない

～用語解説～

○ 急性期病院

けがや病気の発症直後や手術の前後など、患者の症状が不安定な状態の時期（急性期）の医療に対応する病院。

○ 回復期リハビリテーション病院

脳卒中や大腿骨骨折などにより急性期の治療を行った後に、日常的な生活能力の向上による寝たきりの防止と在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行う病院。

○ 療養を担う病院

急性期の治療などにより症状は安定しているものの、引き続き、医療的な対応が長期間必要な患者の入院に対応する病院。

【発熱（38度前後）やのどの痛みなどの比較的軽い症状のときの、あなたの行動や考え方についてお伺いします】

問 11 あなたは、発熱（38度前後）やのどの痛みなどで心身の具合が悪いとき、最初にどのような行動をとることが多いですか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 診療所（クリニック等）を受診する
2. 病院を受診する
3. 市販薬を飲む
4. 家で安静にする・休息する
5. わからない

問 12 あなたは、発熱（38度前後）やのどの痛みなどで心身の具合が悪く、
医

療機関を受診したいとき、どのような方法・手段で探していますか。

とくにあてはまるものを2つ選び番号に○をつけてください。

1. 家族・友人・知人に聞く
2. 介護・看護関係者（ケアマネジャーや訪問看護師など）に聞く
3. 地域ケアプラザ（地域包括支援センター）で聞く
4. 電話相談窓口（横浜市救急相談センター（#7119）、横浜市医師会地域医療連携センターなど）で探す
5. 雑誌、専門情報誌、書籍で探す
6. 自治体が作成している広報誌（暮らしのガイドなど）で探す
7. 市役所・区役所などの自治体のウェブサイトを見る
8. インターネットで調べる
9. かかりつけ医を受診するので特に探さない
10. その他（具体的に)

問 13 あなたは、発熱（38度前後）やのどの痛みなどで心身の具合が悪く、
受

診する医療機関を選択するとき、診療科の他にどのような点を重視しますか。

とくにあてはまるものを2つ選び、番号に○をつけてください。

1. 自宅・職場等からの距離や交通の便の良さ
2. 診療日・診療時間など
3. 家族や知人など周囲の人からの評判の良さ、口コミ
4. 設備（医療機器など）の充実
5. 医療機関・医師の診療実績・専門分野
6. 医師の性別
7. 在宅対応（往診又は訪問診療）ができるか
8. 待ち時間の長さ
9. 病院等の相談室、医療専門職による相談の充実
10. かかりつけ医を受診する
11. その他（具体的に)

【あなたやご家族が、大きな手術や長期の療養が必要な病気にかかったときの行動や考え方についてお伺いします】

問 14 あなたやご家族が大きな手術や入院治療などを受ける医療機関を選ぶために、どのようなことを知りたいと考えますか。

とくにあてはまるものを2つまで選び、番号に○をつけてください。

1. 自宅・職場等からの距離や交通の便
2. 家族や知人など周囲の人からの評判
3. 医療機関の規模（病床数、医師や看護師などのスタッフ数など）
4. 医療機関の設備（医療機器など）
5. 医療機関・医師の治療実績（治ゆ率、手術件数など）
6. 医療機関の対応可能な疾患・治療法
（【例】がんなどの場合に放射線治療ができる医療機関、抗がん剤治療ができる医療機関など）
7. 標準的な治療費などの費用
8. 病室の広さや清潔さ、アメニティ
9. 病院等の相談機能、地域医療機関等との連携体制
10. 在宅医療を含む退院後のフォロー体制
11. その他（具体的に)
12. 知りたいことはない・わからない

問 15 問 14 で○をつけた情報について、あなたはどのような方法・手段で情報を集めますか。

とくにあてはまるものを2つまで選び、番号に○をつけてください。

1. 家族・友人・知人に聞く
2. かかりつけ医・最初に受診した医療機関に聞く
3. 医療機関の相談窓口で聞く
4. 介護・看護関係者（ケアマネジャーや訪問看護師など）に聞く
5. 地域ケアプラザ（地域包括支援センター）で聞く
6. 区役所等の自治体の窓口で聞く
7. 雑誌、専門情報誌、書籍で調べる
8. インターネットで調べる
9. 医療機関の病気や治療に関する講演会等で話を聞く
10. 在宅医療連携拠点（在宅医療相談室）に聞く
11. その他（具体的に)
12. わからない

～用語解説～

○ 在宅医療連携拠点（在宅医療相談室）

疾病を抱えても市民の方が住み慣れた家等で療養生活し、継続的な在宅医療・介護を受けられるよう、横浜市医師会と協働し、18区に整備しています。在宅医療に関するご相談をケアマネジャーや市民の方から受けたり、在宅医療を担う医師への支援を行っています。

問 16 あなたは、回復の見込みのないけがや病気のため、死が避けられない状態となったとき、どのような医療・ケアを望むか、これまでに考えたことがありますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 17 あなたは、回復の見込みのないけがや病気のため、死が避けられない状態となったとき、どのような医療・ケアを望むか、ご家族等や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | |
|---------------|
| 1. 詳しく話し合っている |
| 2. 一応話し合っている |
| 3. 話し合ったことはない |

問 18 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 自宅 | 2. 施設（特別養護老人ホーム等） |
| 3. 病院 | 4. その他 |
| 5. 分からない、これまで考えたことがない | |

問 19 「人生会議」について、知っていますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | |
|--------------------|
| 1. よく知っている |
| 2. 聞いたことはあるがよく知らない |
| 3. 知らない |

～用語解説～

○「人生会議」

人生の最終段階（回復の見込みのないけがや病気のため、死が避けられない状態）の医療・ケアについて、本人が家族等や医療介護関係者と事前に繰り返し話し合うプロセス

問 20 あなたが余命6か月と診断された場合、自宅で療養するとしたら、在宅医療を希望しますか。

また、その実現は可能だと思いますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | |
|------------------|
| 1. 希望するし、実現可能 |
| 2. 希望するが、実現は難しい |
| 3. 希望しない |
| 4. 現在、在宅医療を受けている |
| 5. わからない |

問 21 あなたが余命 6 か月と診断された場合、自宅で療養するとしたら、心配なことは何ですか。

とくにあてはまるものを2つまで選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1.介護する家族の負担 | 2.今後の生活や経済的負担 |
| 3.介護してくれる人がいない | 4.療養できる部屋・環境の問題 |
| 5.急変時の対応・看取り | 6.死後の手続きや財産処分 |
| 7.在宅医療の内容 | 8.在宅介護の内容 |
| 9.その他（具体的に |) |
| 10.心配はない | 11.わからない |

問 22 あなたが知りたい在宅医療の情報について、どのような方法・手段で情報を集めますか。

とくにあてはまるものを2つまで選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1.インターネットやSNSで調べる | 2.書籍・雑誌で調べる |
| 3.家族・友人・知人に聞く | 4.かかりつけ医・主治医に聞く |
| 5.医療機関の相談窓口で聞く | 6.区役所等の自治体の相談窓口で聞く |
| 7.在宅医療連携拠点（在宅医療相談室）に聞く | |
| 8.地域ケアプラザ（地域包括支援センター）で聞く | |
| 9.その他（具体的に |) |
| 10.わからない | |

問 23 あなたは、ご自分の病気や治療について知り、受ける医療をご自身で選択・決定するためには、何が必要と考えますか。

とくにあてはまるものを2つまで選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| 1. 主治医による病状や治療方針の十分な説明 | |
| 2. 病院等の相談室、医療専門職による相談の充実 | |
| 3. セカンドオピニオンを受けられる環境整備 | |
| 4. 医療に関する書籍や情報を集めた場所の提供
（図書館や病院の医療情報コーナーなど） | |
| 5. 患者会・セルフヘルプグループの活動の情報の提供 | |
| 6. 医療に関する市民向けの講演会やイベント等の情報の提供 | |
| 7. 「人生会議」に関するきっかけや情報の提供 | |
| 8. その他（具体的に |) |
| 9. わからない | |

～用語解説～

○ **セカンドオピニオン**

治療や手術について、主治医以外の他の医療機関の医師の意見を求めること

○ **患者会・セルフヘルプグループ**

特定の病気の患者や家族が集まって、情報交換などの活動をしている団体のこと

【急病時の対応についてお伺いします】

問 24 急な病気やけがで、今すぐに受診が必要か、救急車を呼ぶべきかどうか迷ったとき、どのような方法で情報を得たいと考えますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 電話で相談したい
2. 1と同じ情報を得られるのであれば、インターネットで調べたい

問 25 急な病気やけがで、今すぐに診療可能な医療機関を探したいとき、どのような方法で探したいと考えますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 電話で聞きたい
2. 1と同じ情報を得られるのであれば、インターネットで調べたい

【がん対策についてお伺いします】

問 26 あなたは、がんと診断されたら、がんの治療法や病院に関する情報について、どこから入手しようと思えますか。

あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院の相談窓口）で聞く
2. 1以外の医療機関の相談窓口で聞く
3. 区役所等の自治体の窓口で聞く
4. 図書館で調べる
5. 新聞・雑誌・書籍で調べる（4以外の方法で）
6. テレビを見る、ラジオを聞く
7. 国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」を見る
8. 市役所・区役所などの自治体のウェブサイトや広報誌を見る
9. 家族・友人・知人に聞く
10. インターネットで調べる
11. その他（具体的に)

～用語解説～

○がん相談支援センター

がん相談支援センターとはがんの専門的な医療を提供する医療機関として国や神奈川県が一定の基準により指定する「都道府県がん診療連携拠点病院」、「地域がん診療連携拠点病院」、「神奈川県がん診療連携指定病院」に設置されています。その病院にかかっていない人も相談をすることができます。

問 27 あなたやあなたの身近な方ががんにかかった場合、仕事や家事などの日常生活とがんの治療の両立はできると思いますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|------------|
| 1. 両立できる | 【問 28 〜】 |
| 2. 条件を整えば両立できる | 【問 27-1 〜】 |
| 3. 両立できない | 【問 28 〜】 |
| 4. 治療に専念したいので、両立したいと思わない | 【問 28 〜】 |
| 5. その他（具体的に | ）【問 28 〜】 |

問 27-1 問 27 で「2. 条件を整えば両立できる」に○をつけた方に伺います。
それはどのような条件ですか。

あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 症状や体力的な問題 | 2. 意欲など精神的な問題 |
| 3. 職場の理解、制度 | 4. 家族の理解、協力 |
| 5. 治療の方法やスケジュール | |
| 6. その他（具体的に | ） |

問 28 あなたやあなたの身近な方が、がんの痛みがある場合に治療を受ける場所として希望する場所はどこですか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---|
| 1. 自宅（在宅医療） | |
| 2. 介護施設（特別養護老人ホームなど） | |
| 3. かかりつけの診療所 | |
| 4. 一般的な病院 | |
| 5. がんの専門的な医療を提供する病院 | |
| 6. 緩和ケア病棟がある病院 | |
| 7. その他（具体的に | ） |

～用語解説～

○緩和ケア病棟とは

緩和ケア病棟では、がんを治すことを目標にした治療（手術、薬物療法、放射線治療など）ではなく、がんの進行などに伴う体の痛みや心のつらさに対する専門的な治療を提供します。

【食中毒や感染症の予防についてお伺いします】

問 29 食中毒や感染症を予防するためには、次のような対策が有効です。

日常的に取っている対策であてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 肉やハンバーグは中心までよく焼いて食べる
2. 焼肉やバーベキューでは、肉を焼くトングと、焼きあがった肉をお皿にとるトングを分ける
3. 野菜はよく洗って食べる
4. 生ものを切った後の包丁とまな板は消毒している
5. 調理の前や食事の前には石けんで手をよく洗う
6. トイレに行った後は石けんで手をよく洗う
7. あてはまることはない

問 30 感染症の名前について、知っているものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. インフルエンザ
2. 感染性胃腸炎（ノロウイルスやロタウイルスなど）
3. 腸管出血性大腸菌感染症（O157など）
4. デング熱
5. 麻しん（はしか）
6. 結核
7. ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症（エイズなど）

【こころの病気についてお伺いします】

問 31 寝つきが悪い、途中で目が覚めてしまう、食欲がわからない、ちょっとしたことでイライラしたり気分が落ち込む、不安や緊張を強く感じる、とりとめもない考えが次々と浮かんできて考えがまとまらない、などこころの不調を感じた時に、まずどのように行動することが多いですか。

あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 専門医（精神科、神経科、心療内科の医師）を受診する
2. かかりつけ医（内科などの身近な病院や診療所の医師）を受診する
3. 薬局等で販売している市販薬を服用する
4. 家族または友人、知人に相談する
5. 家族の介護・ケアを行っている人など、身近にいる介護や福祉の関係者（ケアマネージャー、相談支援専門員など）に相談する
6. 最寄りの区役所（福祉保健センターなど）に相談する
7. こころの電話相談（こころの健康相談センター）に相談する
8. 横浜市総合保健医療センターに相談する
9. 横浜市精神障害者家族連合会に相談する
10. 趣味・ストレス解消になる活動をする（運動・入浴・レジャーなど）
11. その他
12. 特にない・わからない

問 32 あなたやご家族等が、うつ病、統合失調症、依存症等の精神疾患かもしれないと指摘されたときに、どのような情報が欲しいですか。

とくに**あてはまるものを2つ**選び、番号に○をつけてください。

1. 医療機関・医師の診療実績・治療実績に関すること
2. 医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること
3. (一般的な) 病気・病状に関すること
4. (一般的な) 病気の治療内容、通院・入院期間に関すること
5. 医療制度や医療提供体制に関すること
6. 医療費助成に関すること (自立支援医療等)
7. 退院後の治療や地域での治療継続に関すること
8. 病院等の相談機能、地域医療機関等との連携体制に関すること
9. 訪問診療・往診、訪問看護の提供に関すること
10. 急に精神症状が悪くなった時の相談先に関すること
11. 就学や就労に関すること
12. 周囲からの偏見や理解について悩んだ時の相談先に関すること
13. その他
14. 特にない・わからない

【歯と歯科診療についてお伺いします】

問 33 あなたは、歯や口の状態について何か気になるところがありますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-------|------------|--------|----------|
| 1. はい | 【問 33-1 へ】 | 2. いいえ | 【問 34 へ】 |
|-------|------------|--------|----------|

問 33-1 問 33 で「1. はい」に○をつけた方に伺います。

それはどのような症状や状態ですか。

あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 歯が痛んだりしみたりする
2. 歯ぐきが腫れたり出血する
3. 歯がぐらぐらする
4. 硬いものがかみにくい
5. 食べ物が歯と歯の間にはさまる
6. かむ・味わう・飲み込む事に不自由がある
7. 口臭が気になる
8. 入れ歯が合わない
9. 歯並びが悪い
10. 歯の色が気になる
11. その他 (具体的に)

問 34 あなたは、歯や口の健康管理や相談ができるかかりつけの歯科医院（診療所）を決めていますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-------|------------|--------|------------|
| 1. はい | 【問 34-1 へ】 | 2. いいえ | 【問 34-2 へ】 |
|-------|------------|--------|------------|

問 34-1 **問 34 で「1. はい」に○をつけた方**に伺います。

あなたのかかりつけ歯科医院は次のどれですか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1. 自宅から近い身近な地域の歯科診療所 |
| 2. 職場等から近い歯科診療所 |
| 3. 家族が受診している歯科診療所 |
| 4. その他（具体的に) |

問 34-2 **問 34 で「2. いいえ」に○をつけた方**に伺います。

かかりつけ歯科医院がない理由は何ですか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 現在、健康でかかりつけ歯科医を持つ必要がないから |
| 2. 近くに適切な歯科医療機関・歯科医師がないから |
| 3. かかりつけ歯科医は必要と思うが、どのような歯科医療機関・
歯科医師を選んでよいかわからないから |
| 4. 理由は特にない・わからない |
| 5. その他（具体的に) |

問 35 あなたは、この1年間に歯科医院（診療所）や病院の歯科を受診したことがありますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|------------|------------|--------|------------|
| 1. 受診した | 【問 35-1 へ】 | 2. 受診中 | 【問 35-1 へ】 |
| 3. 受診していない | 【問 36 へ】 | | |

問 35-1 **問 35 で「1. 受診した」、「2. 受診中」に○をつけた方**に伺います。受診した内容は何ですか。

あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 定期健診・歯みがき指導等 |
| 2. むし歯の治療（詰め物、冠をかぶせる等） |
| 3. 歯周疾患（歯肉炎、歯槽膿漏等）の治療 |
| 4. 抜けた歯の治療（入れ歯、ブリッジの作成・修理、インプラント治療） |
| 5. 歯ならびやかみあわせの治療 |
| 6. 歯科訪問診療 |
| 7. 食べ物を噛んで、飲み込む訓練 |
| 8. 事故などによる損傷の治療 |
| 9. 歯のホワイトニング |
| 10. その他（具体的に) |

【薬と薬局についてお伺いします】

問 36 あなたは、「後発医薬品（ジェネリック医薬品）」を積極的に選びますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 積極的に選ぶ
2. 選びたくない
3. こだわらない
4. 知らない・聞いたことがない
5. その他

問 37 あなたは、かかりつけ薬局を決めておくすり手帳を活用していますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 薬局を決めていて、手帳を活用している 【問 38 へ】
2. 薬局を決めていて、手帳は活用していない 【問 38 へ】
3. 薬局を決めていて、手帳は知らない 【問 38 へ】
4. 薬局を決めていないが、手帳を活用している 【問 37-1 へ】
5. 薬局を決めておらず、手帳を活用していない 【問 37-1 へ】
6. 薬局を決めておらず、手帳は知らない 【問 37-1 へ】

問 37-1 問 37 で「4. 薬局を決めていないが～」 「5. 薬局を決めておらず、～」 「6. 薬局を決めておらず、～」 に○をつけた方に伺います。

かかりつけ薬局を決めていない理由は何ですか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 現在、健康でかかりつけ薬局を持つ必要がないから
2. かかった病院や診療所の近くの薬局に行った方が便利だから
3. 営業時間など、その時の都合にあった薬局へ行くから
4. 理由は特にない
5. その他（具体的に _____ ）

【医療に関する情報と医療への満足度についてお伺いします】

問 38 あなたが現在、医療について知りたい情報は何か。
あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 医療機関の基本的情報に関すること（所在地・診療科・診療時間等）
2. 医療機関・医師の診療実績・治療実績に関すること
3. 医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること
4. 医療機関の病室の広さや清潔さ、アメニティに関すること
5. 病気・病状に関すること
6. 病気の治療内容・入院（通院）期間
7. 病気の治療にかかる標準的な費用
8. 医療制度や医療提供体制
9. 医療費助成に関すること（高額療養費制度等）
10. 高度先進医療に関すること
11. 病院等の相談機能、地域医療機関等との連携体制に関すること
12. 退院後の治療や在宅医療に関すること
13. 訪問診療・往診の提供に関すること
14. 歯科医師による訪問歯科診療に関すること
15. 薬剤師による訪問服薬指導に関すること
16. その他（具体的に _____）
17. 特にない・わからない

問 39 問 38 で○をつけた情報について、あなたはどのような方法・手段で情報を集めますか。

あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 雑誌、専門情報誌、書籍で調べる
2. 自治体が作成している広報誌（暮らしのガイドなど）を見る
3. 市役所・区役所などのウェブサイトを見る
4. 医師会などの医療関係団体のウェブサイトを見る、電話等で聞く
5. インターネットで調べる
6. SNS（Twitter, Instagram, LINE, Youtube）で調べる
7. 講演会などで医師から話を聞く
8. かかりつけ医・主治医から聞く
9. 医療機関の相談窓口に行く
10. 地域の薬局などで薬剤師から聞く
11. 介護・看護関係者（ケアマネジャーや訪問看護師など）に聞く
12. 区役所等の自治体の窓口等で聞く
13. 地域ケアプラザ（地域包括支援センター）に行く
14. 家族・友人・知人に聞く
15. 在宅医療連携拠点（在宅医療相談室）に行く
16. その他（具体的に _____）

問 40 横浜市の医療に満足していますか。

次のそれぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

※ご自身が直接かかったことのない場合でも、身近な方がかかったなど関わりがある場合は、その状況を踏まえてお答えください。

	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
【記入例】 ○○○について	1	2	3	4	5
1. がんの診療について	1	2	3	4	5
2. 脳血管疾患（脳卒中）の診療について	1	2	3	4	5
3. 心臓疾患の診療について	1	2	3	4	5
4. 糖尿病の診療について	1	2	3	4	5
5. 精神科医療について	1	2	3	4	5
6. リハビリテーション医療について	1	2	3	4	5
7. 重い病気・難病などの診療について	1	2	3	4	5
8. 歯科医療について	1	2	3	4	5
9. 薬局について	1	2	3	4	5
10. 休日や夜間の医療について	1	2	3	4	5
11. 救急医療について	1	2	3	4	5
12. 災害時医療について	1	2	3	4	5
13. 産科・周産期医療について	1	2	3	4	5
14. 小児医療について	1	2	3	4	5
15. 在宅医療について	1	2	3	4	5
16. 人生の最終段階における医療について	1	2	3	4	5
17. 病院等の相談室・地域連携について	1	2	3	4	5
18. あなたが受診した医療機関で受けた診療について	1	2	3	4	5
19. 横浜の医療について（総合的に）	1	2	3	4	5

問 41 あなたが、今後、充実を希望する医療は何ですか。

あてはまるものすべてに、番号に○をつけてください。

1. がんに対する医療
2. 脳血管疾患（脳卒中）に対する医療
3. 心臓疾患に対する医療
4. 高血圧、糖尿病などの慢性疾患医療
5. アレルギーに関する医療
6. 精神科医療
7. 障害児・者に対する医療
8. 歯科医療
9. 救急医療
10. 休日や夜間の医療
11. 災害時医療
12. 産科・周産期医療
13. 小児医療
14. 小児救急医療
15. 高齢者に対する在宅医療（在宅歯科医療、服薬指導、訪問看護等を含む）
16. 高齢者に対する入院医療（長期療養など）
17. 緩和ケア
18. 予防医学（健康診断、がん検診、人間ドック等）
19. 高齢者以外の在宅医療（在宅歯科医療、服薬指導、訪問看護等を含む）
20. その他（具体的に ）
21. 特にない

～用語解説～

○緩和ケア

生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族のクオリティ・オブ・ライフ（QOL：生活の質）を、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通して向上させるアプローチ。※WHO（世界保健機関）による緩和ケアの定義（2002）

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒で、

12月21日（水）までにご投函ください。（切手はいりません）

ご協力ありがとうございました。